

LP-M8170 シリーズ

操作ガイド

普通紙やハガキなどへの印刷手順、コピー手順、ファクスの送受信手順、スキャン手順、ソフトウェアの機能・操作方法、本製品のメンテナンス方法など、本製品を使用するための情報を詳しく説明しています。

目的に応じて必要な箇所をお読みください。

もくじ

マニュアルの見方.....5

製品のご注意6

本製品の基本情報.....7

各部の名称 7

- プリンター部の前面と左側面 ... 7
- プリンター部の背面と右側面 ... 7
- プリンター部の内部 ... 7
- コントローラーボックス ... 8
- スキャナー部の前面と背面 ... 9
- スキャナー部の内部と左側面 ... 9
- 操作パネル部 ... 10
- ファンクションボタンに割り当てられた機能 ... 11

操作パネルの使い方と設定値一覧..... 12

- 操作パネルの使い方 ... 12
- 文字の入力 ... 12
- [表示言語] メニュー ... 13
- [システム情報] メニュー ... 13
- [共通設定] メニュー ... 14
- [プリンター設定] メニュー ... 19
- [コピー設定] メニュー ... 22
- [スキャン設定] メニュー ... 22
- [ファクス設定] メニュー
(ファクスモデルのみ) ... 23
- [宛先/保存先設定] メニュー ... 26
- [管理者設定] メニュー ... 27
- [機械状態] メニュー ... 29
- IP アドレスの設定 ... 30

印刷用紙のセット.....31

印刷できる用紙とセット可能枚数..... 31

用紙のセット 33

- 用紙カセットへのセット ... 33
- MP トレイへのセット ... 34

排紙の設定 36

- 排紙方向を指定する ... 36
- 1 部ずつ縦横交互に排紙する ... 36

さまざまな用紙への印刷 37

- ハガキへの印刷 ... 37
- 封筒への印刷 ... 38

- 厚紙やラベル紙などへの印刷 ... 39
- 定形紙以外への印刷 ... 39

原稿のセット41

読み取りできる原稿41

- 自動検知できる原稿サイズ ... 41
- ADF で読み取りできる原稿の種類 ... 42

原稿のセット43

- 原稿台にセット ... 43
- ADF にセット ... 44

印刷46

基本的な印刷手順46

- [基本設定] 画面 ... 47
- [応用設定] 画面 ... 48
- [ユーティリティ] 画面 ... 50

いろいろな印刷の仕方.....51

- 複数のファイルを1つにまとめて印刷 ... 51
- 冊子になるように印刷 ... 51
- 視認性を向上させて印刷
(カラーユニバーサルプリント) ... 52
- ページを分割して印刷 (ポスター印刷) ... 53

印刷ジョブにパスワードを設定56

- RAM ディスクの設定 ... 56
- パスワードの設定 ... 56
- パスワード付きジョブの印刷 ... 57

初期値の変更や設定のロック (管理者向け設定)
.....58

- 初期値の変更 ... 58
- プリンターの設定をロック ... 58

プリンターの監視59

- プリンターの状態を見る ... 59
- 通知や監視の設定 ... 59
- トレイアイコンの設定 ... 60

USB メモリーからの直接印刷..... 61

印刷の中止.....62

- 操作パネルで中止 ... 62
- コンピューターで中止 ... 62

コピー	63
コピーの仕方	63
よく使う設定の登録と呼び出し ...	64
コピーモードの設定項目一覧	65
[基本設定] タブ ...	65
[画質設定] タブ ...	67
[応用設定 1] タブ ...	68
[応用設定 2] タブ ...	70
[応用設定 3] タブ ...	71
スキャン	72
操作パネルからスキャン	72
スキャンする前に ...	72
スキャンの仕方 ...	72
スキャンモードの設定項目一覧 ...	74
コンピューターからスキャン	79
スキャンの仕方 ...	79
文書 / 雑誌を PDF ファイルにまとめてスキャン ...	79
ファクス (ファクスモデルのみ)	80
ファクスを使う前に	80
ファクス送信	81
自動送信 ...	81
手動送信 ...	82
便利な送信方法 ...	83
ファクス受信	84
着信してから受信する ...	84
自ら発信して受信する ...	84
受信ファクスの出力先を選択する ...	85
受信ファクスを一時保存する ...	86
ファクスモードの設定項目一覧.....	87
[基本設定] タブ ...	87
[応用設定] タブ ...	87
[機能設定] タブ ...	88
ファクスジョブの確認とキャンセル.....	89
送信待ち / 送信中のジョブをキャンセル ...	89
受信ジョブ (印刷待ちジョブ) をキャンセル ...	89
送受信履歴を確認 ...	89
宛先帳の管理	90

節電の設定	91
節電の設定	91
節電モードに移行する時間を設定する ...	91
節電する時間帯を設定する ...	91
ソフトウェアの削除とインストール	92
ソフトウェアの削除とインストール	92
ソフトウェアの削除 ...	92
ソフトウェアのインストール ...	92
ソフトウェアやファームウェアの更新 ...	92
困ったときは	93
操作パネルにメッセージが表示されている.....	93
本製品の状態や設定を確認したい ...	106
詰まった用紙を取り除きたい.....	107
MP A (MPトレイ/Aレバー) ...	107
C1 ~ C3 (カセット) ...	108
B E (Bボタン/Eレバー) ...	109
ADF ...	111
正しく給紙できない	112
ADFから正しく給紙できない ...	113
電源と操作パネルのトラブル.....	114
正常に起動しない ...	114
操作パネルのボタンが効かない ...	114
印刷できない.....	115
縦横交互排紙ができない ...	116
バースト印刷ができない ...	116
コピーできない ...	116
印刷結果のトラブル	117
印刷品質が悪い ...	117
コピー品質が悪い ...	118
思い通りの印刷ができない ...	119
思い通りのコピーができない ...	121
スキャンできない / 保存できない	122
スキャナーが動かない ...	122
Epson Scan 2 でスキャンできない ...	122
共有フォルダーに保存できない (フォルダーが見つからない / 保存できない) ...	123
スキャン結果のトラブル.....	124
スキャン品質が悪い ...	124
思い通りのスキャンができない ...	126
スキャンのその他のトラブル.....	127

スキャンに時間がかかる ... 127
 途中でスキャンが止まる ... 127
 原稿が汚れて排紙される ... 127

ファクス送受信のトラブル 128
 送信も受信もできない ... 128
 送信できない ... 128
 受信したファクスが印刷されない ... 129
 きれいに送信できない ... 129
 原稿と違うサイズで受信した／送信した ... 129

ファクスのその他のトラブル 130
 日時の表示が違っている ... 130
 発信元情報が入っていないファクスになってしまう？
 ... 130

その他のトラブル..... 131
 EPSON ステータスマニタ使用時のトラブル ... 131

消耗品の交換 132
 トナーカートリッジの交換 ... 132
 感光体ユニットの交換 ... 134
 廃トナーボックスの交換 ... 139
 消耗品などの回収と処分 ... 142

本製品のクリーニング（清掃） 143
 給紙ローラーのクリーニング ... 143
 プリンター内部のクリーニング ... 144
 ADF のクリーニング ... 148
 原稿台のクリーニング ... 149

本製品の移動と輸送 150
 近くへの移動 ... 150
 輸送 ... 150

付録..... 151

製品仕様 151
 コピー機能 ... 151
 ADF 機能 ... 152
 プリント機能 ... 153
 スキャン機能 ... 154
 ファクス機能（LP-M8170F のみ） ... 154
 環境条件 ... 155
 製造番号の表示場所 ... 155
 対応 OS ... 155
 操作パネルからの特殊設定 ... 156

消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧 160

フォント仕様 162
 Epson バーコードフォント ... 162
 Epson TrueType フォント ... 173
 OCR-B TrueType フォント ... 173

規格と規制 174
 電源高調波 ... 174
 電波障害自主規制 ... 174
 複製が禁止されている印刷物 ... 174

オゾン ... 174
 エコマーク物質エミッションに関する試験方法
 ... 174
 レーザー製品の表示 ... 174
 内部のレーザー放射ユニット ... 174

商標／登録商標／著作権..... 175
 オープンソースソフトウェアのライセンス契約
 ... 175

サービスとサポートのご案内..... 176
 エプソンサービスパック ... 176
 保守サービスのご案内 ... 176
 お問い合わせ先 ... 178

マニュアルの見方

マニュアルの種類と内容

本製品のマニュアルを紹介します。

- (1) セットアップガイド (紙マニュアル)
本製品を使えるようにするまでの作業を説明しています。
 - (2) 操作ガイド (PDF マニュアル) 本書
本製品の使い方、消耗品の交換、トラブル対処の仕方を説明しています。
 - (3) ネットワークガイド (PDF マニュアル)
ネットワーク環境で使用するための設定方法やトラブル対処の仕方を説明しています。
 - (4) ソフトウェアライセンス契約
- (4) 以外のマニュアルはエプソンのホームページからダウンロードもできます。

<http://www.epson.jp/support/>

マークの意味

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
重要	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品が損傷したり、製品、プリンタードライバーやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。

マニュアル記載の前提

- 本書では、各製品を以下のように記載しています。
LP-M8170A : ADF モデル
LP-M8170F : ファクスモデル
- ご利用環境 (OS や設定状態など) により表示される画面が異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 掲載している Windows の画面や手順は、特に指定がない限り Windows 7 で説明しています。
- 日本郵便株式会社製のハガキを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4面連刷ハガキと記載しています。

OS の表記

以下のように略して記載しています。

Windows 10	Microsoft® Windows® 10 Operating System
Windows 8.1	Microsoft® Windows® 8.1 Operating System
Windows 8	Microsoft® Windows® 8 Operating System
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Operating System
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Operating System
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Operating System
Windows Server 2012 R2	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Operating System
Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 Operating System
Windows Server 2008 R2	Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Operating System
Server 2008	Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System
Server 2003	Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System
Windows	上記 OS の総称

Mac OS X v10.11.x	OS X El Capitan
Mac OS X v10.10.x	OS X Yosemite
Mac OS X v10.9.x	OS X Mavericks
Mac OS X v10.8.x	OS X Mountain Lion
Mac OS X	上記 OS の総称

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

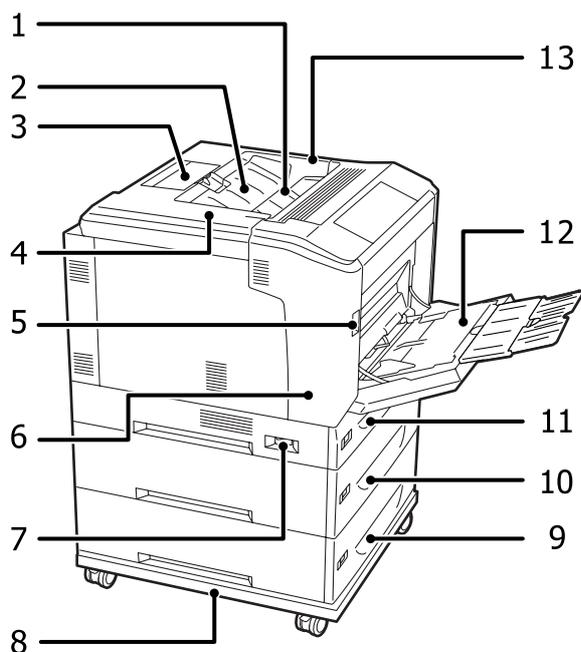
本製品の廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

各部の名称

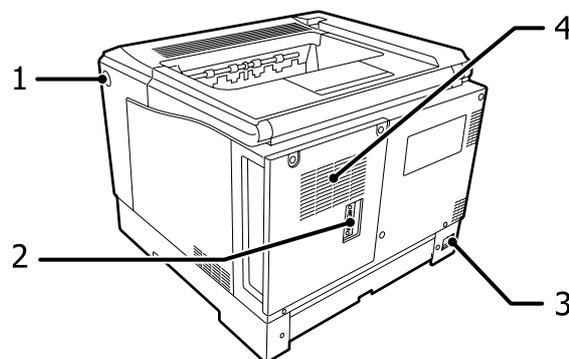
プリンター部の前面と左側面

オプションの増設1段カセットユニット取り付け時



1	排紙トレイ
2	カバーF
3	排紙サポート
4	カバーD
5	Aレバー
6	カバーA
7	プリンター部の電源スイッチ
8	専用プリンター台
9	用紙カセット3 (オプション)
10	用紙カセット2 (標準)
11	用紙カセット1 (標準)
12	MPトレイ
13	カバーG

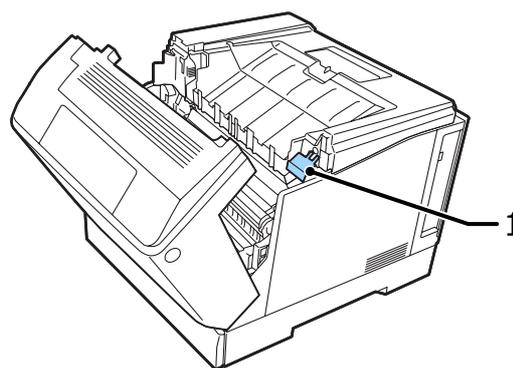
プリンター部の背面と右側面



1	Bボタン
2	専用コネクター (専用プリンターケーブルでコントロールボックスと接続するためのコネクター)
3	電源コネクター (専用プリンター電源コードでコントロールボックスと接続するためのコネクター)
4	通風口

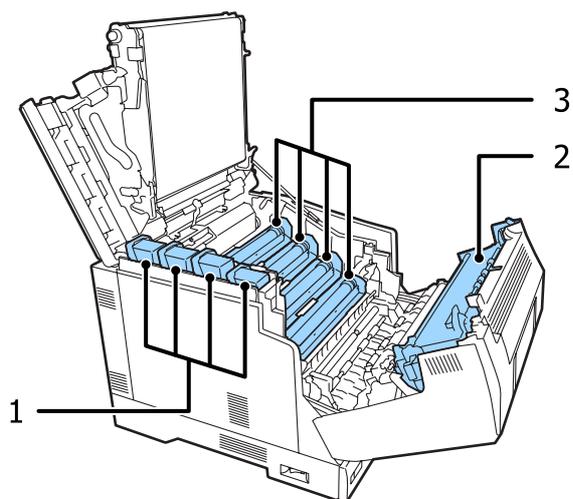
プリンター部の内部

AレバーでカバーAを開けた状態



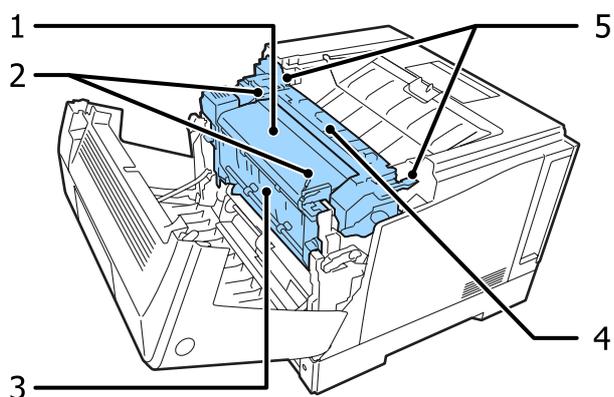
1	Gレバー
---	------

Aレバーでカバー A を開け、カバー G を開けた状態



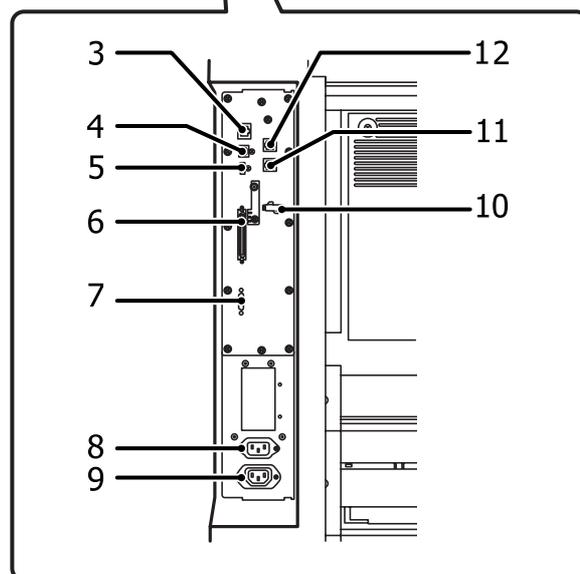
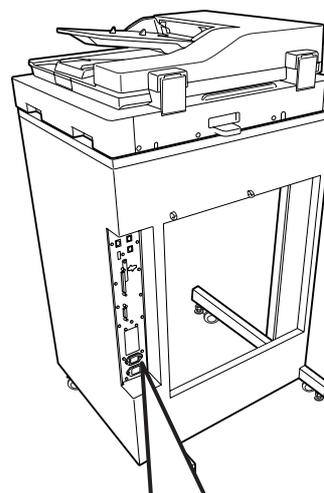
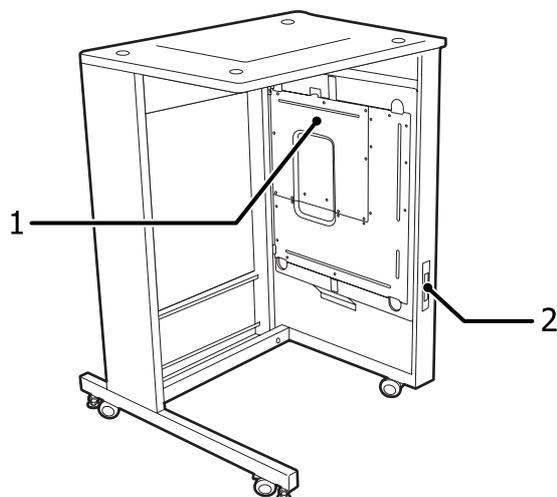
1	トナーカートリッジ
2	定着ユニット
3	感光体ユニット

B ボタンでカバー A を開けた状態



1	カバー E
2	Eレバー
3	両面印刷ユニット
4	定着ユニット
5	リリースレバー

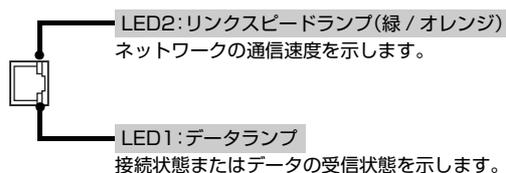
コントローラーボックス



1	カバー
2	主電源スイッチ

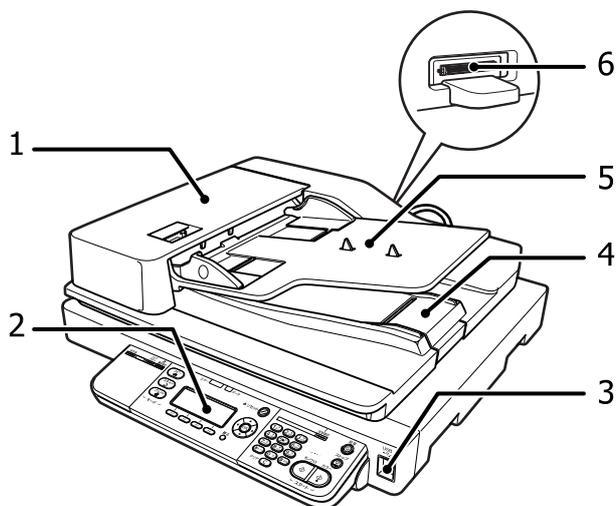
3	ネットワークインターフェイスコネクター LED1: データランプ LED2: リンクスピードランプ ランプの状態は別表参照
4	USB インターフェイスコネクター
5	スキャナーユニット接続用 USB コネクター
6	スキャナーユニット接続用専用コネクター
7	プリンター部接続用専用コネクター
8	主電源コネクター
9	電源コネクター
10	電話回線用ケーブルフック (ファクスモデルのみ)
11	LINE モジュラージャック (ファクスモデルのみ)
12	EXT モジュラージャック (ファクスモデルのみ)

ランプの状態



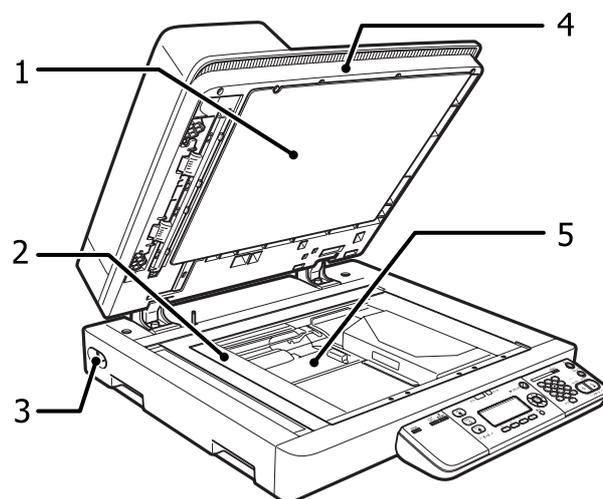
LED1	LED2	状態
点灯	点灯 (緑色)	1000BASE-T で接続中
点滅		1000BASE-T でデータ受信中
点灯	点灯 (オレンジ色)	100BASE-TX で接続中
点滅		100BASE-TX でデータ受信中
点灯	消灯	10BASE-Te で接続中
点滅		10BASE-Te でデータ受信中
消灯	消灯	電源が切れている

スキャナー部の前面と背面



1	ADF カバー
2	操作パネル
3	USB メモリー用コネクター
4	排紙ストッパー
5	ADF
6	スキャナーケーブル接続コネクター

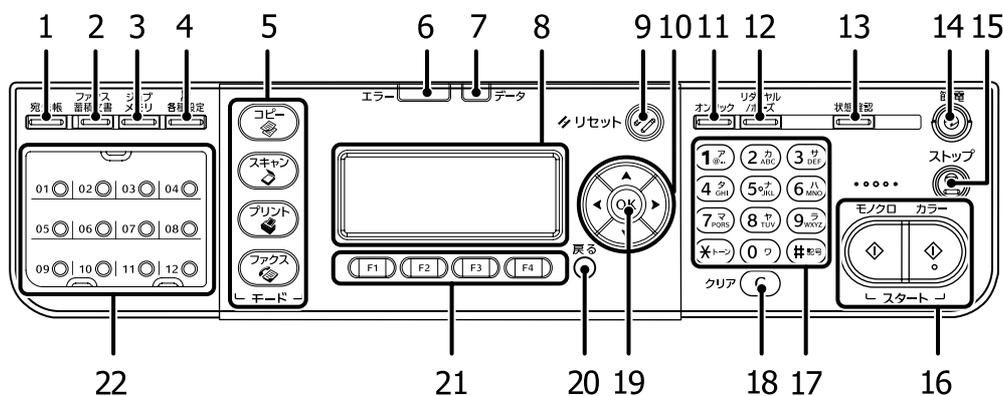
スキャナー部の内部と左側面



1	原稿マット
2	キャリッジ
3	輸送用固定ロック 使用時は Unlock 側にしてロックを解除してください。Lock 側にしてあるとスキャナーは使えません。
4	原稿力カバー
5	原稿台

操作パネル部

例) ファクスモデルのパネル



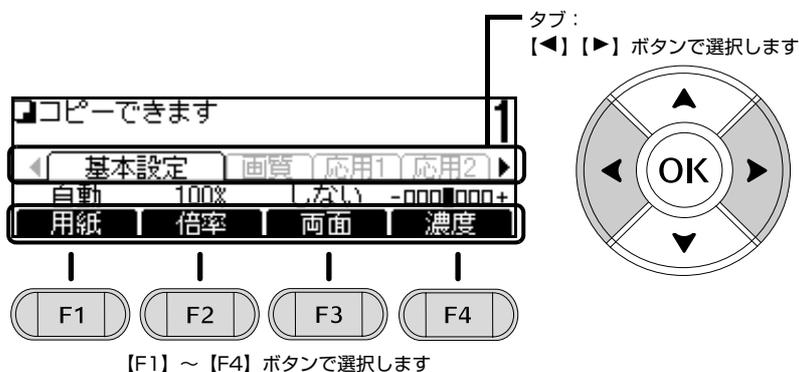
1	【宛先帳】 ボタン 登録してある宛先を呼び出します。	12	【リダイヤル / ポーズ】 ボタン* 最後の送付先の番号を呼び出します。 ダイヤル番号入力時に押すと・(ハイフン)が入力できます。
2	【ファクス蓄積文書】 ボタン / ランプ* 蓄積文書一覧画面を表示させ、現在のファクス送受信の状態を確認します。	13	【状態確認】 ボタン 印刷・コピー・ファクスジョブの状態や消耗品の使用状況、ワーニングの状態を確認します。
3	【ジョブメモリ】 ボタン コピーとスキャンの設定を登録したり、それを呼び出したりします。	14	【節電】 ボタン / ランプ 節電モードと通常の状態を切り替えます。節電モード(液晶ディスプレイ消灯)に入ると点灯します。
4	【各種設定】 ボタン 本製品の設定を変更します。	15	【ストップ】 ボタン 処理を中止します。
5	モードボタン / ランプ 使用するモードを選択します。選択されているモードのランプが点灯します。	16	スタートボタン 【カラー】を押すとカラーで、【モノクロ】を押すとモノクロで処理します。
6	エラーランプ 点灯：自動復帰できないエラー発生 エラーの原因が取り除かれると消灯します。 点滅：【OK】 ボタンを押すと解除できるエラー 【各種設定】メニューの【自動エラー解除】が【する】になっていると自動的に解除されるエラーもあります。	17	テンキー (ダイヤルボタン) ファクスの送付先番号や、コピー枚数、メールアドレスなどを入力します。 ☞ 12 ページ「文字の入力」
7	データランプ 点灯：印刷データが残っている 点滅：印刷データ処理中	18	【クリア】 ボタン テンキーから入力した文字や、指定した宛先をクリアします。また、部数を「1」に戻します。
8	液晶ディスプレイ 本製品の状態や、機能の設定値を表示します。 【省電力設定】で設定した時間が経過すると表示が消えます。	19	【OK】 ボタン 設定項目や設定値の確定や、指定した処理を実行します。エラーランプ点滅時に押すとエラーを解除し、印刷可能な状態に自動復帰します。
9	【リセット】 ボタン 設定した内容を無効にし、モードボタンを押したときに表示される画面に戻ります。	20	【戻る】 ボタン 設定画面の表示を 1 つ上の階層に戻します。
10	【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタン 設定項目や設定値を選択します。	21	ファンクションボタン モードやタブによってボタンの機能が変わります。 ☞ 11 ページ「ファンクションボタンに割り当てられた機能」
11	【オンフック】 ボタン* 電話回線のオンフックとオフフックを切り替えます。オンフックでは、手動でファクスを送信します。	22	クイックダイヤル* 登録してあるファクス送付先番号を呼び出します。

* ファクスモデルのみ

ファンクションボタンに割り当てられた機能

【F1】～【F4】ボタンの機能は、モードやタブによって変わります。モードは各モードのボタンで、タブは【◀】【▶】ボタンで切り替えます。

例) コピーモードの基本画面



モード	タブ	【F1】	【F2】	【F3】	【F4】
コピー ☞ 63 ページ「コピー」	基本設定	用紙	倍率	両面	濃度
	画質設定	カラー原稿	モノクロ原稿	モノクロ優先	その他
	応用設定 1	割り付け	影消し	とじしろ	ページ連写
	応用設定 2	ID カード	全面コピー	原稿追加	部単位
	応用設定 3	原稿サイズ	原稿混載	—	—
スキャン ☞ 72 ページ「スキャン」	(機能選択)	USB メモリー	フォルダー	メール	PC 保存 *1
	基本設定	保存先/メール設定 *2	原稿サイズ	原稿画質	ADF 両面
	ファイル設定	ファイルヘッダー	保存形式	PDF 設定	—
	読取設定	濃度	解像度	圧縮率	ADF 追加
プリント *3	(機能選択)	USB メモリー	パスワード *6	—	—
ファクス *4 ☞ 80 ページ「ファクス (ファクスモデルのみ)」	基本設定	原稿サイズ	画質	ADF 両面	濃度
	応用設定	通信モード	時刻指定	ADF 追加	—
	機能設定	メモリ使用率	メモリ受信 *5	—	—

*1 [ネットワークスキャン] - [許可する] で表示

*2 選択した機能によって表示が変わる ([USB メモリー] 選択時は非表示)

*3 選択した機能によって表示が変わる

*4 ファクスモデルのみ

*5 【各種設定】ボタン - 【ファクス設定】 - 【受信設定】 - 【メモリ受信】 - 【時間帯指定】 (または【常時】) で表示

*6 印刷ジョブにパスワードを設定したときに表示

☞ 56 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」

操作パネルの使い方と設定値一覧

操作パネルとプリンタードライバーの双方から設定できる項目は、プリンタードライバーの設定値が優先されます。また、モデルや状況（オプションの有無、他の設定値の状態など）によって表示されない項目や設定値があります。

操作パネルの使い方

操作パネルからの基本的な設定手順は以下です。

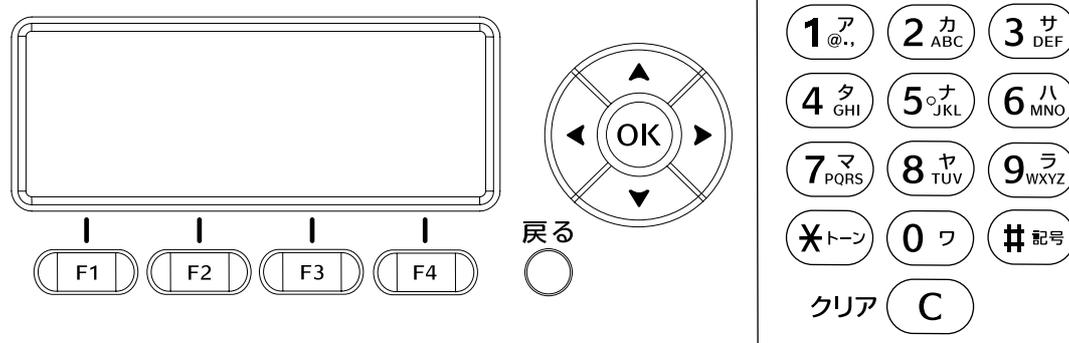


- 1 【節電】 ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】 ボタンを押して節電状態から復帰させます。
- 2 【各種設定】 ボタンでメニュー画面を表示させます。
- 3 【▲】 【▼】 ボタンでメニュー項目を選択し、【OK】 ボタンで決定します。
- 4 【▲】 【▼】 ボタンで設定項目を選択し、【OK】 ボタンで決定します。
- 5 【▲】 【▼】 ボタンで設定値を選択し、【OK】 ボタンで決定します。
設定した値が、電源の再投入後に有効になる項目があります。
[14 ページ](#) 「[共通設定] メニュー」

【戻る】 ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。

文字の入力

文字はテンキー（ダイヤルボタン）を使って入力します。



- 文字種（数字、アルファベット、カタカナ）の切り替えは【F4】ボタンを押します。
- アルファベット入力状態でテンキーを押すと、大文字と小文字の切り替えができます。
- 文字の削除は、【◀】 【▶】 ボタンで削除する文字を選択し、【C】 ボタンを押します。
- 入力が終わったら【OK】 ボタンを押します。入力した文字が確定されます。

[表示言語]メニュー

設定項目	設定値	説明
表示言語	日本語	操作パネルやステータスシートの表示言語を選択します。
	English	

[システム情報]メニュー

メニュー	設定項目	説明
システム情報	メインバージョン	ファームウェア（内蔵ソフトウェア）のバージョン
	IPLバージョン	
	MCUバージョン	
	シリアル No	製造番号
	メモリー	内蔵メモリーの容量
	MAC アドレス	ネットワークインターフェイスの MAC アドレス
レポート印刷	プリンター情報シート印刷	プリンターの状態や設定の状態を印刷します。
	消耗品情報シート印刷	消耗品の使用状況や残量などを印刷します。
	使用履歴シート印刷	プリンターの使用履歴を一覧で印刷します。
	ネットワーク情報	ネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。
	ジョブメモリーリスト	ジョブメモリーに登録されている情報を印刷します。
	メールアドレスリスト	登録されているメールアドレスのリストを印刷します。
	フォルダーリスト	登録されている保存先フォルダーの情報を印刷します。
	ダイヤルリスト	短縮ダイヤルリスト、クイックダイヤルリスト、グループダイヤルリストを印刷します。
	ファクス通信レポート	ファクス通信管理レポート、ファクス受信出力先レポートを印刷します。
	ファクスメモリージョブリスト	送信待機中、受信ファクスの印刷待ち、などのジョブ情報を印刷します。
	ファクスプロトコルログ	ファクス通信のプロトコルログを印刷します。
	ファクス機能診断	ファクス機能診断を行い、その結果を印刷します。
	PS3 ステータスシート	PS3（PostScript 3）モードの情報を印刷します。
	PS3 フォントリスト	PostScript プリンターとして利用できるフォントのリストを印刷します。

[共通設定]メニュー

* マークが付いた設定は本製品の再起動後に有効になります。

メニュー	設定項目	説明
デバイス設定	無操作タイムアウト	パネル操作終了後、タイムアウトするまでの時間を設定します（初期値は [60 秒]）。指定した時間を過ぎると [初期モード] で設定したモードに戻ります。タイムアウトする前に節電モードに移行した場合は、初期モードで設定した状態に戻ります。
	パネル操作優先時間	パネル操作中に他のジョブを受信した場合でも、パネル操作が優先される時間を設定します（初期値は [10 秒]）。設定した時間を過ぎると、ジョブが実行されます。
	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を秒単位（20～600）で設定します。（初期値は [60]） タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、設定されているタイムアウト時間中も別のインターフェイスがデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、印刷中にデータの受信が途切れてしまったページは、その時点で排紙されます。
	MP トレイ優先	プリンタードライバーの [給紙装置] の設定が [自動選択]、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされているときに、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。（初期値は [しない]）
	コピー枚数	印刷する部数（1～999）を設定します。（初期値は [1]）
	両面印刷	用紙の表と裏に印刷します。（初期値は [しない]）
	とじ方向	両面印刷時のとじ方向を選択します。（初期値は [長辺とじ]）
	白紙節約	白紙ページを印刷しないことで用紙を節約します。（初期値は [する]）
	自動排紙	印刷データによっては、操作パネルのデータランプが点滅した状態で停止して印刷されないことがあります。 する：プリンター内に残ったデータを [I/F タイムアウト] で設定した時間後に自動的に印刷して排紙する（初期値） しない：プリンター内にデータが残っていても自動排紙しない
	用紙サイズフリー	[する] にすると、[指定と違うサイズの用紙に印刷しました] と [用紙を交換してください xxxxx yyyy] のメッセージを表示しません。（初期値は [しない]）
	自動エラー解除	しない：[オーバーランエラー]、[用紙を交換してください xxxxx yyyy]、[メモリー不足で印刷できません]、[指定された用紙は両面印刷できません]、[メモリー不足で両面印刷できませんでした] のエラーが発生したときに、プリンターの動作を一時停止します。【OK】ボタンを押すと、印刷を再開します。（初期値） する：これらのエラーが発生したときにメッセージを約 5 秒間表示した後でエラーを自動的に解除し、動作を継続します。
	ページエラー回避	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追いつかないためにページエラーが発生することがあります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリーやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、印刷時間が長くなることがあるため通常は [しない]（初期値）に設定してください。

メニュー	設定項目	説明	
デバイス設定 (続き)	A4/LT 切り替え	A4 または Letter サイズのデータを印刷するときの動作を設定します。 LT → A4 : LT (Letter) サイズ紙の給紙口がない状態で LT サイズの印刷データが送られたときに、A4 サイズ紙がセットされていれば代替印刷します。(初期値) A4 → LT : A4 サイズ紙の給紙口がない状態で A4 サイズの印刷データが送られたときに、LT サイズ紙がセットされていれば代替印刷します。 A4<->LT : [LT → A4] と [A4 → LT] の双方を可能にします。 しない : 用紙サイズの代替印刷をしません。	
	モノクロに変換印刷	カラートナー残量がない状態でカラーデータを受信したときに、モノクロに変換して印刷するかどうかを設定します。 する : 上記条件に当てはまったときに、確認のメッセージを表示 (初期値) しない : モノクロデータに変換しての印刷をしない	
	LCD コントラスト	操作パネルに表示される文字の濃度を 0 ~ 15 の数字で設定します。(初期値は [7]) 数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。	
	LCD バックライト	自動 : 節電モード時に消灯 (初期値) 消灯 : 常時消灯	
	白黒反転表示	操作パネルの表示を白黒反転させます。(初期値は [しない])	
	音量調整	操作確認音	操作パネルのボタンを押したときに音を出します。 Off : 音を出さない 中 : 中音 (初期値) 大 : 中音より大きな音を出す
		ファクス受信完了音	ファクスの受信が完了したときに音を出します。 Off : 音を出さない (初期値) 中 : 中音 大 : 中音より大きな音を出す
		正常終了音	印刷、スキャン、ファクス送信が正常に終了したときに音を出します。 Off : 音を出さない (初期値) 中 : 中音 大 : 中音より大きな音を出す
		注意音	エラーなどが発生または印刷可能な状態になったときに音を出します。 Off : 音を出さない (初期値) 中 : 中音 大 : 中音より大きな音を出す 中 (連続) : 中音で繰り返し 大 (連続) : 中音より大きな音で繰り返し [連続] にした場合、操作パネルのいずれかのボタンを押すか、エラーを解除すると音が止まります。
	RAM ディスク*	パスワード印刷用のメモリーを確保します。(初期値は [なし]) パスワード印刷するときは [標準] または [最大] のいずれかに設定してください。 RAM ディスクを確保すると、高精細に設定した A3 の両面コピーができなくなることがあります。	
両面片面変換	奇数ページのジョブを両面印刷する際に最終ページを片面印刷モードに変更して印刷時間を短縮するかどうかの設定をします。 最終ページを適切な面に印刷するためには [しない] を選択してください。 最終ページ (奇数) : 1 ページのジョブや、奇数ページのジョブの最終ページを片面印刷に変更する (初期値) 1 ページのジョブ : 1 ページのジョブに限り、片面印刷に変更する しない : ジョブが奇数ページであっても、最終ページを片面印刷に変更しない バインダー用の穴が開いている用紙やプレプリント紙など、表面と裏面とを区別する用紙に両面印刷するとき、最終ページが意図した面とは反対の面に印刷されるような場合にも有効です。		

メニュー	設定項目	説明
デバイス設定 (続き)	用紙タイプ確認	[する] にすると、プリンタードライバーで設定した [用紙タイプ] と、選択した給紙装置に設定した用紙タイプ (種類) が一致していないときに用紙交換のメッセージを表示します。(初期値は [しない])
	ジョブ情報表示	印刷中や一時停止中のジョブ情報を表示します。 表示パターン1: 2行目にユーザー名、3行目にドキュメント名 (初期値) 表示パターン2: 2行目にネットワークアドレスまたはインターフェイス名、3行目に印刷日時 Off: ジョブ情報をパネルに表示しない [Off] にすると、印刷の中止や割り込みでのジョブ選択ができなくなります。
	時差設定	初期値は [+9:00] (日本時間) に設定されているため変更する必要はありません。外部 (EpsonNet Config など) から変更されたときはここで修正できます。
	日付時刻設定	初回電源投入時に表示されます。 長期間 (約 10 日) 未使用後の電源投入時には「日付時刻設定で時刻を修正してください」が表示されますので、この設定で日付、時刻を設定してください。
	日付表示フォーマット	年月日の表示順を設定します。
	本体寿命の警告	プリンター部が寿命に近づくとメッセージを表示します。(初期値は [する])
	普通紙定着温度補正	普通紙にトナーを定着させる温度を調整します。印刷物を指でこするとかされる場合は [する] にします。(初期値は [しない])
USB I/F 設定 *	USB I/F	USB インターフェイスを使うか (インターフェイス自動選択の対象に含めるか) どうかを設定します。(初期値は [使う])
	USB SPEED	HS: 全ての USB 接続機器に対応しています。(初期値) FS: [HS] で正しく動作しないときに選択してください。
	受信バッファ	データ受信用に確保する内蔵メモリーの配分を設定します。 標準: データ受信用とそれ以外にバランスよく配分 (初期値) 最大: データ受信を重視して配分 最小: データ受信用に最小限を配分

メニュー	設定項目	説明
ネットワーク設定*	ネットワーク I/F	ネットワークインターフェイスを使うか（インターフェイス自動選択の対象に含めるか）どうかを設定します。（初期値は【使う】）
	IP アドレス設定	自動：ネットワーク上にある DHCP サーバーから IP アドレスを自動で取得（初期値） PING：ネットワークから ARP コマンド / PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用 パネル：以下に続くパネルメニュー（IP、SM、GW）で設定する IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用 🔗 30 ページ「IP アドレスの設定」
	IP	TCP/IP の IPv4 アドレスを 0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 の間 * で設定します。（初期値は【192.168.192.168】） * 設定できないアドレスがあります。詳細は以下を参照してください。 🔗 30 ページ「IP アドレスの設定」
	SM	TCP/IP のサブネットマスクを 0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の間で設定します。（初期値は【255.255.255.0】）
	GW	TCP/IP のゲートウェイアドレスを 0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 の間で設定します。（初期値は【255.255.255.255】）
	MS Network	MS Network を使用するときは【On】にします。（初期値は【Off】）
	WSD	WSD を使用しないときは【Off】にします。（初期値は【On】）
	LLTD	LLTD を使用しないときは【Off】にします。（初期値は【On】）
	Bonjour	Bonjour を使用しないときは【Off】にします。（初期値は【On】）
	IPv6	TCP/IP の IPv6 アドレスで使用するときは【On】にします。（初期値は【Off】）
	IPSec	IPSec で安全な通信をしたいときに【On】にしてください。（初期値は【Off】） 詳細は『ネットワークガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
	事前共有キー	本製品とクライアントコンピューターを IPSec 通信で相互認証するためのキー（パスワード）を入力します。初期値は何も入力されていません。半角英数（大文字と小文字の区別あり）、!#\$%()*+,-.:;=?@[_`{ }~ を 20 桁以内で設定します。キー（パスワード）の入力方法は『セットアップガイド』（冊子）を参照してください。また、詳細は『ネットワークガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
	リダイレクト (HTTP->HTTPS)	使用する：HTTP を HTTPS に切り替えて（リダイレクトして）接続する（初期値） 使用しない：リダイレクトしない
	IEEE802.1X	IEEE802.1X で安全な通信をしたいときに【On】にしてください。（初期値は【Off】） 詳細は『ネットワークガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
	Link Speed	データ転送速度と通信方式を設定します。 自動：データ転送速度 / 通信方式を自動判別（初期値） 100 Full：100BASE-TX 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定 100 Half：100BASE-TX 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定 10 Full：10BASE-Te 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定 10 Half：10BASE-Te 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定
受信バッファ		データ受信用に確保する内蔵メモリーの配分を設定します。 標準：データ受信用とそれ以外にバランスよく配分（初期値） 最大：データ受信を重視して配分 最小：データ受信用に最小限を配分
USB ホスト設定	USB ホスト	USB メモリーからの印刷や、USB メモリーへのスキャンデータの保存ができます。（初期値は【使う】）

メニュー	設定項目	説明
メールサーバー設定	認証方式	メール送信時のサーバー認証を指定します。 なし：指定しない（初期値） POP before SMTP：受信サーバー（POP3）の認証を利用する SMTP 認証：送信サーバー（SMTP）の認証を利用する
	認証用アカウント	メール送信時の認証用ユーザー名を設定します（半角 30 文字以内）。
	認証用パスワード	メール送信時の認証用パスワードを設定します（半角 20 文字以内）。
	送信元アドレス	送信元として表示されるメールアドレスを入力します（半角255文字以内）。 ただし、先頭文字に.（ピリオド）は使えません。
	SMTP サーバーアドレス	SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します（半角 255 文字以内）。
	SMTP サーバーポート番号	SMTP サーバーのポート番号を設定します。（初期値は [25]）
	POP3 サーバーアドレス	[認証方式] が [POP before SMTP] の場合に表示されます。 POP3 サーバーの IP アドレスまたはホスト名を設定します（半角 255 文字以内）。
	POP3 サーバーポート番号	[認証方式] が [POP before SMTP] の場合に表示されます。 POP3 サーバーのポート番号を設定します。（初期値は [110]）
	接続テスト	設定したメールサーバーとの接続をテストします。 エラーが発生した場合は、以下のページを参照してください。 93 ページ 「操作パネルにメッセージが表示されている」
省電力設定	予熱モード	しない：予熱状態になりません。（初期値） する：最後の印刷が終了してから、設定した時間が経過すると、予熱状態になります。節電状態より短い時間で復帰しますが、節電状態よりも電力を消費します。
	予熱モード移行時間	予熱状態になるまでの時間を分単位で設定します。（初期値は [1 分]） [節電移行時間] よりも長い時間を設定すると、節電状態が優先されるためにここで設定した時間が経過しても節電状態のままになります。
	節電移行時間（自動）	本製品の稼働状況（履歴）に基づいて自動的に設定された節電移行時間を使用するかどうかを設定します。（初期値は [使用しない]） 91 ページ 「節電の設定」
	節電移行時間	節電状態に入るまでの時間を設定します。（初期値は [1 分]） 91 ページ 「節電の設定」
リセット	ワーニングクリア	操作パネルに表示されている、消耗品など交換部品に関するもの以外のメッセージを消します。
	全ワーニングクリア	操作パネルに表示されている全てのワーニングメッセージを消します。
	リセットオール	電源を入れた直後の状態まで本製品を初期化します。全てのインターフェイスに対してメモリーに保存された印刷データを破棄します。また、印刷されていないパスワード印刷ジョブもメモリー（RAM ディスク）から削除されます。

[プリンター設定]メニュー

パネルとプリンタードライバーの設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定が優先されます。

メニュー	設定項目	説明
給紙装置設定	用紙確認の自動表示	MPトレイに用紙をセットしたときに用紙サイズを設定する画面を表示します。(初期値は [しない])
	用紙確認表示時間	[用紙確認の自動表示] を [しない] 以外にしたときの、メッセージの表示時間を設定します。(初期値は [10 秒])
	MPトレイサイズ	MPトレイや用紙カセットにセットした用紙のサイズとタイプ(種類)を設定します。 用紙タイプの初期値は [普通紙] です。 📄 31 ページ [印刷できる用紙とセット可能枚数]
	MPトレイタイプ	
	カセット1サイズ カセット3サイズ	
	カセット1タイプ カセット3タイプ	
	用紙サイズ検知 C1 用紙サイズ検知 C3	
	給紙口自動選択対象 MP	する：プリンタードライバーで [給紙装置] を [自動選択] に設定したときの検索対象にします。(初期値)
	給紙口自動選択対象 C1 給紙口自動選択対象 C3	しない：検索対象にしません。検索対象にしない給紙装置から給紙するときは、プリンタードライバーの [給紙装置] で給紙したい装置を指定してください。

メニュー	設定項目	説明
印刷書式設定	ページサイズ	印刷する文書の用紙サイズ (初期値は [自動])
	用紙タイプ	印刷する文書の用紙タイプ (種類) (初期値は [指定しない])
	紙面	手で両面印刷するときに設定します。(初期値は [表]) 裏面印刷時に [裏] を選択してください。
	給紙口	印刷で使う用紙の給紙装置を指定します。[自動] (初期値) では、印刷データの原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
	用紙方向	縦：用紙に対して縦長に印刷 (初期値) 横：用紙に対して横長に印刷
	解像度	印刷の解像度を設定します。 はやい：300dpi で印刷 きれい：600dpi で印刷 (初期値) よりきれい：1200dpi で印刷 印刷するデータの容量が大きいとメモリー不足で印刷できないことがあります。この場合は解像度を下げて印刷してください。 1200dpi で印刷すると、細線などははっきり印刷できますが、印刷速度は遅くなります。
	RIT	On：斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能 (Resolution Improvement Technology) を使用して印刷する (初期値) Off：輪郭を補正しない
	トナーセーブ	しない：通常の印刷をします。(初期値) する：トナーの消費を節約します。試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
	縮小	Off：印刷データを原寸 (100%) で印刷 (初期値) 80%：印刷データを 80% に縮小して印刷
	細線補正	細い線を補正します。 より鮮明にする：[鮮明にする] よりさらに見えやすく (太く) して細線を印刷 (初期値) 鮮明にする：細線を見えやすく (太く) して印刷 しない：細線を強調しないで印刷 補正の効果はアプリケーションソフトによって差が出ます。
	イメージ補正	1：標準の方式でイメージデータを補正します。(初期値) 通常はこの設定で使用してください。 2：ESC/PS または ESC/P モードで、罫線が正しく印刷されないときに設定します。ESC/Page モードで、本製品に対応していないドライバーを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに設定します。
	上オフセット 左オフセット 上オフセット B 左オフセット B	上オフセット
左オフセット		
上オフセット B		
左オフセット B		
プリンター言語	USB	各インターフェイス接続時に利用するプリンター言語 (ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3) を設定します。(初期値は [自動])
	ネットワーク	

メニュー	設定項目	説明
ESC/PS 環境設定	連続紙	連続紙用の印刷データを、単票紙（カット紙）用に縮小して印刷するときを設定します。（初期値は [OFF]）
	文字コード	ESC/P 用ソフトウェア使用時の、英数カナ文字コードの切り替えをします。（初期値は [カタカナ]）
	給紙位置	ESC/P 用ソフトウェア使用時の、用紙の印刷開始位置を選択します。（初期値は [8.5mm]）
	各国文字	ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェア使用時に、英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応させるかを設定します。（初期値は [日本]）
	ゼロ	ESC/PS モードまたは ESC/P モード時に、英数カナ文字コードの「0」の書体を設定します。（初期値は [0]）
	用紙位置	ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェア使用時に、横方向の印刷幅（136 桁）のどこに用紙を合わせるかを設定します。（初期値は [左]） 中央を選択すると、オフセット量も設定できます。アプリケーションソフトのプリンター設定で PC-PR201H、シートフィーダー使用にしたときは、[中央] を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されないことがあります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
	右マージン	ESC/PS モードまたは ESC/P モード時の、右マージンを設定します。（初期値は [用紙幅]）
	漢字書体	ESC/PS モードまたは ESC/P モード時の、漢字の書体を設定します。（初期値は [明朝]）
ESC/Page 環境設定	復帰改行	印刷データが右マージン位置を越えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷するかどうかを設定します。（初期値は [する]）
	改ページ	印刷データが改行で下マージン位置を越えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかどうかを設定します。（初期値は [する]）
	CR	CR（復帰）の動作を設定します。（初期値は [CR のみ]）
	LF	LF（改行）の動作を設定します。（初期値は [CR + LF]）
	FF	FF（改ページ）の動作を設定します。（初期値は [CR + FF]）
	エラーコード	文字コード表にない文字の受信時に、スペースに置き換えるときは [On] にします。（初期値は [Off]）
	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたときの、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を設定します。 1：15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷（初期値） 2：全角フォントを優先して印刷 3：半角フォントを優先して印刷
PS3 環境設定	オプションに付属のマニュアル（PostScript プリンターガイド）を参照してください。	

[コピー設定]メニュー

メニュー	設定項目	説明
高圧縮設定	—	部単位でコピーできる原稿の枚数を増やすために、元データを圧縮します。 (初期値は [する])
カラーキャリブレーション	開始	カラーコピーの画質を調整します。
	工場出荷時に戻す	カラーコピーの画質設定を初期値に戻します。
コピー標準値設定	—	現在のコピーモードの設定を標準値として登録します。 <登録の仕方> ①【コピー】 ボタンを押し、好みの設定に変更する ②【各種設定】 ボタンを押し、本項目を選択して【F3】 ボタン (する) を押す

[スキャン設定]メニュー

メニュー	設定項目	説明
ネットワークスキャン	—	ネットワーク上のコンピューターからのスキャンを制限するときに [許可しない] にします。(初期値は [許可する])
メール設定	添付ファイル最大サイズ	メールに添付できるスキャンデータの最大サイズを指定します。(初期値は [2MB]) スキャンデータを添付したメールのサイズは、指定した最大サイズの約 1.3 倍になります。
一時保存領域サイズ設定	—	スキャンしたデータを処理する際に、一時的に保存する領域のサイズ (10 ~ 64MB) を設定します。(初期値は [10MB]) 複数のページを一度にスキャンできる Tiff ファイルなどでは設定値を大きくしてください。
スキャン標準値設定	—	現在のスキャンモードの設定を標準値として登録します。 <登録の仕方> ①【スキャン】 ボタンを押し、好みの設定に変更する ②【各種設定】 ボタンを押し、本項目を選択して【F3】 ボタン (する) を押す

[ファクス設定]メニュー(ファクスモデルのみ)

メニュー	設定項目	説明	
基本設定	回線種別	ファクスで使用する電話回線の種類を指定します。 PSTN：一般加入電話回線網で使用する（初期値） PBX：電話交換機などがある環境で使用する	
	ND 回線接続	ナンバーディスプレイ回線に接続するときに [する] にします。（初期値は [しない]） 本製品には、相手の電話番号を表示する機能はありません。	
	外線切り替え番号	PBX 回線で、外線に接続する際に入力するダイヤル番号（0～9、*、#）を指定します。（初期値は [0]） 外線に切り替えない場合は [しない] に設定してください。	
	ダイヤル種別	プッシュ回線かダイヤルパルス回線かを指定します。（初期値は [プッシュ]）	
	自局情報	名称	送信元の名称（半角 20 文字以内*）を登録します。
		番号	テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号（20 桁以内）を入力します。 【*】ボタンで「+」、【#】ボタンで空白（スペース）が入力できます。
	スピーカー音量	ファクス操作時の音量を設定します。（初期値は [2]） 無音にしたいときは [Off] にしてください。	
送信設定	自動リダイヤル回数	相手が通話中などで接続できない場合に、再びダイヤルする回数（0～15）を指定します。（初期値は [3]）	
	自動リダイヤル間隔	相手が通話中などで接続できない場合に、再びダイヤルするまでの時間の間隔（0～15 分）を指定します。（初期値は [5] 分）	
	直接ダイヤル制限	[2 回入力] にすると、ファクス番号を 2 回入力しないとなくなるため、入力ミスによる誤発信が防げます。（初期値は [しない]）	
	発信元記録	ファクスの上部に発信元情報（年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数（分数表示））を入れたくないときに [しない] にします。（初期値は [する]）	
	優先原稿サイズ	ファクスモードの [基本設定] で [原稿サイズ]（[F1] ボタン）が [自動選択] になっているときに、自動検知できないサイズ of 原稿をどう扱うか指定します。 [なし] にするとサイズを指定する画面を表示します。ここで指定したサイズでスキャンします。（初期値）	
	PC-FAX 送信機能	PC-FAX 送信しないときに [使用しない] にします。（初期値は [使用する]）	
受信設定	給紙口	受信ファクスを印刷するための給紙装置を指定します。 自動：受信ファクスと同じサイズの用紙をセットしてある装置から給紙します。受信ファクスと同じサイズの用紙がない場合、用紙サイズより大きなデータは自動縮小または分割印刷されます。（初期値） MP トレイ / カセット 1～3：指定した装置のみから給紙します。	
	両面印刷	受信ファクスを両面印刷したいときに [する] にします。（初期値は [しない]）	
	受信モード	自動：指定した回数だけ外付け電話機を呼び出した後で、ファクス受信に移行します。（初期値） 留守番電話機能付き電話を接続しているときは [自動] を指定してください。 手動：外付け電話機を呼び出し続けます。ファクス受信しません。 ファクス / 電話自動切替：ファクスか電話かを自動的に判別します。ファクスの場合は受信を開始し、電話の場合は外付け電話を呼び出します。	

メニュー	設定項目	説明
受信設定 (続き)	外付け電話呼出回数	[受信モード] で [自動] を指定したときの電話機の呼び出し回数 (0 ~ 15) を指定します。(初期値は [5]) [受信モード] が [ファクス / 電話自動切替] の場合は、設定範囲が 3 ~ 15 になります。 留守番電話機能付き電話を接続しているときは、留守番電話の呼び出し回数より多い数を指定してください。
	自動縮小	する：用紙の印刷可能な範囲より大きな受信データは自動的に縮小し、印刷範囲に収まるようにします。(初期値) しない：縮小しないため、ページをまたいで印刷されることがあります。
	受信ファクス出力先	受信ファクスの出力 (処理) の仕方を指定します。(初期値は [印刷])
	保存先フォルダー設定	[受信ファクス出力先] で [フォルダー保存] を指定したときの保存先を設定します。5 件まで登録できます。
	接続プロトコル	保存するときに使用するプロトコルを指定します。(初期値は [SMB])
	保存先指定	保存先の共有フォルダーのパス (半角 229 文字以内 *) を指定します。
	保存先ユーザー名	保存先の共有フォルダーにアクセスするときのユーザー名 (半角 30 文字以内 *) を設定します。
	保存先パスワード	保存先の共有フォルダーにアクセスするときのユーザーパスワード (20 桁以内 *) を設定します。
	FTP サーバー接続方式	FTP サーバーに接続する方式を指定します。(初期値は [Passive])
	FTP サーバー接続ポート番号	接続する FTP サーバーのポート番号 (0 ~ 65535) を入力します。(初期値は [21])
	接続テスト	ネットワークの接続テストをします。
	メール設定	[受信ファクス出力先] で [メール] を指定したときに設定します。20 件まで登録できます。
	メールアドレス	送信先のメールアドレス (半角 255 文字以内。同報は 20 件まで) を設定します。
	添付ファイル最大サイズ	メールを添付して送信するファクスデータの最大サイズを指定します。(初期値は [1MB])
	件名	送信するメールの件名 (半角 64 文字以内) を設定します。
	接続テスト	ネットワークの接続テストをします。
	転送先番号	[受信ファクス出力先] で [転送] を指定したときの、転送先ファクス番号 (20 桁以内) を設定します。
	メモリー受信	[受信ファクス出力先] が [印刷] の場合に、受信したファクスを印刷せずにメモリーに蓄積したいときに設定します。
	メモリー受信	しない：メモリーには蓄積せず、印刷します。 時間帯指定：[ON 時刻] と [OFF 時刻] の間に受信したファクスをメモリーに蓄積し、印刷を保留します。 常時：常にメモリー受信します。蓄積されたファクスの印刷は、[しない] にするまで保留されます。
	ON 時刻	メモリー受信を開始する時刻を設定します。
	OFF 時刻	メモリー受信を終了する時刻を設定します。

メニュー	設定項目	説明
通信管理設定	ファクス通信レポート	送受信ファクスの合計が 50 件になるたびにレポートを印刷します。 通信管理+受信出力先：ファクス通信管理レポートとファクス出力先レポートを印刷します。(初期値) 通信管理のみ：ファクス通信管理レポートだけを印刷します。 しない：印刷しません。
	ファクス送信レポート	送信結果のレポートを印刷します。 常時：送信が完了するたびに印刷します。 エラー時のみ：送信できなかったときや同報送信完了時に印刷します。(初期値) なし：印刷しません。
詳細設定	ポーズ時間	ファクス宛先番号に付与したポーズ記号 (-) の待ち時間を指定します。(初期値は [短]) 通常は初期値でお使いください。
	回線特性	本製品と接続する電話回線の電圧特性を設定します。(初期値は [1]) ファクスモードに切り替えたときに [外付け電話使用中] の表示が出てしまう場合に、設定値を変更すると問題が解決することがあります。通常は初期値でお使いください。
	トーン時間	ダイヤルトーンのパルスの長さを設定します。(初期値は [短]) ファクス送信先の番号は正しいのにつながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。通常は変更しないでください。
	トーン間隔	ダイヤルトーンのパルスの間隔を設定します。(初期設定は [短]) ファクス送信先の番号は正しいのにつながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。通常は変更しないでください。
	エラー訂正 (ECM)	送信側と受信側で送受信状態を確認しながら、回線のトラブル等によるエラーを自動的に修復します。(初期値は [する])
	ファクス通信モード	手動送信の手順でファクス送信するときの通信開始速度を設定します。 33.6kbps (スーパー G3)：高速通信可能なアナログ回線向き 14.4kbps (G3)：高速通信可能な光回線向き (初期値) 9.6kbps (G3)：アナログ電話回線向き
	着信レベル 1	ファクス着信時の信号レベルを設定します。(初期値は [低]) 通常は初期値のままお使いください。
	送出レベル	本製品からのファクス信号の送出レベルを設定します。(初期値は [中]) 通常は初期値のままお使いください。
ファクス標準値設定	—	現在のファクスモードの設定を標準値として登録します。 <登録の仕方> ①【ファクス】 ボタンを押し、好みの設定に変更する ②【各種設定】 ボタンを押し、本項目を選択して【F3】 ボタン (する) を押す

* EpsonNet Config を使うと、全角でも登録できます (Web 版でもアプリケーションソフト版でも可)。

[宛先/保存先設定]メニュー

!重要

ファクス文書があるとき（ファクス蓄積文書ランプ点灯時）は、[ファクス番号]メニューの登録や編集、削除はできません。

メニュー	設定項目	説明
メールアドレス		<p>スキャンデータ送信先のメールアドレスを 50 件まで登録できます。 <登録または変更の仕方></p> <p>①【▲】【▼】ボタンで登録済みの名称を表示させます。 何も登録されていないときは[未登録]と表示されます。</p> <p>②【F3】ボタン（編集）を押して、登録や変更をします。 削除する場合は【F2】ボタン（削除）を押してください。</p>
	メールアドレス	スキャンデータ送信先のメールアドレス(半角255文字以内)を設定します。
	名称	スキャンデータ送信先の名称(半角 20 文字以内 ^{*1})を登録します。メールアドレスを確定するとこの項目が表示されます。LDAP サーバーにメールアドレスが登録されている場合は、LDAP 検索して名称を表示します ^{*2} 。
	ヨミガナ	名称の読み(半角 20 文字以内)を登録します。名称を確定するとこの項目が表示されます。
保存先フォルダー		<p>スキャンデータ保存先の共有フォルダーのパスを 20 件まで登録できます。 <登録または変更の仕方></p> <p>①【▲】【▼】ボタンで登録済みの名称を表示させます。 何も登録されていないときは[未登録]と表示されます。</p> <p>②【F3】ボタン（編集）を押して、登録や変更をします。 削除する場合は【F2】ボタン（削除）を押してください。</p>
	フォルダーパス	スキャンデータ保存先の共有フォルダーのパス(半角 299 文字以内 ^{*1})を設定します。
	名称	スキャンデータ保存先の名称(半角で 20 文字以内 ^{*1})を登録します。フォルダーパスを確定するとこの項目が表示されます。LDAP サーバーにフォルダーパスが登録されている場合は、LDAP 検索して名称を表示します ^{*2} 。
	ヨミガナ	名称の読み(半角 20 文字以内)を設定します。名称を確定するとこの項目が表示されます。
	接続プロトコル	保存先の共有フォルダーにスキャンデータを保存するとき使用するプロトコルを指定します。(初期値は [SMB])
	認証ユーザー名	スキャンデータ保存先の共有フォルダーにアクセスするときのユーザー名(半角 30 文字以内 ^{*1})を設定します。
	認証用パスワード	スキャンデータ保存先の共有フォルダーにアクセスするときのユーザーパスワード(半角 20 文字以内 ^{*1})を設定します。
	FTP サーバー接続方式	接続する FTP サーバーの接続方式を指定します。(初期値は [Passive])
FTP サーバー接続ポート番号	接続する FTP サーバーのポート番号(1 ~ 65535)を入力します。(初期値は [21])	

メニュー	設定項目	説明	
ファクス番号 (ファクスモデルのみ)	短縮ダイヤル設定	短縮ダイヤル(番号、名称、ヨミガナ)を500件まで登録できます。登録すると宛先帳に表示されます。 <登録または変更の仕方> ①【▲】【▼】ボタンで登録済みの名称を表示させます。 何も登録されていないときは[未登録]と表示されます。 ②【F3】ボタン(編集)を押して、登録や変更をします。 削除する場合は【F2】ボタン(削除)を押してください。	
		番号	電話番号(半角50文字以内)を入力します。
		名称	送信先の名称(半角20文字以内 ^{*1})を登録します。LDAPサーバーに番号が登録されている場合は、LDAP検索して名称を表示します ^{*2} 。
		ヨミガナ	名称の読み(半角20文字以内)を設定します。名称を確定するとこの項目が表示されます。
	クイックダイヤル設定	クイックダイヤルボタン(1~12)の1つずつに短縮ダイヤルを割り当てるができます。 ①【▲】【▼】ボタンでクイックダイヤルの番号を選択して【OK】ボタンで確定します。 ②短縮ダイヤルが表示されたら、【▲】【▼】ボタンで宛先の番号を選択し、【OK】ボタンで確定します。	
宛先設定完全削除	短縮ダイヤルやクイックダイヤルに登録した全ての情報を削除します。		

*1 EpsonNet Config を使うと、全角でも登録できます (Web 版でもアプリケーションソフト版でも可)。

*2 EpsonNet Config (Web 版) で LDAP 機能を有効にしておいてください。

[管理者設定]メニュー

管理者以外のユーザーが本製品の設定を変更できないよう、パスワードを設定できます (購入時は未設定)。

設定手順は『セットアップガイド』(冊子)を参照してください。

メニュー	設定項目	説明
管理者パスワード設定	パスワード変更	管理者用パスワードを設定します。半角英数(大文字と小文字の区別あり)、スペース、!#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~の20文字以内で設定してください。
	パスワード制限範囲	パスワードで管理する範囲を設定します。 制限しない: 全ての設定項目でパスワード要求しない(初期値) I/F項目のみ: [USB I/F 設定]、[ネットワーク I/F 設定] の設定変更時にパスワードを要求する 選択項目のみ: 設定値が変更できる項目のみ、パスワードを要求する 全項目: 全ての設定項目でパスワードを要求する
初期モード	—	電源を入れたときにどのモード(コピー/スキャン/プリント/ファクス)で起動するかを指定します。(初期値は[コピー]) 無操作でタイムアウトになると、ここで指定したモードに戻ります。

メニュー	設定項目	説明
設定初期化	全設定初期化	全てのパネル設定値を工場出荷時の状態に戻します。また、メモリー受信データやファクス送信データ（時刻指定送信データ）を含む全てのジョブも削除します。
	コピー設定初期化	以下のパネル設定値を工場出荷時の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【各種設定】 ボタンで表示する【コピー設定】メニュー • 【コピー】 ボタンで表示するメニュー
	ファクス設定初期化	以下のパネル設定値を工場出荷時の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【各種設定】 ボタンで表示する【ファクス設定】メニュー • 【ファクス】 ボタンで表示するメニュー また、メモリー受信データやファクス送信データ（時刻指定送信データ）を含む全てのジョブも削除します。
	スキャン設定初期化	以下のパネル設定値を工場出荷時の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • 【各種設定】 ボタンで表示する【スキャン設定】メニュー • 【スキャン】 ボタンで表示するメニュー
	キャリッジロック位置移動	製品を輸送する際の損傷を防ぐために、スキャナーユニットのキャリッジをロック位置に移動させます。キャリッジのロック方法は以下をご覧ください。  150 ページ「本製品の移動と輸送」

[機械状態]メニュー

【状態確認】 ボタンを押すと表示されます。

メニュー	設定項目	説明
機械状態	シアン (C) トナー残量	消耗品の残量や交換部品の寿命を * の数で表示します (F=full、E=empty)。
	マゼンタ (M) トナー残量	
	イエロー (Y) トナー残量	
	ブラック (K) トナー残量	
	シアン (C) 感光体ライフ	
	マゼンタ (M) 感光体ライフ	
	イエロー (Y) 感光体ライフ	
	ブラック (K) 感光体ライフ	
	シアン (C) 現像ユニットライフ	
	マゼンタ (M) 現像ユニットライフ	
	イエロー (Y) 現像ユニットライフ	
	ブラック (K) 現像ユニットライフ	
	転写ユニットライフ	
	二次転写ユニットライフ	
	定着ユニットライフ	
	メンテナンスユニットライフ	
	給紙ローラー MP ライフ	
	給紙ローラー C1 ライフ 給紙ローラー C3 ライフ	
	ADF メンテナンスユニットライフ	
	延べ印刷枚数	
カラー印刷枚数	製品購入してから現在までにカラー印刷した枚数の総数	
モノクロ印刷枚数	製品購入してから現在までにモノクロ印刷した枚数の総数	
原稿台スキャン面数	製品購入してから現在までに原稿台からスキャンした面の総数	
ADF 片面スキャン面数	製品購入してから現在までに ADF から片面スキャンした面の総数	
ADF 両面スキャン面数	製品購入してから現在までに ADF から両面スキャンした面の総数	
ランプ照射時間	製品購入してから現在までに、原稿台と ADF からのスキャンで照射した時間の累計	

IP アドレスの設定

操作パネルから IP アドレスが設定できます。

1 【各種設定】 ボタンを押し、【共通設定】 – 【ネットワーク設定】 を選択して 【OK】 ボタンを押します。

2 【ネットワーク I/F=ZZZZ】 を選択して 【OK】 ボタンを押し、【使う】 を選択して 【OK】 ボタンを押します。

参考

IPv 6 アドレスで使いたいときは、【IPv6=On】 に設定してください。その後は EpsonNet Config で詳細を設定します。『ネットワークガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 【IP アドレス設定 =ZZZZ】 を選択して 【OK】 ボタンを押し、【パネル】 を選択して 【OK】 ボタンを押します。

【IP アドレス設定 = パネル】 と表示されたことを確認してください。IP アドレス (IP)、サブネットマスク (SM)、ゲートウェイアドレス (GW) を設定します。

4 【IP=】 を選択して 【OK】 ボタンを押してから、IP アドレスを入力します。

- ① 【▲】 【▼】 ボタンで数値を選択します。
- ② 【▶】 ボタンを押して右の桁に移動します。
- ③ 全ての数値を入力したら 【OK】 ボタンを押して決定します。

！重要

IP アドレスに設定できない数値は以下です。

- 000.000.000.000
- 127.000.000.001
- 255.255.255.255
- 224.000.000.000 ~ 239.255.255.255

5 【SM】 と 【GW】 のアドレスを入力します。IP アドレスと同じ手順で入力してください。

6 全ての入力終了したら【◀】 ボタンを 2 回押しします。

7 「設定変更を有効にするために再起動しますか？」 のメッセージが表示されたら「する」を選択します。

再起動後に、IP アドレスが正しく登録されたかを【ネットワーク情報印刷】 で確認してください。

📄 13 ページ [「レポート印刷」](#)

印刷できる用紙とセット可能枚数

印刷できる用紙は以下です（2016年4月現在）。これ以外の用紙を使うと、紙詰まりや故障の原因になります。

再生紙や封筒など、品質のばらつきが大きい用紙は、必ず試し印刷をしてからお使いください。

A4とLTサイズは縦置きと横置きができます。

（○：対応、－：未対応）

用紙種類	用紙サイズ	セット可能枚数（または総厚）			自動両面
		MPトレイ	カセット1 （標準）	カセット2（標準） カセット3 （オプション）	
定形紙（普通紙、再生紙）*1	A3、A4、A5、B4、B5、 Letter（LT）、Legal （LGL）、B（Ledger）	190	305	670	○
	Government Legal （GLG）、Executive（EXE）		—	—	—
	A6、Half Letter（HLT）、 Government Letter （GLT）、F4		—	—	
定形紙（上質紙）	A3、A4、A5、B4、B5、 LT、LGL、B	155	250	550	○
	GLG、EXE		—	—	—
	A6、HLT、GLT、F4		—	—	
不定形紙（普通紙、再生紙） *1*2	幅：75～297mm 長さ：98～431.8mm	190	—	—	—
	幅：210～297mm 長さ：148～431.8mm	—	305	670	—
不定形紙（上質紙）*2	幅：75～297mm 長さ：98～431.8mm	155	—	—	—
	幅：210～297mm 長さ：148～431.8mm	—	250	550	—
ハガキ	ハガキ、往復ハガキ、4面 連刷ハガキ	75	—	—	—
封筒*3	洋形：0号、4号、6号	20	—	—	—
	長形：3号		—	—	
	角形：2号		—	—	
ラベル紙	A4	17.5mm	27.6mm	59.4mm	—
厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、 LT、LGL、B、不定形紙*4	17.5mm	27.6mm	59.4mm	—
	A6、HLT、GLG、GLT、 EXE、F4		—	—	
特厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、 LT、LGL、B、不定形紙*4	17.5mm	27.6mm	—	—
	A6、HLT、GLG、GLT、 EXE、F4		—	—	
コート紙	A3、A4、A5、B4、B5、 LT、LGL、B、GLG、EXE	1	—	—	○
	A6、HLT、GLT、F4、不 定形紙*4		—	—	—

*1 セット枚数は普通紙 64g/m² の場合

*2 幅が 279.4mm より広く、かつ、長さが 420mm を超える用紙は MP トレイにのみセット可能

*3 セット枚数は 85g/m² の場合

*4 対応サイズは、「用紙種類」の「不定形紙」の欄を参照

印刷可能な用紙の厚さ（坪量：1m²あたりの紙の重量をグラムで表示したもの）は以下です。範囲内の厚みの用紙であっても、紙の特性（目の方向や硬さなど）や品質などによって給紙できないことがあります。また、印刷結果に影響が出ることもあります。

用紙種類	用紙厚（坪量）	備考
普通紙	60～80g/m ²	
再生紙	60～80g/m ²	一般の室温環境下（温度15～25℃、湿度40～60%の環境）以外で使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりなどの不具合が発生しやすくなります。
上質紙	81～105g/m ²	
ハガキ	190g/m ²	日本郵便株式会社製
封筒	80～105g/m ²	85g/m ² のものをお勧めします。
厚紙（ケント紙含む）	106～163g/m ²	MPトレイ、用紙カセット1
	106～175g/m ²	用紙カセット2～3
特厚紙	164～216g/m ²	A4のみ220g/m ² まで可能
コート紙	106～216g/m ²	
ラベル紙	—	台紙全体がラベルで覆われたA4サイズのみ

参考

- 封筒の印刷速度は、普通紙に比べて遅くなります。良好な印刷結果が得られるようプリンター内部で印刷速度を調整しているためです。
- プリンタードライバーの[給紙方法]を[自動選択]にすると、[用紙サイズ]で設定した用紙がセットされた給紙装置から自動的に給紙します。複数の給紙装置が対象になっている場合、最初の給紙装置の用紙がなくなると次の給紙装置から自動的に給紙します。例えば、オプションの用紙カセットを含め、全ての給紙装置にA4普通紙（64g/m²）をセットすると、最大1835枚の連続印刷が可能になります。
- 排紙トレイの保持容量はA4（横置き）普通紙で250枚（64g/m²）です。

重要

以下のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

- インクジェットプリンター用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のページプリンター、熱転写プリンター、インクジェットプリンターなどのプリンターや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンターで一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、酸性紙、和紙
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダー用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙
- ページプリンター用またはコピー機用以外のラベル紙
- 薄すぎる用紙（59g/m²以下）、厚すぎる用紙（221g/m²以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙
- 紙粉が発生しやすい用紙
- 約175℃で変質や変色する用紙

用紙のセット

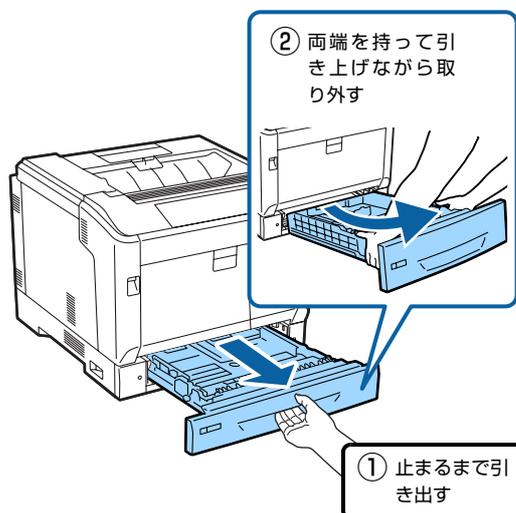
用紙カセットへのセット

用紙カセット1を例に説明しますが、カセット2や3も同じ手順でセットできます。

！重要

- 用紙カセットは、2段以上同時に引き出さないでください。不安定な状態になって本体が倒れるなどの可能性があります。
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。

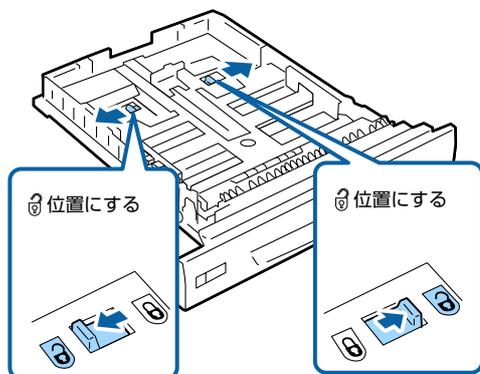
1 用紙カセットを取り外します。



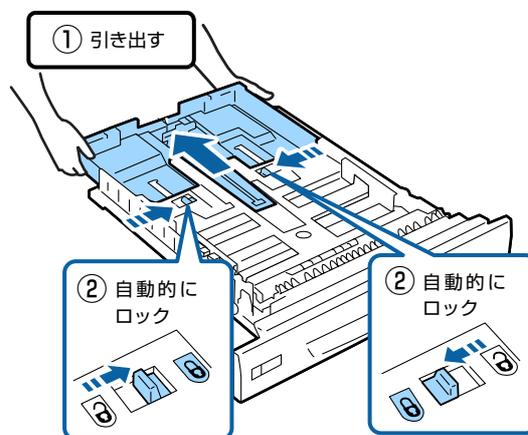
A3、B4 などカセットを延長する用紙のときは、②に進みます。

カセットを延長しない用紙のときは、④に進みます。

2 伸縮レバーロックを解除します。

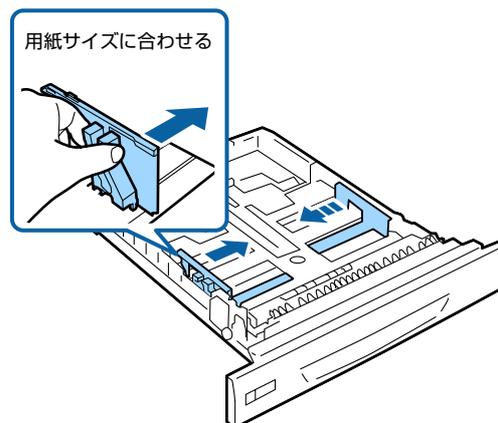


3 カチッと音がするまで、用紙カセットを引き伸ばします。

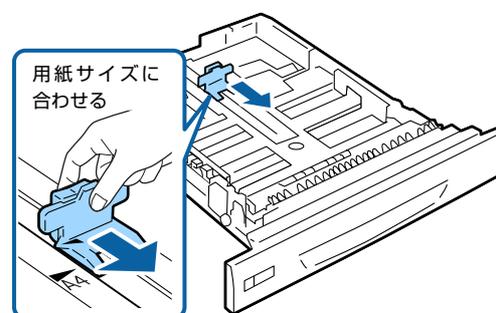


4 セットする用紙サイズの位置に用紙ガイドを移動させます。

用紙ガイド A



用紙ガイド B

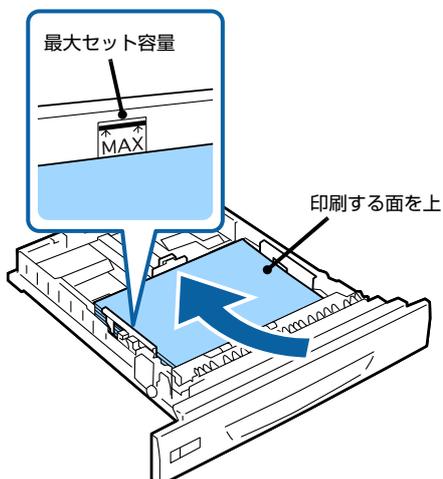


5 用紙をセットします。

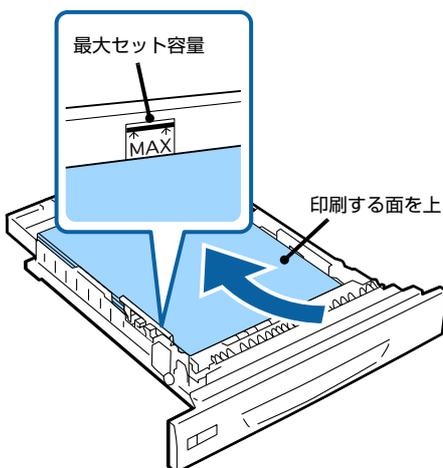
！重要

最大セット容量を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

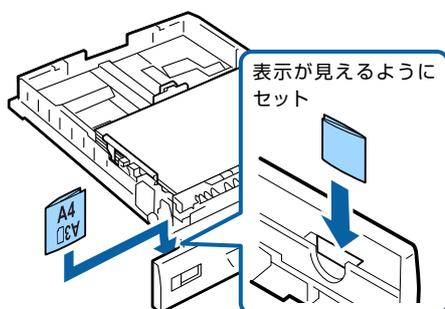
横置きの場合(A4、B5 など)



縦置きの場合(A3、B4、A4 縦置きなど)

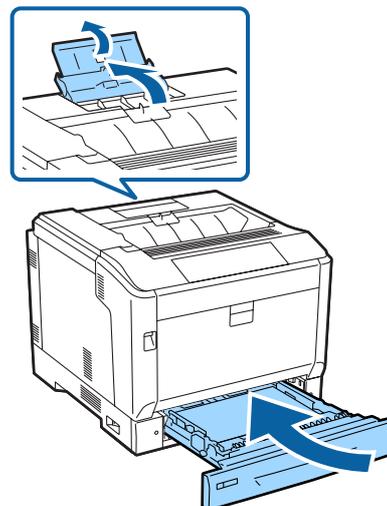


6 用紙サイズラベルをセットします。



7 用紙カセットをセットします。

A3 サイズ紙などに印刷するときは、排紙サポートを起こしてください。



8 操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、【プリンター設定】－【給紙装置設定】で【カセット x タイプ】を設定します。

x は 1～3 を表示します。
[19 ページ「給紙装置設定」](#)

！重要

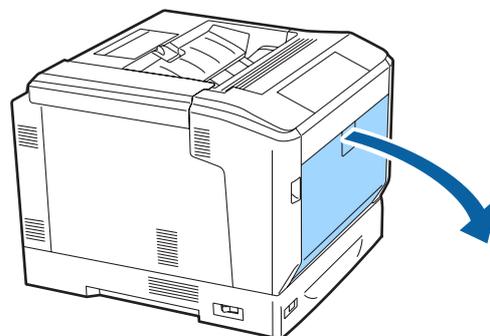
用紙タイプが正しく設定されていないと、印刷不良の原因になります。

参考

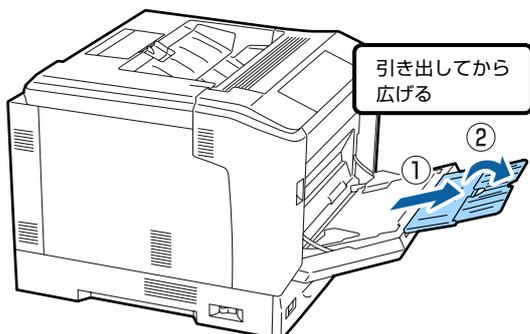
Windows では、プリンタードライバーで【基本設定】－【用紙種類】－【操作パネルの設定値】に設定した場合は必ず、操作パネルでカセットタイプを設定してください。

MP トレイへのセット

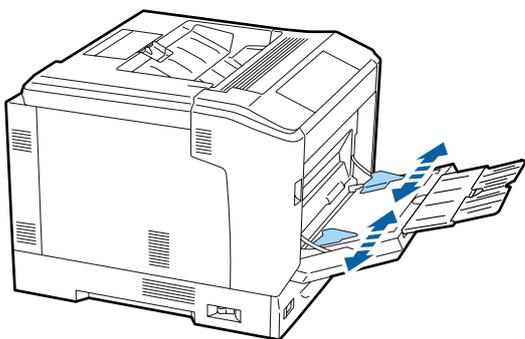
1 MP トレイを開きます。



- 2 用紙サイズに応じて、延長トレイを引き出します。



- 3 用紙ガイドを使用する用紙サイズに合わせます。

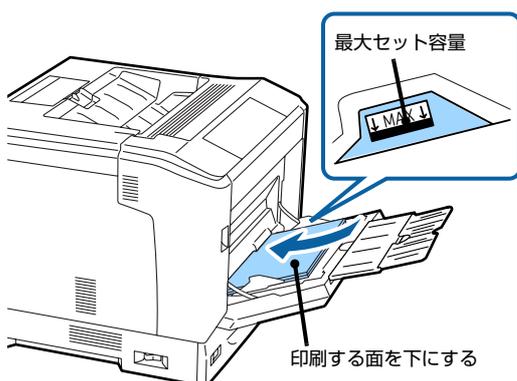


- 4 用紙をセットします。

！重要

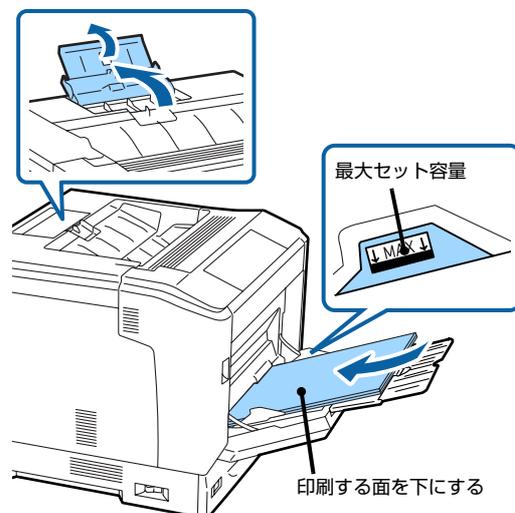
- 最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。
- コート紙は1枚ずつセットして印刷してください。

横置きの場合(A4, B5 など)

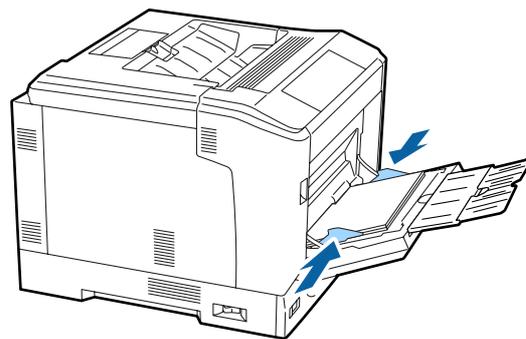


縦置きの場合(A3, B4, A4 縦置きなど)

A3 サイズ紙などに印刷するときは、排紙サポートを起こしてください。



- 5 用紙ガイドを用紙の端に再度合わせます。



！重要

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因になります。

- 6 操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、[プリンター設定] - [給紙装置設定] で [MP トレイサイズ] と [MP トレイタイプ] を設定します。

[P. 19 ページ「給紙装置設定」](#)

！重要

用紙タイプが正しく設定されていないと、印刷不良の原因になります。

参考

Windows では、プリンタードライバーで [基本設定] - [用紙種類] - [操作パネルの設定値] に設定した場合は必ず、操作パネルで MP トレイタイプを設定してください。

排紙の設定

印刷済みの面を下（フェイスダウン）にして排紙します。A4 サイズ普通紙（用紙厚 64g/m²）で 250 枚まで排出（保持）できます。

縦置きと横置きができる用紙（A4/LT）は、排紙方向が変えられます。また、部単位印刷時には 1 部ずつ縦横交互に排紙することもでき、束ねる作業が楽になります。

排紙方向を指定する

- MP トレイに用紙をセットした場合は、操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、【プリンター設定】で用紙のサイズ（向き）を設定します。

設定項目	設定値
MP トレイサイズ	A4 縦、A4 横、LT 縦、LT 横

- プリンタードライバーで排紙方向を指定します。

Windows：[基本設定] - [排紙設定]

Mac OS X：[基本設定] - [排紙方向]

[方向を変えて排紙]を選択すると、標準（A4 横/LT 横）とは異なる向きでセットしてある給紙装置の用紙に印刷して排紙します。

1 部ずつ縦横交互に排紙する

- A4（または LT）サイズの用紙を、給紙装置の 1 つに横置き、もう 1 つの装置に縦置きでセットします。

- MP トレイに用紙をセットした場合は、操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、【プリンター設定】で用紙のサイズ（向き）を設定します。

設定項目	設定値
MP トレイサイズ	A4 縦、A4 横、LT 縦、LT 横

- プリンタードライバーの【部単位で印刷】をチェックし、給紙方法を【自動選択】に設定します。

Windows：[基本設定] - [給紙方法]

Mac OS X：[基本設定] - [給紙装置]

- 排紙設定で【1 部ずつ縦横交互に排紙】を選択します。

Windows：[基本設定] - [排紙設定]

Mac OS X：[基本設定] - [排紙方向]

- 部数を指定して印刷します。

さまざまな用紙への印刷

ハガキへの印刷

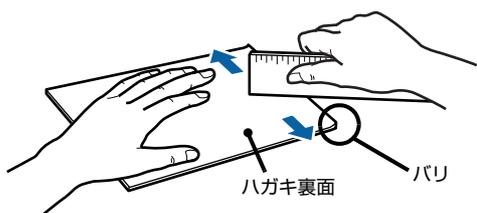
郵便ハガキ、往復ハガキ、4面連刷ハガキに印刷できます。折り跡のないものをお使いください。

印刷時のご注意

- 以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
 - ・インクジェットプリンター用の専用ハガキ
 - ・表面に特殊コート、のり付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
 - ・他のプリンターやコピー機で一度印刷したハガキ
 - ・私製ハガキ、絵ハガキ
 - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
 - ・中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなることがあります。

セットや印刷のポイント

- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、きれいに印刷したい面を先に印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を1枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端をMPトレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

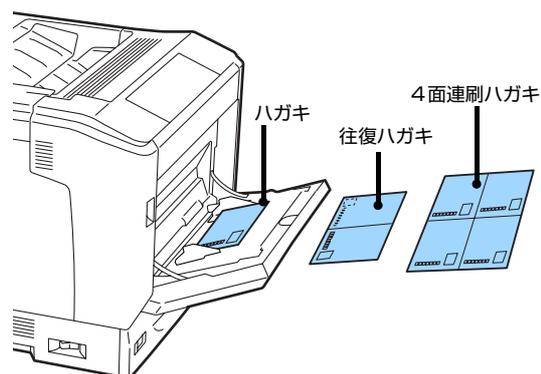


ハガキのセット

印刷する面を下にしてMPトレイにセットします(75枚程度)。

用紙ガイドをハガキの用紙端に合わせてください。

例：通信面に印刷する場合



- プリンタードライバーの設定

Windows

画面	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	ハガキ 往復ハガキ 4面連刷ハガキ
	給紙方法	MPトレイ
	用紙種類	ハガキ (1 面目) ハガキ (2 面目)

Mac OS X

画面	項目	設定値
ページ設定	用紙サイズ	ハガキ 往復ハガキ 4面連刷ハガキ
基本設定	給紙方法	MPトレイ
	用紙タイプ	ハガキ (1 面目) ハガキ (2 面目)

- 操作パネルの設定 (【各種設定】ボタンから)

メニュー	項目	設定値
[プリンター設定] - [給紙装置設定]	MPトレイサイズ	ハガキ 往復ハガキ 4面連刷ハガキ
	MPトレイタイプ	ハガキ

封筒への印刷

洋形0号 / 4号 / 6号、長形3号、角形2号の封筒に印刷できます。

印刷時のご注意

- 以下の封筒には印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
 - 封の部分にのり付け加工が施されている封筒
 - 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
 - リボン、フックなどが付いている封筒
 - 他のプリンターやコピー機で一度印刷した封筒
 - 二重封筒
 - 窓付きの封筒
- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。
- 封筒が正しく給紙されない場合は、セット枚数を減らすと正しく給紙されることがあります。
- 封筒の先端をMPトレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、封筒の先端が下向きに反っていないか確認してください。反っているときは、反りを直してからセットしてください。

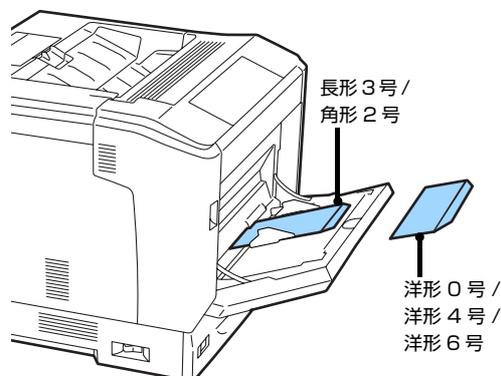
封筒のセット

印刷する面を下にしてMPトレイにセットします（用紙厚85g/m²で20枚程度）。

用紙ガイドを封筒の用紙端に合わせてください。

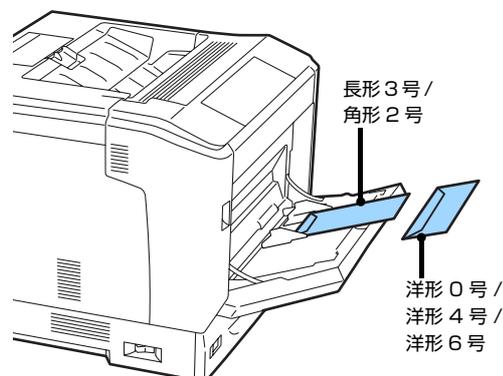
フラップを開いた場合

プリンターに向かって、フラップ部が手前側になるようにセットします。このセット方法を推奨します。



フラップを閉じた場合

プリンターに向かってフラップ部が奥側になるようにセットします。



- プリンタードライバーの設定

Windows

画面	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	洋形0号封筒 洋形4号封筒 洋形6号封筒 長形3号封筒 角形2号封筒
	給紙方法	MPトレイ
	用紙種類	封筒

Mac OS X

画面	項目	設定値
ページ設定	用紙サイズ	洋形0号 洋形4号 洋形6号 長形3号 角形2号
基本設定	給紙方法	MPトレイ
	用紙タイプ	封筒

参考

思い通りの方向に印刷できないときは、[応用設定] - [180度回転] (Windows) または [レイアウト] - [ページの方向を反転] (Mac OS X) を設定してください。

- 操作パネルの設定（【各種設定】ボタンから）

メニュー	項目	設定値
[プリンター設定] - [給紙装置設定]	MPトレイサイズ	洋形0号 洋形4号 洋形6号 長形3号 角形2号
	MPトレイタイプ	封筒

厚紙やラベル紙などへの印刷

厚紙やラベル紙、コート紙などの用紙にも印刷できます。

☞ 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」

セット方法は以下を参照してください。

☞ 33 ページ「用紙のセット」

！重要

自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。

裏面印刷時は、プリンタードライバーの用紙種類（タイプ）で「(裏)」を選択してください。操作パネルで設定する場合は、[プリンター設定] - [印刷書式設定] - [紙面] を [裏] にします。

- プリンタードライバーの設定

Windows

画面	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	セットした用紙のサイズ
	給紙方法	MPトレイ 用紙カセット x
	用紙種類	セットした用紙の種類

Mac OS X

画面	項目	設定値
ページ設定	用紙サイズ	セットした用紙のサイズ
基本設定	給紙方法	MPトレイ 用紙カセット x
	用紙タイプ	セットした用紙の種類

- 操作パネルの設定（【各種設定】ボタンから）

メニュー	項目	設定値
[プリンター設定] - [給紙装置設定]	MPトレイサイズ	セットした用紙のサイズ
	MPトレイタイプ カセットxタイプ	セットした用紙の種類

定形紙以外への印刷

[用紙サイズ] リストにないサイズの用紙にも印刷できます。あらかじめ、プリンタードライバーにその用紙サイズを登録しておく必要があります。

参考

登録した用紙サイズは、本製品のプリンタードライバーを再インストールしても保持されます。

印刷時のご注意

- 定形紙以外の用紙に印刷するときは、必ずプリンタードライバーの [ユーザー定義サイズ] (Windows) / [カスタム用紙 (サイズ)] (Mac OS X) で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択し続けると、プリンター内部の定着器が損傷することがあります。
- セットした用紙に合わせ、操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、[プリンター設定] で [MPトレイタイプ]、[カセット x タイプ] を設定してください。用紙タイプ（種類）が正しく設定されていないと、印刷不良の原因になります。

用紙サイズの登録

登録できる用紙サイズは以下を参照してください。

☞ 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」

Windows の手順

20 個まで登録できます。

- プリンタードライバーの [基本設定] - [給紙方法] で [MPトレイ]（または [用紙カセット x]）を選択し、[用紙サイズ] を [ユーザー定義サイズ] に設定します。
- [用紙サイズ名]、[用紙幅]、[用紙長] を入力してから、[保存] をクリックします。
 - 登録されている用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ] リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
 - 登録されている用紙サイズを削除する場合は、[用紙サイズ] リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、[削除] をクリックします。
- [OK] をクリックします。
登録した用紙サイズが [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。

Mac OS X の手順

以下の手順で登録した用紙サイズは、本製品以外のプリンタードライバーでも利用できます。

- プリンタードライバーの [ページ設定] 画面を開きます。
- [用紙サイズ] から [カスタムサイズを管理] を選択します。
- [+] をクリックしてリストに表示された [名称未設定] をダブルクリックし、カスタム用紙名を登録します。

- 4 [ページサイズ] に用紙サイズを入力します。
- 5 [プリントされない領域] のプルダウンメニューから、プリンター名を選択します。
- 6 [プリントされない領域] に数値を入力し、[OK] をクリックして登録します。
登録した用紙サイズが [ページ設定] 画面の [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。
 - 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、[複製] をクリックします。必要に応じて設定を変更してから [OK] をクリックします。
 - 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、[-] をクリックします。
 - 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して [OK] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックして [ページ設定] 画面を閉じます。

用紙のセット

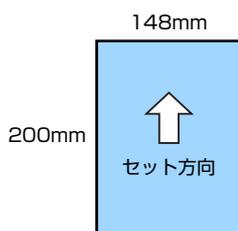
ユーザー定義サイズまたはカスタム用紙サイズとして登録した用紙を MP トレイまたは用紙カセットにセットします。

🔗 33 ページ [用紙カセットへのセット]

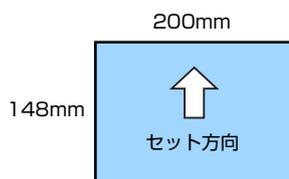
🔗 34 ページ [MP トレイへのセット]

登録した用紙サイズと向きを合わせてセットしてください。

- 用紙幅 148mm x 用紙長 200mm で登録した場合



- 用紙幅 200mm x 用紙長 148mm で登録した場合



- プリンタードライバーの設定

Windows

画面	項目	設定値
基本設定	用紙サイズ	登録した用紙サイズ
	給紙方法	MP トレイ 用紙カセット x

Mac OS X

画面	項目	設定値
ページ設定	用紙サイズ	登録した用紙サイズ
基本設定	給紙方法	MP トレイ 用紙カセット x

- 操作パネルの設定 ([各種設定] ボタンから)

メニュー	項目	設定値
[プリンター設定] - [給紙装置設定]	MP トレイサイズ	不定形紙
	MP トレイタイプ カセット x タイプ	セットした用紙の種類

参考

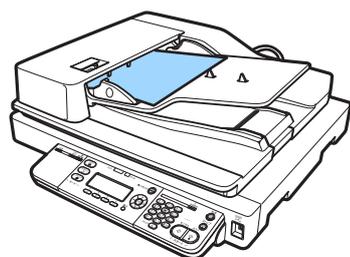
用紙カセットにセットした場合は、[用紙サイズ検知 Cx] (x はカセット番号) を [しない] に設定し、再起動させてください。

読み取りできる原稿

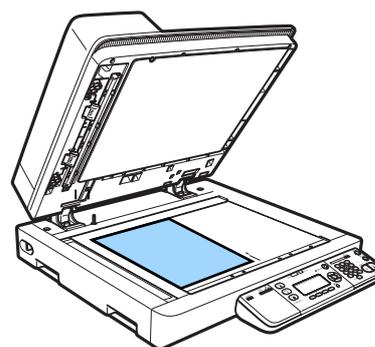
コピーやスキャン、ファクスできる原稿は以下です。横置きと縦置きができます。
原稿台で読み取りできる最大サイズは 297 × 432mm です。

- 縦置き

ADF

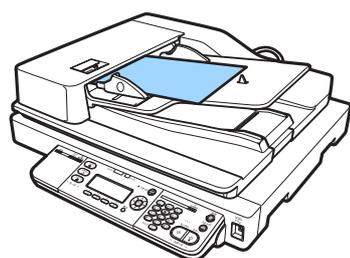


原稿台

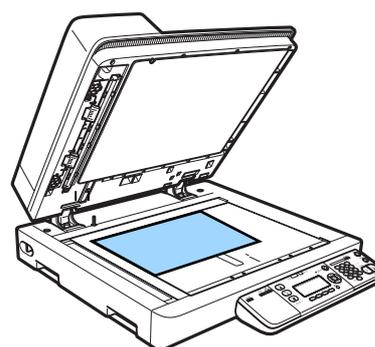


- 横置き

ADF



原稿台



自動検知できる原稿サイズ

	A3、A4 縦、A5 縦 B4 縦、B5 縦		A4 横 B5 横		A5 横	
	ADF	原稿台	ADF	原稿台	ADF	原稿台
コピー	○	○	○	○	×	○
スキャン	○	○	○	○	×	○
ファクス	モノクロ	○	○	○	×	○
	カラー	○	○	×	○	×

参考

以下の原稿はサイズが正しく検知されないことがあります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 透明紙（OHPシートなど）、半透明紙、光沢紙

原稿サイズが自動検出されない場合は、操作パネルで原稿サイズを設定します。

- 🔗 71 ページ「原稿サイズ」(コピー)
- 🔗 76 ページ「原稿サイズ」(スキャン)
- 🔗 87 ページ「原稿サイズ」(ファクス)

ADF で読み取りできる原稿の種類

紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、ページプリンター専用紙、インクジェットプリンター専用紙
セット可能枚数	100 枚 (A4 : 80g/m ²) (用紙ガイドの目盛りを越えてセットしないこと)
紙厚 (坪量)	52 ~ 105g/m ²

!重要

次の用紙は、ADF にセットしないでください。給紙不良または ADF の故障などの原因になります。

- 折り目、反り (カール)、しわ、破れのある用紙 (原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください)
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙 (裏面のり付)
- ルーズリーフの多穴原稿
- とじのある用紙 (製本物)
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙 (OHP シートなど)、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿
- 写真原稿など特に貴重な原稿 (カールなどで原稿を傷めるおそれあり)

原稿のセット

原稿台にセット

A3 サイズまでの原稿がセットできます。

！重要

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 読み取り面が平らな原稿を使用してください。読み取り面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

1 ADF に原稿がないことを確認します。

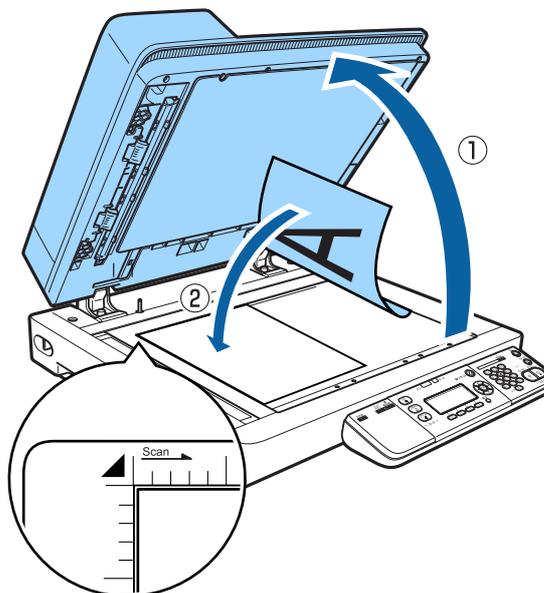
ADF と原稿台の両方に原稿がセットされていると、ADF の原稿がスキャンされます。

2 原稿カバーを開け、読み取る面を下にして原稿をセットします。

原稿カバーは図の位置まで完全に開け切ってください。

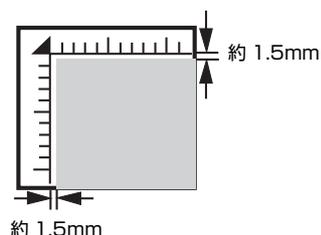
セットできる原稿のサイズや種類は以下を参照してください。

☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」



参考

- 原稿台の上端から最大 1.5mm、左端から 1.5mm の範囲は読み取りできません。



- スキャン時に、原稿の天地を図のようにセットする（天を左側）と、スキャンしたデータの天地の向きが原稿と同じになります。

原稿

スキャンデータ



スキャンしたデータの天地が原稿と同じ向きにならないときは、アプリケーションソフトでスキャンデータの向きを変えてください。

- 原稿の開き方（とじ方）と仕上がり（両面 / 割り付け）を組み合わせるとコピーするときや、スキャンデータを PDF 形式で保存するときは、原稿方向が設定できます。操作パネルの「原稿方向」で、原稿の向き（天地の向き）を指定してください。期待した結果が得られます。

☞ 66 ページ「原稿方向」（両面コピー）

☞ 68 ページ「原稿方向」（割り付けコピー）

☞ 76 ページ「原稿方向」（スキャン）

上向き

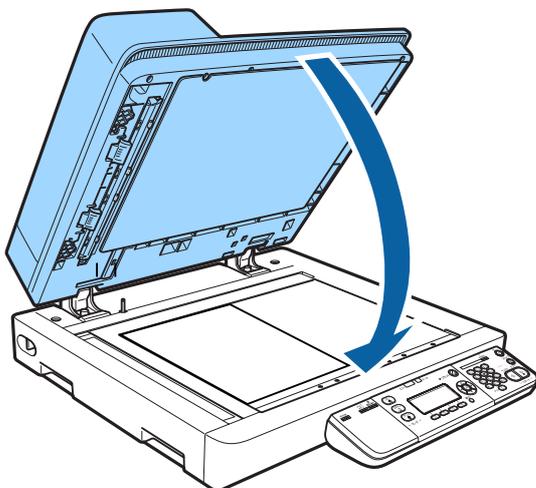
左向き



3

原稿カバーを閉めます。

原稿が動かないようにゆっくり閉めてください。このときに指を挟まないように注意してください。

**！重要**

- 原稿カバーは、途中で止まるようにできていますが、次の場合は止まらないことがあります。
 - 原稿カバーの角度が浅い
 - 勢いをつけて閉める
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、読み取った画像にシミやムラ、斑点が出る場合があります。

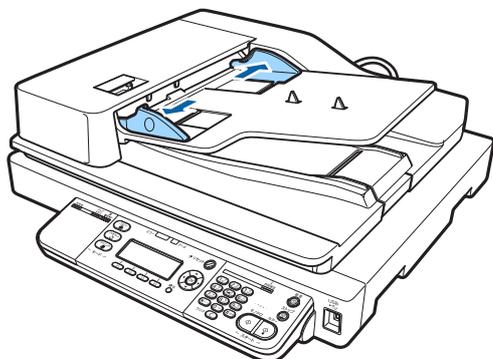
4

コピーやスキャンをします。**ADF にセット**

A3 までの定形サイズの前稿がセットできます。

1

用紙ガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。



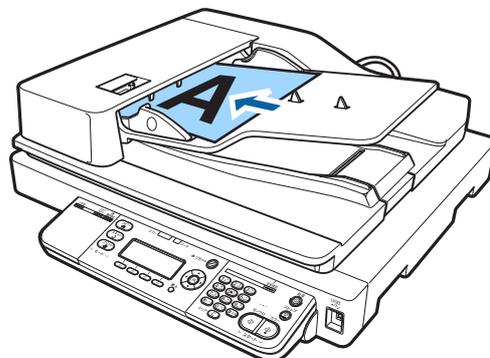
2

原稿をセットします。

読み取る面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。複数枚の前稿をセットした場合は、上の前稿から読み取ります。

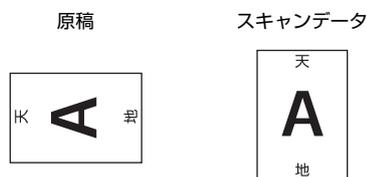
セットできる前稿のサイズや種類は以下を参照してください。

 41 ページ「読み取りできる前稿」



参考

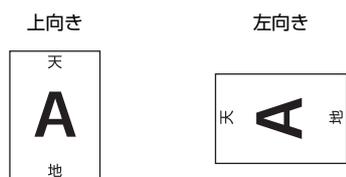
- スキャン時に、原稿の天地を図のようにセットする（天を左側）と、スキャンしたデータの天地の向きが原稿と同じになります。



スキャンしたデータの天地が原稿と同じ向きにならないときは、アプリケーションソフトでスキャンデータの向きを変えてください。

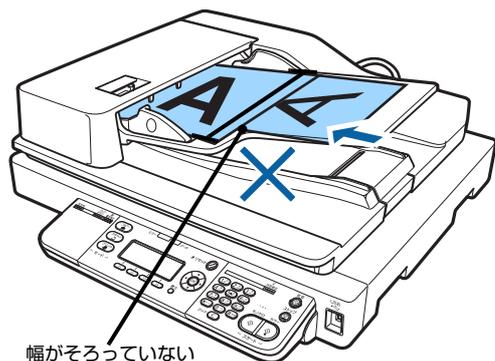
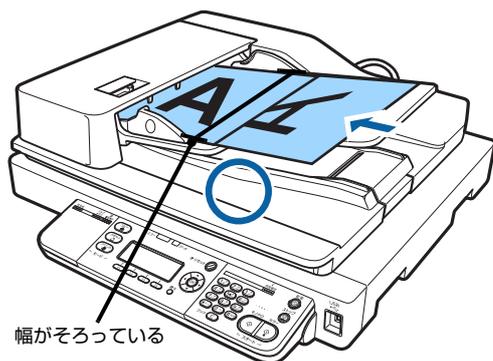
- 原稿の開き方（とじ方）と仕上がり（両面 / 割り付け）を組み合わせてコピーするときや、スキャンデータを PDF 形式で保存するときは、原稿方向が設定できます。操作パネルの「原稿方向」で、原稿の向き（天地の向き）を指定してください。期待した結果が得られます。

- ☞ 66 ページ「原稿方向」（両面コピー）
- ☞ 68 ページ「原稿方向」（割り付けコピー）
- ☞ 76 ページ「原稿方向」（スキャン）

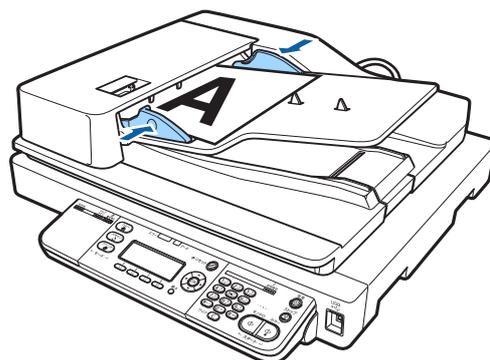


サイズが異なる原稿は、図のように用紙の幅をそろえてセットしてください。コピーの場合は、「原稿混載」で「する」を選択してください。

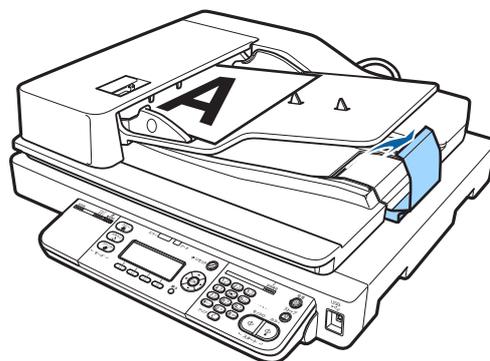
- ☞ 71 ページ「原稿混載」



3 用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。



4 排紙ストッパーを開きます。



5 コピーやスキャンをします。
原稿は、ADF 下段の排紙トレイに排出されます。

！重要

ADF から読み取り中に原稿を継ぎ足さないでください。紙詰まりの原因になります。

基本的な印刷手順

印刷の基本手順を、Windows の画面を例に説明します。対応している他の OS や言語でも同じような手順で印刷できます。

- 1 用紙をセットします。
🔗 33 ページ「用紙のセット」
- 2 操作パネルで必要な設定をします。
用紙によって設定する項目が異なります。
🔗 12 ページ「操作パネルの使い方と設定値一覧」
🔗 37 ページ「さまざまな用紙への印刷」
- 3 印刷するデータの【ファイル】メニューの【印刷】を選択します。
- 4 プリンターを選択します。
- 5 【プロパティ】をクリックします。
[基本設定] 画面が表示されます。



- 6 以下の設定をします。

項目	説明
1 給紙方法	印刷用紙をセットした給紙装置を選択
2 用紙サイズ	アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択
3 印刷方向	アプリケーションソフトで設定した印刷方向を選択
4 用紙種類	セットした印刷用紙の種類を選択
5 カラー	モノクロ印刷時は【グレースケール】を選択
6 —	印刷結果のイメージを表示

参考

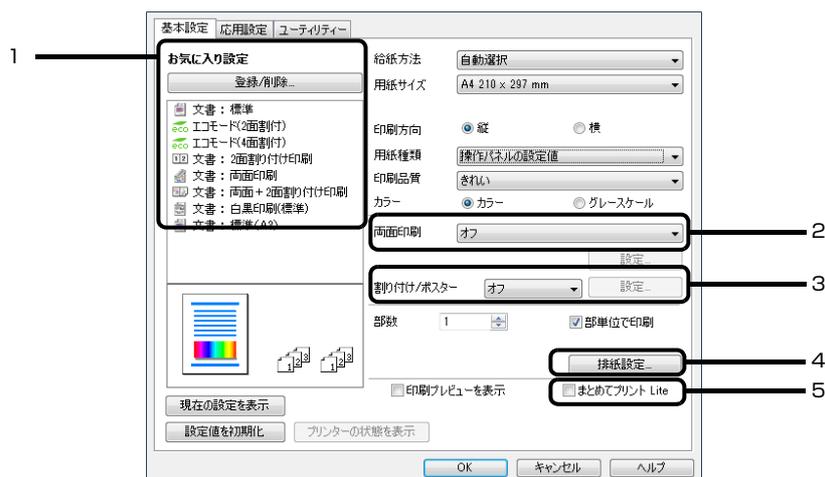
- プリンタードライバーの設定が変更できないときは、利用できる機能が管理者によって制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。
- 【ヘルプ】をクリックすると項目の説明（ヘルプ情報）が表示されます。
- 両面印刷や部単位印刷などもこの画面で設定できます。また、【応用設定】画面では、拡大 / 縮小印刷、スタンプマークや透かし印刷などが設定できます。

7 [OK] をクリックして、プリンタードライバーの画面を閉じます。

8 [印刷] をクリックします。

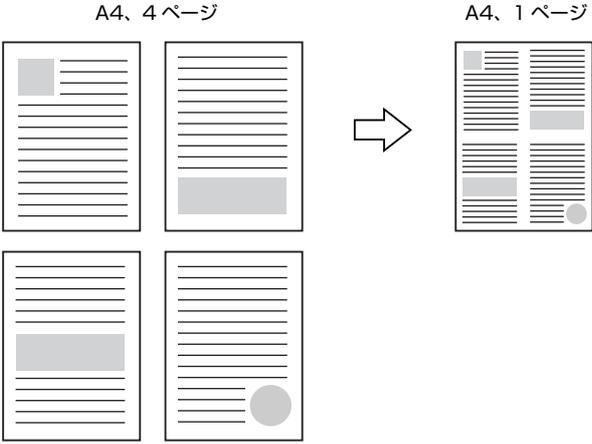
[基本設定] 画面

[基本設定] では、給紙方法や用紙サイズなど印刷するための基本的な設定の他に、両面印刷や割り付け印刷など、よく使われる機能が設定できます。



説明のない項目はヘルプをご覧ください。

項目	説明
1	お気に入り設定 「文書：両面印刷」や「文書：2面割り付け印刷」など、よく使われる設定があらかじめ登録されています。また、任意の印刷条件も登録できます。
2	両面印刷 用紙の表裏に印刷します。縮小印刷と組み合わせると、例えば A3 サイズ 2 ページの印刷データを A4 サイズ 1 枚に印刷できます。 <div style="text-align: center;"> <p>A3、2 ページ → A4、1 枚</p> </div> <p>[設定] をクリックすると、とじ位置やとじしる幅などの設定ができます。また、ブックレット (冊子) になるような印刷もできます。 51 ページ「冊子になるように印刷」</p>

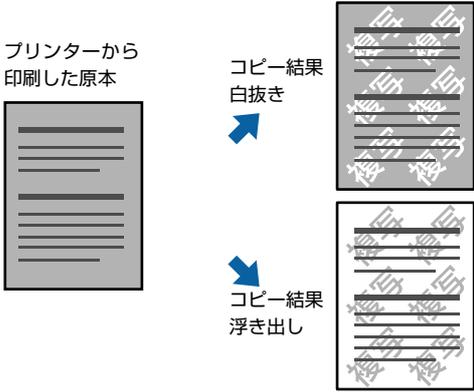
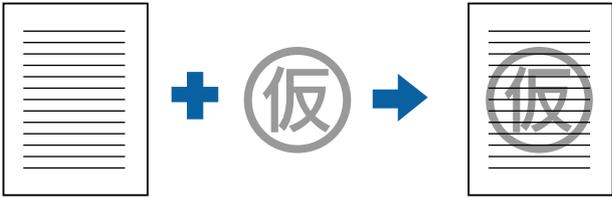
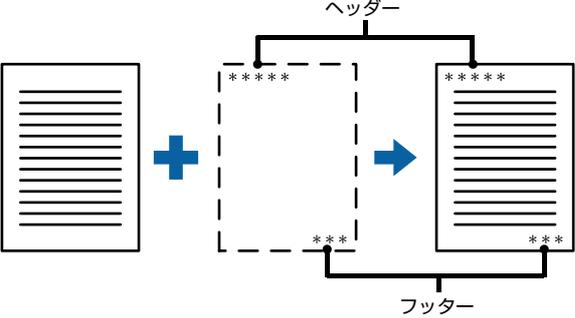
項目	説明
3	<p>3 割り付け / ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> • 割り付け印刷 2 ページ分または 4 ページ分のデータを 1 面に割り付け、印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷します。両面印刷と併用できます。 例：4 ページ割り付け時 <div style="text-align: center;">  <p>A4、4 ページ A4、1 ページ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • ポスター印刷 例えば、A4 サイズのデータを A4 紙 4 枚に印刷して貼り合わせることで約 A2 サイズの大きな印刷物が作れます。 53 ページ「ページを分割して印刷（ポスター印刷）」
4	<p>4 排紙設定</p> <p>横置きと縦置きができる用紙の排紙方向が指定できます。 36 ページ「排紙の設定」</p>
5	<p>5 まとめてプリント Lite</p> <p>異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを 1 つにまとめて印刷できます。 51 ページ「複数のファイルを 1 つにまとめて印刷」</p>

[応用設定] 画面

[応用設定] では、セキュリティに配慮した印刷、拡大 / 縮小や 180 度回転した印刷などが設定できます。



説明のない項目はヘルプをご覧ください。

項目		説明
1	拡大 / 縮小	アプリケーションソフトで作成したデータ用の紙サイズと異なるサイズで（拡大または縮小して）印刷します。両面印刷と併用できます。
2	画像処理設定	視認性を向上させるカラーユニバーサルプリントや、文字や細線を鮮明にした印刷ができます。 📖 52 ページ「視認性を向上させて印刷（カラーユニバーサルプリント）」
3	セキュリティ設定	<ul style="list-style-type: none"> 透かし印刷（[印刷品質] - [きれい]（600dpi）のときに有効） 印刷データに「複写」などの文字を埋め込んで印刷します。この原本をコピーすると、埋め込まれている文字が浮き上がったように印刷されます。原本かコピーかの区別が付けられるため、不正コピーの抑制などに有効です（*）。任意の文字列も登録できます。  <ul style="list-style-type: none"> スタンプマーク 印刷データに「仮」などの文字を、スタンプのように重ねて印刷します。オリジナルのマークも登録できます。  <ul style="list-style-type: none"> ヘッダー / フッター 印刷データにヘッダーまたはフッターとして、ユーザー名やコンピューター名、印刷日時などが印刷できます。 
4	パスワード印刷設定	印刷ジョブにパスワードを設定します。パスワードを設定したジョブは、プリンターの操作パネルでパスワードを入力しないと印刷されません。 📖 56 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」

* 透かし印刷は、プリンターから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止自体を保証することはできません。以下のような条件によって、透かし文字が濃すぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- ・コピー機、ファクス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナーなど）と出力機器（プリンターなど）の機種や設定、組み合わせ
- ・本製品のプリンタードライバーの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

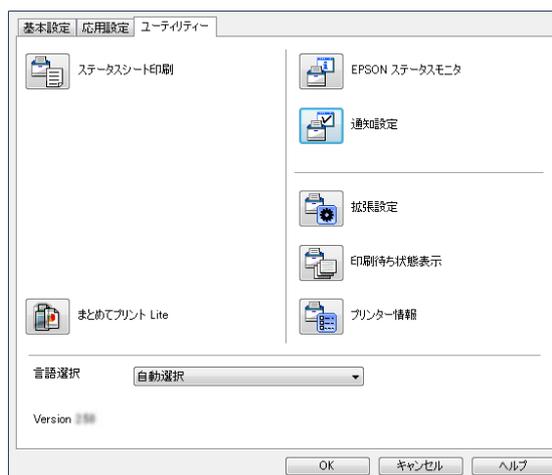
[ユーティリティ]画面

まとめてプリント Lite の起動やプリンタードライバー機能の拡張などができます。EPSON ステータスマニタ（プリンター監視ユーティリティ）をインストールすると、EPSON ステータスマニタの項目が有効になり、動作の設定ができます。

[51 ページ「複数のファイルを1つにまとめて印刷」](#)

[59 ページ「プリンターの監視」](#)

項目の詳細はヘルプをご覧ください。



いろいろな印刷の仕方

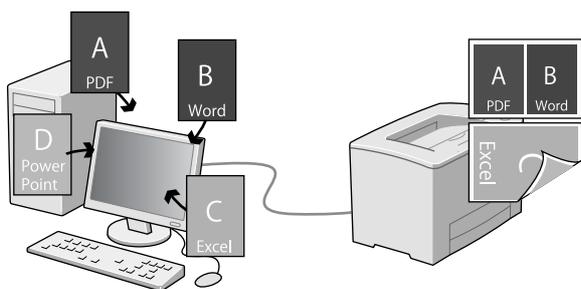
両面や割り付けて印刷することで用紙を節約したり、不正コピーなどを防止するための情報を付加したり、プリンタードライバーにはいろいろな機能が搭載されています。

参考

- お使いのOSやページ言語によっては対応していない機能があります。
- 他の項目（用紙種類など）の設定によって有効にならない場合があります。

複数のファイルを1つにまとめて印刷

異なるアプリケーションソフトで作成した複数のファイルを1つにまとめて印刷できます（Windowsのみ）。まとめたファイルのレイアウトや印刷順序、印刷の向きなども変更できます。



- 1 印刷したいファイルを開き、プリンタードライバーの【基本設定】画面を開きます。
- 2 【まとめてプリント Lite】にチェックを付けます。
- 3 【OK】をクリックして、プリンタードライバーの画面を閉じます。
- 4 【印刷】をクリックします。
【まとめてプリント Lite】画面が表示され、印刷データが【印刷プロジェクト】に追加されます。
- 5 【まとめてプリント Lite】画面を表示させたまま、1つにまとめたい他のファイルを開き、手順1～4を繰り返します。

参考

【まとめてプリント Lite】画面を閉じると、保存していない【印刷プロジェクト】は削除されます。後で印刷するときは【ファイル】メニューで【保存】を選択してください。

- 6 必要に応じて、【まとめてプリント Lite】画面の【レイアウト】や【編集】メニューで【印刷プロジェクト】を編集します。

- 7 【ファイル】メニューの【印刷】をクリックします。

参考

【まとめてプリント Lite】で保存した印刷プロジェクトは、プリンタードライバーの【ユーティリティー】画面の【まとめてプリント Lite】をクリックすると開けます。その後、【ファイル】メニューの【開く】を選択して、対象のファイル（拡張子は ecl）を開いてください。

冊子になるように印刷

ブックレット（冊子になるようにページを並び替えた）印刷ができます。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2ページずつ両面（4ページ分）で印刷されます。また、【拡大 / 縮小】を併用すると、印刷用紙のサイズを変更できます。

両面印刷できる用紙をセットしてください。

📄 31 ページ [【印刷できる用紙とセット可能枚数】](#)

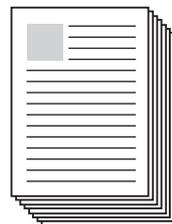
全ページまとめて二つ折り

ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。

例えば、A4 サイズで 8 ページの印刷データは、A4 サイズ 2 枚に印刷されます。全部を重ねて二つ折りすると A5 サイズ 8 ページの冊子になります。

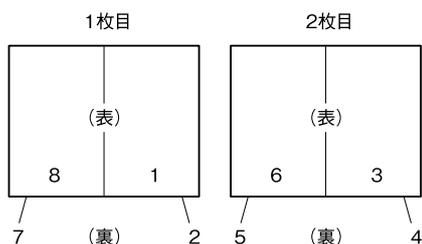
印刷データ

A4、8 ページ



印刷結果

A4、2枚に両面、割り付け

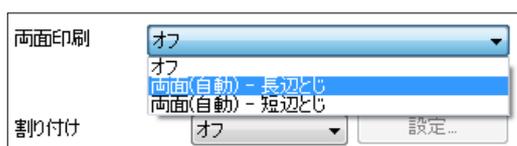


仕上がり

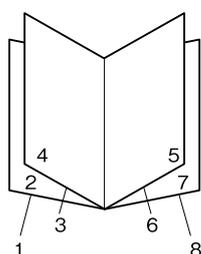
A5、8ページ、右開きの冊子



- 1 プリンタードライバーの【基本設定】画面で、両面印刷の仕方（長辺とじか短辺とじか）を選択してから【設定】をクリックします。



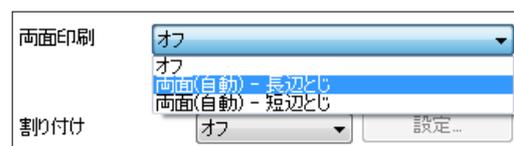
- 2 【ブックレット】をチェックし、【全ページ】を選択して【OK】をクリックします。
- 3 【OK】をクリックし、【印刷】をクリックします。
- 4 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。



ページを分割して二つ折り

1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。

- 1 プリンタードライバーの【基本設定】画面で、両面印刷の仕方（長辺とじか短辺とじか）を選択してから【設定】をクリックします。



- 2 【ブックレット】をチェックし、【分割する】を選択して【OK】をクリックします。
- 3 【OK】をクリックし、【印刷】をクリックします。
- 4 印刷された用紙をそれぞれ二つ折りしてから重ねてとじます。

視認性を向上させて印刷(カラーユニバーサルプリント)

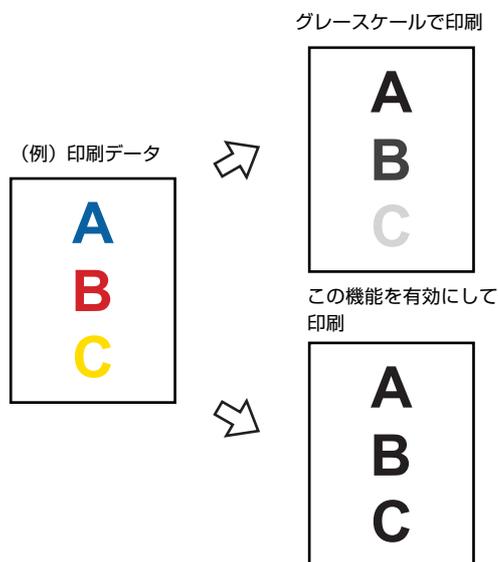
文字やグラフ、イメージデータに以下のような装飾をすることで視認性を向上させた印刷ができます。

- 色文字を 100% の黒文字にする
 - 色文字に背景や下線を付ける
 - グラフやイメージの色をパターン（模様）にする
- 対応しているアプリケーションソフトや制限事項など、詳しくはヘルプをご覧ください。

- 1 【応用設定】 - 【画像処理設定】をクリックします。

2 カラーユニバーサルプリントの機能を選択します。

(例) 文字を黒で印刷する
色付きの文字データを全て黒 (100%) で印刷します。



参考

- Mac OS X の場合、[プリンターの設定] - [色文字を黒で印刷する] にチェックを付けます。
- [修飾の設定] - [文字の修飾] の赤文字、青文字は、Microsoft Word のカラーパレットでは、以下の範囲の色になります (ソフトウェアのバージョンによってカラーパレットの表示は異なります)。

赤文字



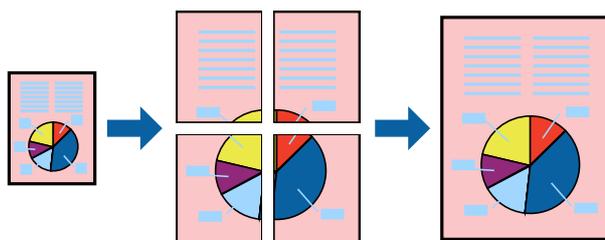
青文字



ページを分割して印刷(ポスター印刷)

1 ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせると、ポスターのような大きな印刷物になります。

例: A4 サイズのデータを、A4 用紙に4分割 (2x2 ポスター) 印刷して貼り合わせると、約 A2 サイズのポスターになる



分割して印刷する

1 [基本設定] - [割り付け / ポスター] で、分割の仕方を選択します。

2x1 ポスター: 2分割 (2枚に印刷)

2x2 ポスター: 4分割 (4枚に印刷)

3x3 ポスター: 9分割 (9枚に印刷)

4x4 ポスター: 16分割 (16枚に印刷)

[設定] をクリックすると、どのように印刷されるか確認できます。

2 貼り合わせ用のガイドを印刷したいときは、[設定] - [ガイド印刷] をチェックし、どちらかを選択して [OK] をクリックします。

貼り合わせガイドを印刷: ガイドを印刷 (「用紙の貼り合わせ方」参照)

貼り合わせ線を印刷: 線だけを印刷

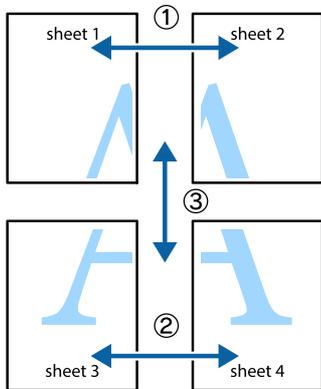
3 印刷する用紙のサイズや給紙装置などを選択します。

その他、必要な設定をしてください。

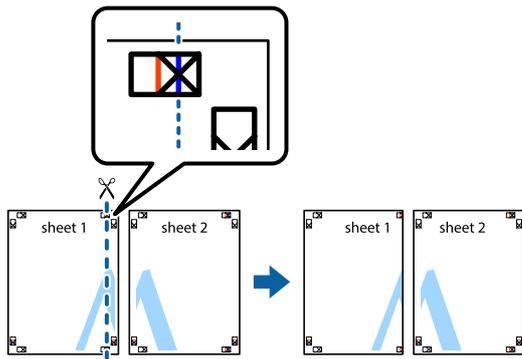
4 [OK] をクリックし、[印刷] をクリックします。

用紙の貼り合わせ方

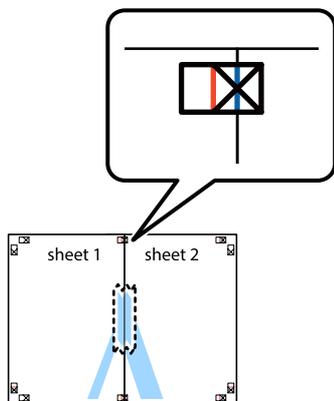
[2x2 ポスター] で [貼り合わせガイドを印刷] した場合を例に説明します。以下の順番で用紙を貼り合わせてください。



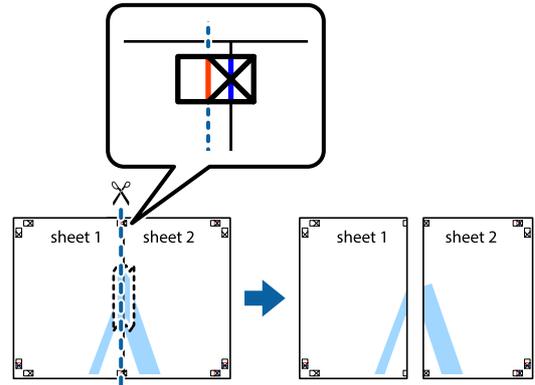
- 1** Sheet 1 の、×印と交わっている縦線 (青色) を上下で結ぶ線で切ります。



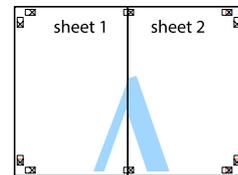
- 2** Sheet 1 を Sheet 2 の上に重ねて、×印を合わせます。裏面にテープを貼って仮留めします。



- 3** ×印の左側の縦線 (赤色) を結ぶ線で切ります。

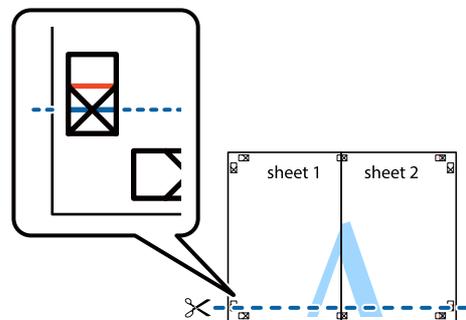


- 4** 裏面にテープを貼って合わせます。

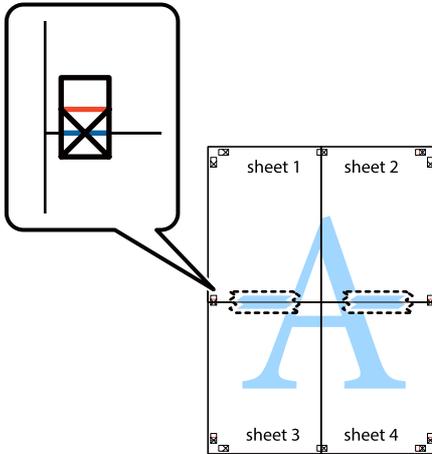


- 5** Sheet 3 と Sheet 4 を貼り合わせます。
手順 1 ~ 4 を繰り返してください。

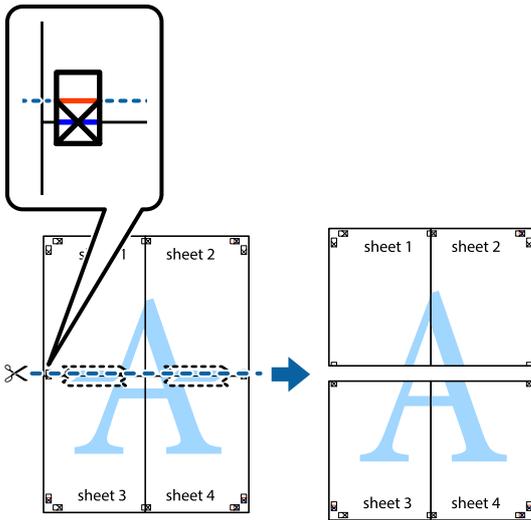
- 6** Sheet 1 と Sheet 2 を、×印に交わった横線 (青色) を結ぶ線で切ります。



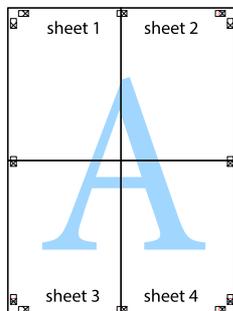
- 7 Sheet 1 と Sheet 2 を、Sheet 3 と Sheet 4 の上に重ねて、×印を合わせます。裏面にテープを貼って仮留めします。



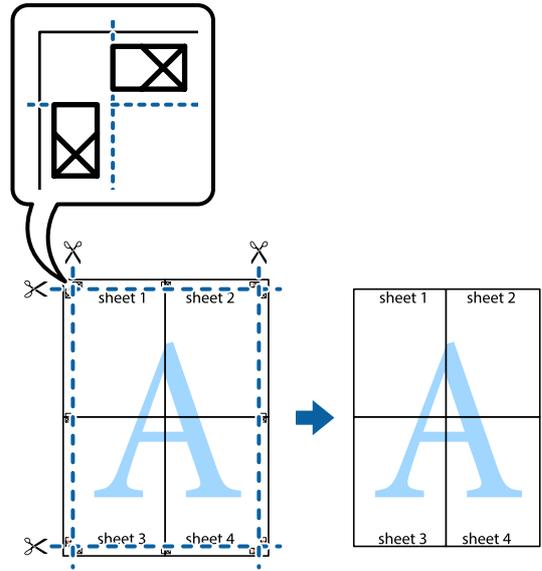
- 8 ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



- 9 裏面にテープを貼って合わせます。



- 10 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



印刷ジョブにパスワードを設定

RAM ディスク（プリンターメモリーの一部）を確保すると、印刷ジョブにパスワードが設定できます。

印刷ジョブは一旦このメモリーに保存され、操作パネルでパスワードを入力すると出力されます。不特定多数でプリンターを共同使用している場合でも、他人の目に触れることなく文書の印刷ができます。印刷が終了するとパスワード印刷ジョブはメモリーから削除されます。

パスワードを設定して
印刷実行



パスワードを入力して
その場で印刷



！重要

- 印刷データは暗号化されません。
- 印刷されていないパスワード印刷ジョブは、プリンターの電源再投入時やリセットオールでメモリーから削除されます。

RAM ディスクの設定

パスワード印刷ジョブを保存するためのRAMディスクとして、プリンターメモリーの一部を確保します。

1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、【共通設定】－【デバイス設定】を選択します。

2 【RAM ディスク】を選択して、確保する容量（標準か最大）を設定します。

☞ 15 ページ【RAM ディスク】

3 【◀】ボタンを2回押します。

4 「設定変更を有効にするために再起動しますか？」と表示されたら【する】を選択します。

設定内容が有効になります。

続いてWindowsではプリンタードライバーの設定をします。

参考

Mac OS X の場合は、【プリントとファクス】（または【プリントとスキャン】）を開いて、本製品を追加し直してください。

5 【スタート】－【デバイスとプリンター】の順にクリックします。

6 プリンターのアイコンを右クリックして、【プリンターのプロパティ】をクリックします。

7 【オプション設定】－【プリンター情報】で【プリンターから取得】をチェックし、【取得】をクリックします。

【現在のプリンター情報】欄の【RAM ディスク】が【オン】になります。

パスワードの設定

プリンタードライバーで、印刷ジョブにパスワードを設定します。

1 プリンタードライバーの【応用設定】画面の【パスワード印刷】をチェックします。

2 パスワードを設定して【OK】をクリックします。
【ユーザー名】、【ジョブ名】、【パスワード】は、パスワード印刷のジョブ識別情報になります。必ず入力してください。

項目	入力可能文字	最大文字数
パスワード	半角数字	4
ユーザー名 (手動)	全て	半角 14 (全角 7)
ジョブ名 (手動)	全て	半角 14 (全角 7)

参考

パスワード未入力で印刷すると、自動的に【ユーザー名】(Windows のログインユーザー名)と【パスワード】(1234)が設定されることがあります。

ただし、

- お使いの環境によっては Windows のログインユーザー名ではないユーザー名になることがあります。
- 情報が取得できなかったときは【ユーザー名】が【EpsonUser】に設定されます。

3 印刷を実行します。

RAM ディスクにデータが保存されます。印刷はされません。

パスワード付きジョブの印刷

プリンタードライバーでパスワードを設定した印刷ジョブは、以下の手順で印刷します。

- 1 **【節電】** ボタンのランプが点灯しているときは、**【節電】** ボタンを押して節電状態から復帰させます。
- 2 操作パネルの**【プリント】** ボタンを押し、**【F2】** ボタン（パスワード）を選択します。
- 3 **【ユーザー名】** を選択してパスワードを入力し、**ジョブ名**を選択します。
ユーザー名やパスワード、ジョブ名はプリンタードライバーで設定したものです。文字入力の仕方は以下を参照してください。
[📄 12 ページ「文字の入力」](#)
- 4 **【スタート】** ボタン（どちらでも可）を押します。

参考

RAM ディスクに保存されたパスワード印刷ジョブは、以下のときに削除されます。

- 印刷したとき（ジョブごと）
- 操作パネルで**【データ消去】**を実行したとき（ジョブごと）
- 印刷しないでプリンターの電源を切ったとき（全てのジョブ）
- 操作パネルで**【リセットオール】**を実行したとき（全てのジョブ）

初期値の変更や設定のロック(管理者向け設定)

初期値の変更

Windows の [スタート] メニューからプリンタードライバーのプロパティを開いて設定した値は、アプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になります。よく使う値に設定しておく便利です。

参考

標準ユーザー以上の権限が必要です。Windows XP/Windows Vista で [詳細設定] - [標準の設定] を変更する場合は管理者権限が必要です。

1 [スタート] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

2 設定したいプリンターのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [基本設定] をクリックします。

ここで設定した値が、アプリケーションソフトからプリンタードライバーを開いたときの初期値になります。



3 [OK] をクリックします。

設定した値を、管理者以外のユーザーが変更できないようにロックすることもできます。

1 [スタート] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

2 設定したいプリンターのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [オプション設定] - [ドライバー設定] をクリックします。



3 ロックしたい機能にチェックを付けて [OK] をクリックします。

プリンターの設定をロック

管理者以外のユーザーがプリンターの設定を変更できないように、プリンター自体にパスワードが設定できます。

☞ 27 ページ 「[管理者設定] メニュー」

重要

- パスワードは十分注意して管理してください。
- EpsonNet Config (アプリケーションソフト版) や EpsonNet Config (Web 版) で設定するときも、このパスワードが要求されるようになります。

さらに、ユーザーごとに利用できる機能を制限することもできます (Windows のみ)。プリンターの不正使用を防止したいときなどに EpsonNet Config (Web 版) を使って設定してください。

☞ 『ネットワークガイド』(電子マニュアル) - 「EpsonNet ソフトウェアのご案内」

プリンターの監視

プリンターの状態を見る

プリンターのエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピューターで確認できます。これはEPSONステータスマニタ（プリンター監視ユーティリティ）の機能です。インストールの方法は以下を参照してください。

92 ページ「ソフトウェアのインストール」

インストールすると、エラー発生時などにメッセージが表示されます（簡易ステータス）。「詳細」をクリックするとさらに詳しいメッセージが表示されます（詳細ステータス）。

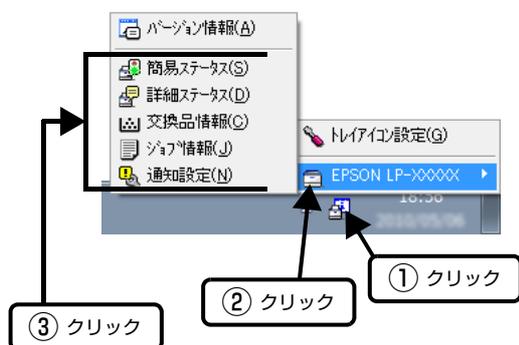
【簡易ステータス】画面



【詳細ステータス】画面



プリンターの状態を知りたいときは、デスクトップ右下のタスクトレイからプリンターを選択し、表示させたい項目を選択します。



「交換品情報」をクリックすると、消耗品の寿命（残量）などが表示されます。



通知や監視の設定

どのような状態になったらお知らせするか、音声で通知するかなどを「通知設定」の画面で設定します。

タスクトレイから開く場合



プリンタードライバーから開く場合



項目の詳細は画面のヘルプをご覧ください。

トレイアイコンの設定

タスクトレイにある EPSON ステータスマニタのアイコンを、印刷していない状態でダブルクリックしたとき、どのプリンターの何を表示するか設定します。印刷しているときは、印刷中のプリンターの簡易ステータスが表示されます。

設定方法は以下の通りです。

- 1 デスクトップ右下のタスクトレイのEPSON ステータスマニタのアイコンをクリックし、[トレイアイコン設定] をクリックします。



- 2 [トレイアイコン設定] 画面で、[プリンター] と [表示する情報] を選択します。



USB メモリーからの直接印刷

USB メモリーを本製品に直接接続して、以下の印刷ができます。

- インデックス印刷
USB メモリーに保存されている JPEG/TIFF/PS*/PDF *形式ファイルの一覧（インデックス）を印刷します。

* オプションのPostScript 3 ROM装着時のみ

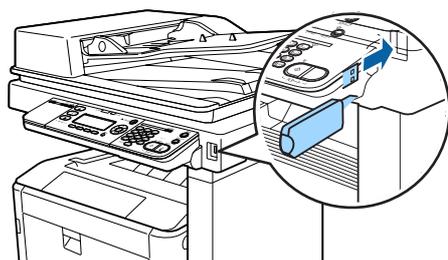


- 画像ファイル印刷
USBメモリーに保存されているJPEG/TIFF形式の画像を印刷します。
- 文書ファイル印刷
オプションのPostScript 3 ROMを装着すると、USBメモリーに保存されているPS、PDF、暗号化PDF、高圧縮PDF形式の文書が印刷できます。

印刷手順は以下です。

- 1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、[共通設定] - [USB ホスト設定] - [USB ホスト]の設定が【使う】になっていることを確認します。
初期設定は【使う】です。

- 2 本製品に USB メモリーを挿します。



- 3 【プリント】ボタンを押し、【F1】ボタン（USBメモリー）を押し、印刷方法を選択します。
用紙のサイズや印刷の仕方など、必要な項目を設定してください。

参考

パスワード設定されたファイルを選択すると、パスワード入力画面が表示されます。文字入力の仕方は以下を参照してください。
📄 12 ページ「文字の入力」

- 4 カラーで印刷する場合は【カラー】ボタンを、モノクロで印刷する場合は【モノクロ】ボタンを押しします。

印刷の中止

コンピューター上やプリンター上の印刷データを削除して印刷を中止します。

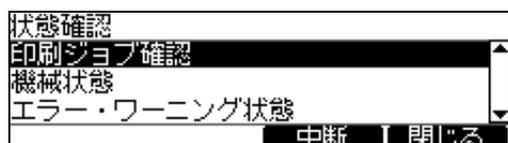
操作パネルで中止

- 1 【状態確認】 ボタンを押します。

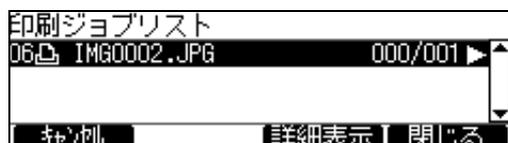
参考

状態確認画面で【F3】ボタン（中断）を押すと、印刷を一時停止できます。再度【F3】ボタン（再開）を押すと、印刷を継続します。

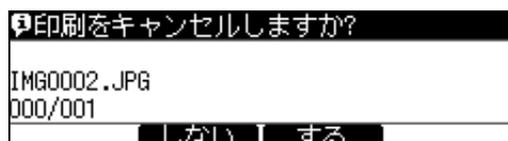
- 2 【印刷ジョブ確認】 を選択して、【OK】 ボタンを押します。



- 3 【▲】 【▼】 ボタンで中止したいジョブを選択して、【F1】 ボタン（キャンセル）を押します。



- 4 【F3】 ボタン（する）を押します。



コンピューターで中止

Windows の場合

参考

送信が終了しているジョブは本製品の操作パネルから中止してください。

- 1 プリンタードライバーの【ユーティリティー】画面で【印刷待ち状態表示】をクリックします。
- 2 中止するジョブ上で右クリックし、【キャンセル】を選択します。

Mac OS X の場合

参考

コンピューターから中止できないときは、本製品の操作パネルから中止してください。

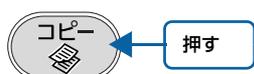
- 1 【Dock】内のプリンターのアイコンをクリックします。
- 2 中止するジョブを選択します。
- 3 プログレスメーター横のⓧをクリックします。
Mac OS X v10.6.8 ~ v10.7.x では【削除】をクリックしてください。

コピーの仕方

コピーの基本操作を説明します。

1 【節電】 ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】 ボタンを押して節電状態から復帰させます。

2 【コピー】 ボタンを押します。
コピーランプが点灯します。



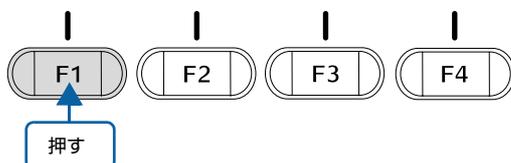
3 原稿をセットします。
セットできる原稿のサイズや種類は以下を参照してください。
☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」

4 テンキー（ダイヤルボタン）でコピー枚数（1～999）を指定します。

5 給紙装置を指定します。
① 【◀】 【▶】 ボタンで [基本設定] タブを選択します。



② 【F1】 ボタン（用紙）を押します。



③ 【▲】 【▼】 ボタンで給紙装置を選択し、【OK】 ボタンで決定します。



給紙装置（[自動]、[MP]、[CX: XX]）の詳細は、以下のページの [基本設定] タブの [用紙] ボタンの説明を参照してください。

☞ 65 ページ「用紙」

！重要

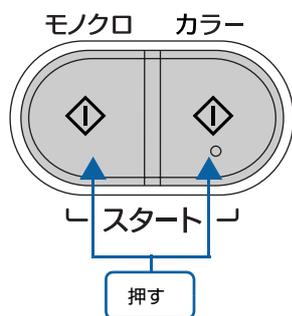
用紙カセットを選択したときに [CX -]（ハイフン）と表示された場合は、以下の原因でコピーできないことを表しています。

- 指定したカセットにコピーできないサイズ用の紙がセットされている
☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」
 - カセットの用紙ガイドが用紙サイズに合っていない
☞ 33 ページ「用紙カセットへのセット」
- 他の給紙装置を指定するか、問題を解決してからコピーしてください。

6 必要に応じて設定を変更します。
[画質]（画質設定）、[応用1]（応用設定1）などのタブは【◀】 【▶】 ボタンで選択します。

- 拡大 / 縮小したい
☞ 65 ページ「倍率」
- 両面コピーしたい
☞ 66 ページ「両面」
- コピー品質を設定したい
☞ 66 ページ「濃度」
☞ 67 ページ「[画質設定] タブ」
- 割り付けコピーしたい
☞ 68 ページ「割り付け」
- 取り込まない範囲を指定したい
☞ 69 ページ「影消し」
- とじしるを設定したい
☞ 69 ページ「とじしろ」
- 見開き原稿を左右別々にコピーしたい
☞ 70 ページ「ページ連写」
- ID カードの両面を1面にコピーしたい
☞ 70 ページ「ID カード」
- 用紙端の画像欠けが少ないコピーをしたい
☞ 71 ページ「全面コピー」
- 原稿を継ぎ足してコピーを続けたい
☞ 71 ページ「原稿追加」
- 部単位でコピーしたい
☞ 71 ページ「部単位」
- 原稿サイズを指定してコピーしたい
☞ 71 ページ「原稿サイズ」
- 異なるサイズの前稿をコピーしたい
☞ 44 ページ「ADFにセット」
☞ 71 ページ「原稿混載」

- 7 カラー印刷するときは【カラー】ボタンを、モノクロ印刷するときは【モノクロ】ボタンを押します。



参考

コピーを中止したいときは、【ストップ】ボタンを押して中断し、確認画面で【F3】ボタン（する）を押します。コピーの中止に時間がかかることがあります。印刷中の用紙は排紙されます。

- 8 原稿台にセットした原稿は取り除きます。

よく使う設定の登録と呼び出し

コピーやスキャンの現在の設定を、ジョブメモリーに 8 件まで登録できます。よく使う設定を登録しておくとう便利です。

プリセットの [エコモード 2 面付け] は両面印刷、[エコモード 4 面付け] は 1 面に 2 ページ分のデータを割り付けて両面印刷します。この 2 つの設定は削除できません。

コピーモードの設定状態を登録する手順は以下です。

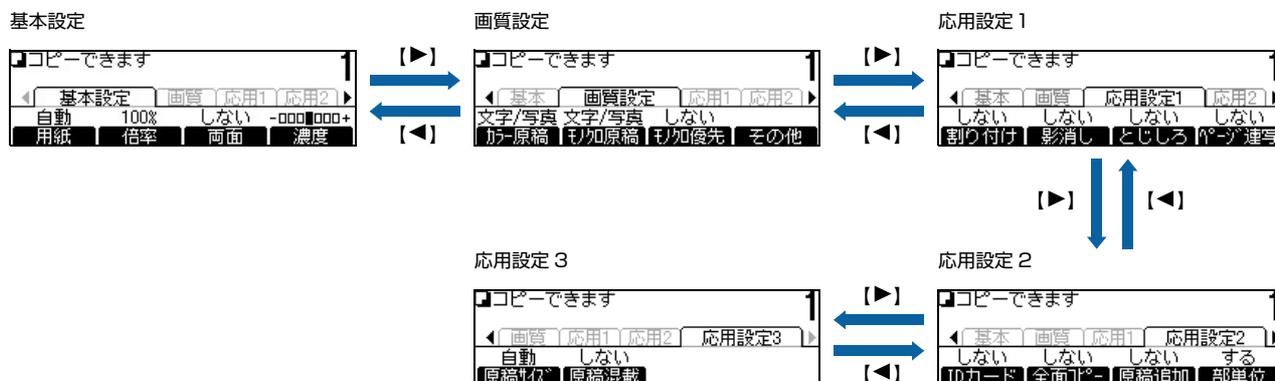
参考

スキャンモードの設定状態は、以下のそれぞれの手順①で【スキャン】ボタンを押してください。

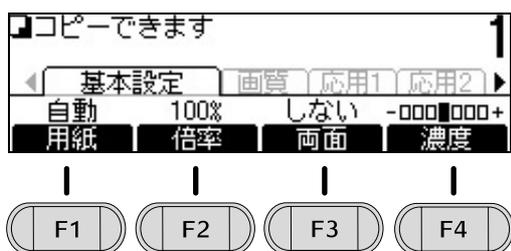
- 登録方法
 - ①【コピー】ボタンを押す
 - ②設定を変更する
 - ③【ジョブメモリー】ボタンを押す
 - ④【▲】【▼】ボタンで [空き] 番号を選択する
 - ⑤【F2】ボタン（登録）を押す
- 呼び出し方法
 - ①【コピー】ボタンを押す
 - ②【ジョブメモリー】ボタンを押す
 - ③【▲】【▼】ボタンで呼び出し番号を選択する
 - ④【F1】ボタン（呼び出し）を押す
- 削除方法
 - ①【コピー】ボタンを押す
 - ②【ジョブメモリー】ボタンを押す
 - ③【▲】【▼】ボタンで削除したい番号を選択する
 - ④【F2】ボタン（削除）を押す

コピーモードの設定項目一覧

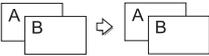
コピーモードには5つの設定タブがあります。【▶】【◀】ボタンでタブが切り替わります。



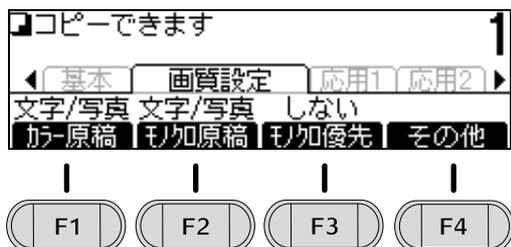
[基本設定] タブ



ボタン	説明	
用紙 【F1】	どこから給紙するかを指定します。 【▲】【▼】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定します。	
	自動	読み取った原稿と同じサイズ用の紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。
	MP	MPトレイから給紙します。[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を設定してください。
	C1 ~ C3	指定したカセットから給紙します。
倍率 【F2】	拡大や縮小コピーの倍率を設定します。 ファンクションボタンで項目を選択します。定形倍率と任意倍率は【F1】ボタンで切り替わります。	
	定形倍率 【F1】	よく使われる倍率 (A4 → A3, A4 → B4, B4 → A3, 等倍, A3 → B4, B4 → A4, A3 → A4) が指定できます。 【▲】【▼】ボタンで倍率 (設定値) を選択し、【OK】ボタンで決定します。
	任意倍率 【F1】	任意の倍率 (25% ~ 400%) で指定できます。 テンキーまたは【▲】【▼】ボタンで倍率 (設定値) を設定し、【OK】ボタンで決定します。
	自動倍率 【F2】	出力紙のサイズに合うように、自動的に拡大または縮小してコピーします。

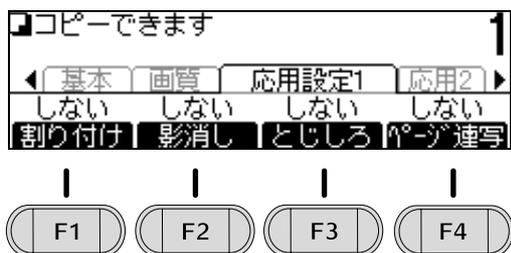
ボタン	説明	
両面 【F3】	出力紙の両面に印刷するかどうかを指定します。 【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。	
	両面コピーしない	原稿の片面を用紙の片面にコピーします。 
	片面→両面	片面の原稿 2 ページ分を、1 枚の用紙の両面にコピーします。 
	両面→両面	両面原稿を、1 枚の用紙の両面にコピーします。 
	両面→片面	両面原稿を、用紙の片面だけにコピーします。1 枚の両面原稿は 2 枚の出力紙になります。 
	[両面コピーしない] 以外を選択すると、以下の項目が表示され、詳細設定ができます。 ファンクションボタンで項目を指定し、設定値を【◀】【▶】 ボタンで選択して【OK】 ボタンで決定します。	
	原稿状態 【F1】	両面原稿は [左右開き] [上下開き] から選択します。片面原稿は [片面] を選択します。
	出力状態 【F2】	両面に印刷するときは [左右開き] [上下開き] から選択します。片面に印刷するときは [片面] を選択します。
	原稿方向 【F3】	原稿のセット方向を設定します。原稿が読める向き先頭を、本製品正面から見て上側にセットする場合は [上向き (読める向き)] を、左側にセットする場合は [左向き] を選択します。  43 ページ [原稿台にセット]  44 ページ [ADF にセット]
濃度 【F4】	コピーの濃度を指定します。 【◀】【▶】 ボタンで設定値 (-3 ~ +3) を選択し、【OK】 ボタンで決定します。 マイナスに設定すると全体的に薄い画像になり、プラスに設定すると濃い画像になります。	

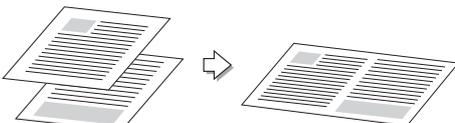
[画質設定] タブ

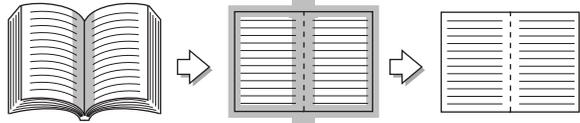
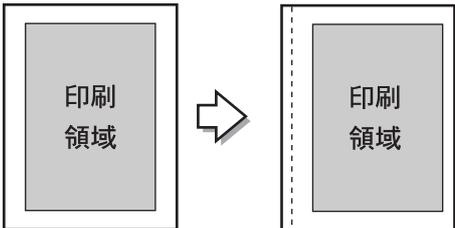


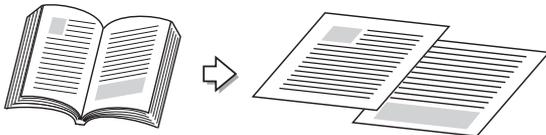
ボタン	説明	
カラー原稿 【F1】 モノクロ原稿 【F2】	コピーの画質を指定します。 ファンクションボタンで原稿の種類（カラーかモノクロか）を指定してから【▲】【▼】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定します。	
	自動	原稿の色（背景）をどの程度除去するかを自動で判断してコピーします。
	文字 / 写真	モアレ（網目状の陰影）を除去し、輪郭を強調してコピーします。
	写真	銀塩写真（現像写真）に適したコピーです。濃い色から薄い色までを忠実に再現し、同時にモアレも除去します。
モノクロ優先 【F3】	高精細	小さい文字や細線などを含む原稿や図面に適したコピーです。モアレと同時に背景も除去します。細密なコピーをするため、印刷には時間がかかります。
	原稿がモノクロかどうかを自動で判別してコピーします。 【▲】【▼】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定します。	
	する	自動判別します。原稿をモノクロと判別した場合は、【カラー】ボタンを押してもモノクロでコピーします。
しない	自動判別しません。【カラー】ボタンを押すとカラーで、【モノクロ】ボタンを押すとモノクロでコピーします。	
その他 【F4】	設定したい項目を【▲】【▼】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定します。 項目の設定値は【◀】【▶】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定します。	
	背景除去	原稿自体の色までがコピーされたり（白に近い背景色が白くならない）、裏写りしている原稿をコピーするときに設定します（-2 ~ +2）。マイナスに設定するとわずかな背景色の違いが出やすくなり、プラスに設定すると出にくくなります。
	モアレ除去	モアレが出るときに設定します（-2 ~ +2）。マイナスに設定すると、画像は鮮明になりますがモアレは出やすくなります。プラスに設定すると、モアレは出にくくなりますが、画像の鮮明度は低下します。
	コントラスト	明暗の差を変えたいときに設定します（-3 ~ +3）。マイナスに設定すると明暗の差が小さくなり（暗い印象）、プラスに設定すると明暗の差が大きくなります（明るい印象）。
カラーバランス	各色の強弱を設定します（-3 ~ +3）。マイナスに設定するとその色が弱まって補色が強調されます。 <ul style="list-style-type: none"> • R（赤）を弱めると青が強くなる。 • G（緑）を弱めると赤紫が強くなる。 • B（青）を弱めると黄色が強くなる。 	

[応用設定1]タブ

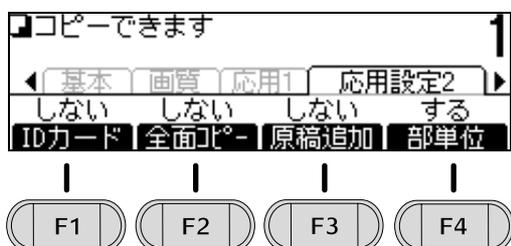


ボタン	説明	
割り付け 【F1】	2または4ページ（面）の原稿を、用紙の片面に割り付けてコピーします。  【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。	
2面 4面	ファンクションボタンで項目を指定し、設定値を【▲】 【▼】 ボタンで選択して【OK】 ボタンで決定します。	
	原稿サイズ 【F1】	原稿のサイズと向きを選びます。
	用紙 【F2】	給紙装置を選択します。[MP トレイ] を選択した場合は、[MP トレイサイズ] と [MP トレイタイプ] を指定してください。
	順序 【F3】	2または4ページの連続した原稿を、1枚の用紙にどう割り付けるかを指定します。
	原稿方向 【F4】	原稿のセット方向を設定します。原稿が読める向きの先頭を、本製品正面から見て上側にセットする場合は [上向き (読める向き)] を、左側にセットする場合は [左向き] を選択します。 📄 43 ページ [原稿台にセット] 📄 44 ページ [ADFにセット]
しない	割り付け印刷しません。	

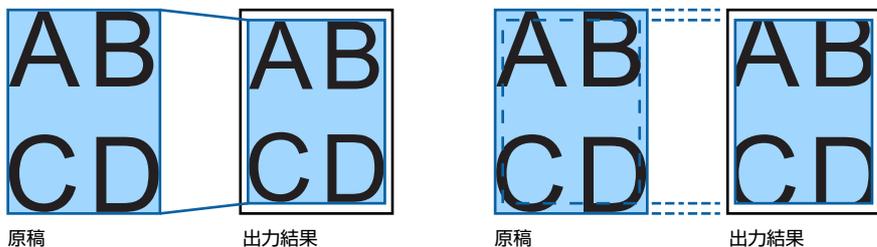
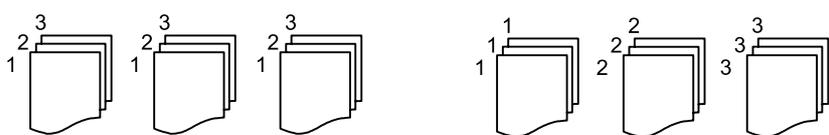
ボタン	説明		
影消し 【F2】	原稿から読み込まない領域を設定してコピーします。  【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。		
	影消し	分厚い本などを見開きでコピーすると、ページの左右や中央に影がでたり、他のページが枠のように映り込んだりすることがあります。それを防ぐために、読み込まない領域を設定できます。本の厚さや開くページに合わせて、設定値を少しずつ変えてコピーすることをお勧めします。設定値を大きくし過ぎるとコピーされない部分が生じます。以下のファンクションボタンを押し、設定値を【▲】【▼】 ボタンで選択して【OK】 ボタンで決定します。	
	中央幅 【F1】	原稿中央の読み込まない領域（0～40mm）を指定します。	
	枠幅 【F2】	原稿上下左右の読み込まない領域（0～40mm）を指定します。	
	パンチ穴消し	バインダータイプの手帳などをコピーすると、パンチ穴の影が出てしまうことがあります。それを防ぐために、読み込まない領域を設定できます。各項目に対応したファンクションボタンを押し、選択した項目の設定値を【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。	
	位置 【F1】	原稿のパンチ穴の位置を指定します。	
	幅 【F2】	パンチ穴の影の幅（0～40mm）を指定します。	
原稿方向 【F3】	原稿のセット方向を設定します。 ☞ 43 ページ「原稿台にセット」 ☞ 44 ページ「ADFにセット」		
とじしろ 【F3】	用紙の端にとじしろ（とじるための領域）を設けてコピーします。  【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。		
	する	どこにどんなとじしろを確保するか設定します。以下のファンクションボタンを押し、設定値を【▲】【▼】 ボタンで選択して【OK】 ボタンで決定します。	
	とじ位置 【F1】	とじしろを確保する場所を指定します。	
	とじ幅 【F2】	とじしろの幅（0～30mm）を指定します。	
	原稿方向 【F3】	原稿のセット方向を設定します。 ☞ 43 ページ「原稿台にセット」 ☞ 44 ページ「ADFにセット」	
しない	とじしろを確保しません。		

ボタン	説明						
ページ連写 【F4】	<p>見開きにした本などを左右または上下に分けて（例えば、A3の見開きはA4紙2枚に）コピーします。開き方（右開き・左開き）に関係なく、ページ順でコピーできます。</p>  <p>この機能は、以下の組み合わせのみで利用できます。 原稿サイズ（見開きにした状態で）：A3、B4、A4、B5 出力紙サイズ：A4、B5（出力紙のサイズに合わせて自動的に拡大縮小コピーされます）</p> <p>【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>						
する	<p>ページ連写の仕方を指定します。以下のファンクションボタンを押し、設定値を【▲】【▼】ボタンで選択して【OK】ボタンで決定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>原稿サイズ 【F1】</td> <td>セットした原稿のサイズと向きを選びます。</td> </tr> <tr> <td>用紙 【F2】</td> <td>給紙装置を選択します。[MPトレイ]を選択した場合は、[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を指定してください。</td> </tr> <tr> <td>順序 【F3】</td> <td>原稿の右ページと左ページどちらを1枚目に印刷するかを指定します。1枚目に印刷される原稿のページ（右ページか左ページか。上ページか下ページか）を指定します。</td> </tr> </table>	原稿サイズ 【F1】	セットした原稿のサイズと向きを選びます。	用紙 【F2】	給紙装置を選択します。[MPトレイ]を選択した場合は、[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を指定してください。	順序 【F3】	原稿の右ページと左ページどちらを1枚目に印刷するかを指定します。1枚目に印刷される原稿のページ（右ページか左ページか。上ページか下ページか）を指定します。
原稿サイズ 【F1】	セットした原稿のサイズと向きを選びます。						
用紙 【F2】	給紙装置を選択します。[MPトレイ]を選択した場合は、[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を指定してください。						
順序 【F3】	原稿の右ページと左ページどちらを1枚目に印刷するかを指定します。1枚目に印刷される原稿のページ（右ページか左ページか。上ページか下ページか）を指定します。						
しない	見開きしたままの状態でもコピーします。						

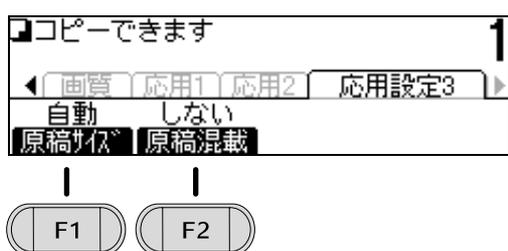
【応用設定2】タブ



ボタン	説明				
ID カード 【F1】	<p>免許証や保険証など、IDカードの両面にある情報を、1ページ（片面）に並べてコピーします。 対応している出力紙サイズ：A3、B4、A4、B5、A5、Legal、Letter</p> <p>【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>				
する	<p>IDカードコピーの仕方を設定します。ファンクションボタンを押し、設定値を【▲】【▼】ボタンで選択して【OK】ボタンで決定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>用紙 【F1】</td> <td>給紙装置を指定します。[MPトレイ]を選択した場合は、[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を指定してください。</td> </tr> <tr> <td>原稿方向 【F2】</td> <td>原稿のセット方向を設定します。 43 ページ [原稿台にセット] 44 ページ [ADFにセット]</td> </tr> </table>	用紙 【F1】	給紙装置を指定します。[MPトレイ]を選択した場合は、[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を指定してください。	原稿方向 【F2】	原稿のセット方向を設定します。 43 ページ [原稿台にセット] 44 ページ [ADFにセット]
用紙 【F1】	給紙装置を指定します。[MPトレイ]を選択した場合は、[MPトレイサイズ]と[MPトレイタイプ]を指定してください。				
原稿方向 【F2】	原稿のセット方向を設定します。 43 ページ [原稿台にセット] 44 ページ [ADFにセット]				
しない	IDカードコピーを解除（終了）します。				

ボタン	説明
全面コピー 【F2】	<p>印刷品質を保証した領域内に収まるように、原稿全体を自動縮小してコピーします。 この機能は、[倍率] の設定が [自動倍率] または [定形倍率] になっているときに有効です（[任意倍率] 時は無効）。 [しない] を選択すると、印刷品質保証領域を考慮しないため、原稿の各端から 4mm の範囲はコピーされません。</p> <p>[する] [しない]</p>  <p>原稿 出力結果 原稿 出力結果</p> <p>【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>
原稿追加 【F3】	<p>ADF にセットした原稿の読み込み終了後、次の原稿を ADF にセットして「続きの原稿」として読み込むことができます。ページ数が多い原稿をまとめて 1 つにしたいときに [する] にしてください。</p> <p>【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>
部単位 【F4】	<p>[する] に設定すると、1 部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。</p> <p>[する] [しない]</p>  <p>【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>

[応用設定3] タブ



ボタン	説明
原稿サイズ 【F1】	<p>厚い本は原稿カバーをしっかりと閉じることができないため、原稿サイズが自動検知できないことがあります。また、定形サイズ以外の原稿でも自動検知されないことがあります。このような場合はここで原稿サイズを指定してください。</p> <p>【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>
原稿混載 【F2】	<p>原稿の幅が同じ（例えば A4  と A5  ）であれば、混在していても ADF からのコピーができます。 ▶ 44 ページ [ADF にセット]</p> <p>【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。</p>

操作パネルからスキャン

スキャンする前に

スキャンしたデータをどこに保存するかで設定する項目が変わります。

USB メモリーに保存する

本製品にセットした USB メモリーに保存します。

【各種設定】 ボタンを押し、[共通設定] で [USB ホスト設定] をします。

☞ 17 ページ「USB ホスト設定」

共有フォルダーに保存する(スキャン to フォルダー機能)

ネットワーク上の共有フォルダーに保存します。

【各種設定】 ボタンを押し、[宛先 / 保存先設定] で [保存先フォルダーの登録] をします。

☞ 26 ページ「保存先フォルダー」

メールで送る(スキャン to メール機能)

ネットワーク上のコンピューターにメールで送信します。

【各種設定】 ボタンを押し、[共通設定] で [メールサーバー設定] をして、[宛先 / 保存先設定] で [メールアドレスの登録] をしてください。

☞ 18 ページ「メールサーバー設定」

☞ 26 ページ「メールアドレス」

コンピューターに保存する(スキャン to コンピューター機能)

ネットワーク上の、指定したコンピューターに保存します。2つの方法があります。

- WSD スキャン (Windows Vista 以降)
コンピューターのコントロールパネルの [デバイスの追加] で、本製品を追加します。詳細は OS のヘルプをご覧ください。
- Document Capture Pro でスキャン
Document Capture Pro をインストールし、スキャンの設定をします。詳細は Document Capture Pro のヘルプをご覧ください。
☞ 92 ページ「ソフトウェアの削除とインストール」

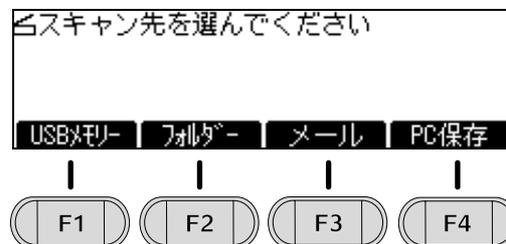
スキャンの仕方

操作パネルからのスキャン手順は以下です。

- 1 【節電】 ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】 ボタンを押して節電状態から復帰させます。
- 2 【スキャン】 ボタンを押します。
スキャンランプが点灯します。

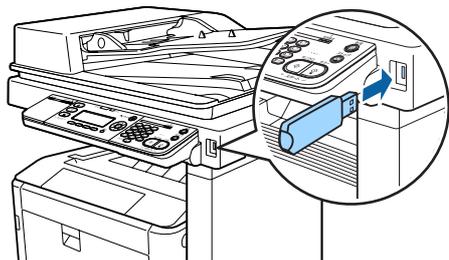


- 3 原稿をセットします。
スキャンできる原稿のサイズや種類、セット手順は以下をご覧ください。
☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」
☞ 43 ページ「原稿台にセット」
☞ 44 ページ「ADFにセット」
- 4 スキャンデータの保存先を、ファンクションボタンで指定します。



- 【F1】：USB メモリーに保存する⇒手順 5 に進んでください。
- 【F2】：共有フォルダーに保存する⇒手順 6 に進んでください。
- 【F3】：コンピューターにメールで送る⇒手順 7 に進んでください。
- 【F4】：コンピューターを指定して保存する⇒手順 8 に進んでください。

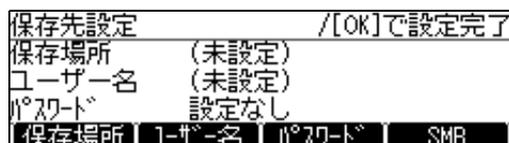
5 USB メモリー (F1) を指定した場合は、本製品に USB メモリーをセットします。



手順 9 に進みます。

6 フォルダー (F2) を指定した場合は、保存先フォルダーを選択します。

- ① [F1] ボタン (保存先) を押します。
- ② [F1] ~ [F4] ボタンの各項目を設定します。
[74 ページ「保存先」](#)
[12 ページ「文字の入力」](#)



- ③ [OK] ボタンを押します。
- ④ 手順②~③を繰り返して必要な設定を全て行います。
- ⑤ 手順 9 に進みます。

参考

- 登録済みの保存先は、【宛先帳】ボタンを押して選択します。
- 宛先帳への登録や削除は、以下のメニューの【保存先フォルダー】を参照してください。
[26 ページ「宛先/保存先設定」メニュー](#)

7 メール (F3) を指定した場合は、メールの送信先を選択します。

- ① [F1] ボタン (メール設定) を押します。
- ② [F1] ~ [F3] ボタンの各項目を設定します。
[76 ページ「メール設定」](#)
[12 ページ「文字の入力」](#)



- ③ [OK] ボタンを押します。
- ④ 手順②~③を繰り返して必要な設定を全て行います。
- ⑤ 手順 9 に進みます。

参考

- 登録済みの保存先は、【宛先帳】ボタンを押して選択します。
- 宛先帳への登録や削除は、以下のメニューの【保存先フォルダー】を参照してください。
[26 ページ「宛先/保存先設定」メニュー](#)

8 PC 保存 (F4) を指定した場合は、WSD または Document Capture Pro のどちらかを選択し、保存先コンピューターを指定します。

<例：WSD の場合>

- ① [▲] [▼] ボタンで [WSD] を選択し、[OK] ボタンを押します。
- ② [▲] [▼] ボタンで保存先のコンピューターを選択し、[OK] ボタンを押します。
- ③ 手順 10 に進みます。

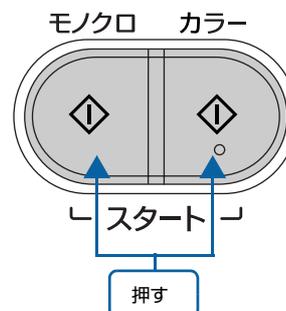
9 必要に応じて、スキャン設定を変更します。

原稿サイズ、スキャンの濃度、ファイルの保存形式など、項目の詳細は以下を参照してください。

[74 ページ「スキャンモードの設定項目一覧」](#)

設定項目タブは [◀] [▶] ボタンで選択できます。

10 カラーでスキャンする場合は【カラー】ボタンを、モノクロでスキャンする場合は【モノクロ】ボタンを押します。



【モノクロ】ボタンを押すと、通常は「グレー (8bit)」でスキャンします。

ただし、[ファイル形式] が [TIFF] または [PDF] で、[原稿画質] が [文字] の場合は「モノクロ (白黒 2 値)」でスキャンします。

参考

- 原稿台からスキャンした複数枚の原稿を、1 つの文書として保存する手順は以下です。
 - ① 原稿台に原稿を 1 枚セットしてスキャンする。
 - ② [次の原稿] と表示されたら、2 枚目の原稿をセットして [F2] ボタンを押す。
 - ③ 全ての原稿をスキャンしたら、[F3] ボタン (終了) を押す。
- 保存先が [メール] の場合、メールサーバーからエラーの応答があるとメール送信エラーレポートが印刷されます。
- 現在の設定内容をジョブメモリーに登録しておくことができます。登録の仕方や呼び出し方は以下を参照してください。
[64 ページ「よく使う設定の登録と呼び出し」](#)

11 スキャン済みの原稿を取り除きます。

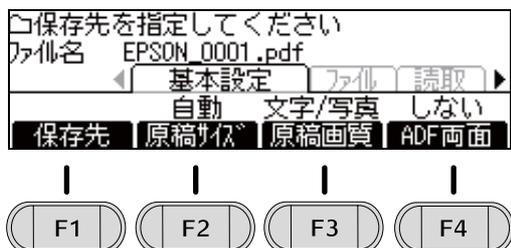
スキャンモードの設定項目一覧

スキャンモードには3つの設定タブがあります。【▶】【◀】ボタンでタブが切り替わります。
 選択項目や設定値によって表示されないものがあります（掲載画面は「USBメモリー」選択時）。



【基本設定】タブ

(画面例) 【フォルダー】 選択時



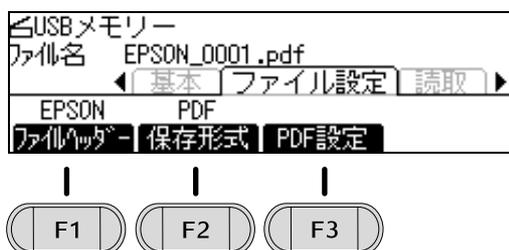
ボタン名	説明	
保存先 【F1】	保存場所 【F1】	スキャンモードの画面で【フォルダー】を選択するとこの項目が表示されます。 保存先フォルダーのパス（229文字以内）を直接入力します。 ④ 12 ページ「文字の入力」 ・ IP アドレスとフォルダー名で指定する 入力例：IP アドレス「192.168.1.10」、フォルダー名「share¥pc001」の場合 ¥¥192.168.1.10¥share¥pc001 ・ ドメイン名とフォルダー名で指定する お使いの環境に DNS サーバーの設定が必要です。 入力例：ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合 ¥¥xyz9876.epson.net¥share¥pc001
	宛先帳 【F1】	宛先帳から保存先を選択します。
	全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
	a → l l → ア ア → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。

ボタン名	説明	
保存先 【F1】	ユーザー名 【F2】	<p>ユーザー名を入力します（半角 30 文字以内）。</p> <p> 12 ページ「文字の入力」</p> <p>[ユーザー名] はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は 15 文字以内にしてください。Windows Vista 上のフォルダーに保存する場合は、そのコンピューターに登録してあるユーザー名を設定してください。</p> <p>入力例：ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合のユーザー名 epson#user01</p>
	全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
	a → 1 1 → ア ア → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。
	パスワード 【F3】	<p>ユーザーのパスワードを入力します（半角 20 文字以内。*は使用不可）。</p> <p>Windows Vista 上のフォルダーに保存する場合は、そのコンピューターに登録してあるユーザーのパスワードを設定してください。</p> <p> 12 ページ「文字の入力」</p>
	全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
	接続プロト コル 【F4】	接続に使用するプロトコル（SMB または FTP）を指定します。

ボタン名	説明			
メール設定 【F1】	スキャンモードの画面で [メール] を選択するとこの項目が表示されます。			
	宛先 【F1】	宛先帳 【F1】	宛先帳から送信先を選択します。	
		直接入力 【F2】	宛先のメールアドレスを入力します (半角 64 文字以内)。 ☞ 12 ページ 「文字の入力」	
			全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
			a → 1 1 → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。
	削除 【F3】	選択した宛先を削除します。		
	件名 【F2】	メールの件名を入力します (半角 50 文字以内)。 ☞ 12 ページ 「文字の入力」		
		全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。	
		a → 1 1 → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。	
	返信先 【F3】	宛先帳 【F1】	宛先帳から返信先を選択します。	
		直接入力 【F2】	返信先のメールアドレスを入力します (半角 64 文字以内)。 ☞ 12 ページ 「文字の入力」	
			全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
			a → 1 1 → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。
		削除 【F3】	選択した返信先を削除します。	
原稿サイズ 【F2】	原稿サイズ 【F1】	原稿のサイズと向きを選びます。		
	原稿方向 【F2】	原稿のセット方向を設定します。原稿が読める向きの先頭を、本製品正面から見て上側にセットする場合は [上向き (読める向き)] を、左側にセットする場合は [左向き] を選択します。 ☞ 43 ページ 「原稿台にセット」 ☞ 44 ページ 「ADF にセット」 保存形式が [PDF (マルチページ)] または [PDF (シングルページ)] のときのみ有効です。		
原稿画質 【F3】	【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。			
	文字 / 写真	文字と画像が混在する原稿に適しています。		
	文字	黒い文字が多い原稿に適しています。		
	写真	カラー写真や銀塩写真、印刷物写真に適しています。		
ADF 両面 【F4】	【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。			
	しない (片面原稿)	片面の原稿をスキャンします。		
	する (両面原稿)	両面原稿をスキャンします。		

【ファイル設定】タブ

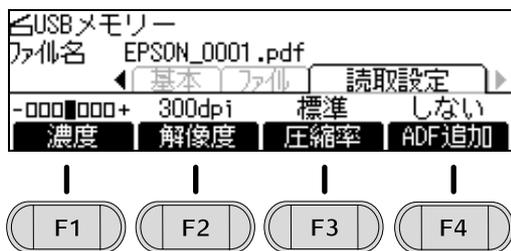
(画面例) 【USB メモリー】 選択時



ボタン名	説明		
ファイルヘッダー 【F1】	ファイル名の冒頭に付加する文字列を設定します（半角 8 文字以内）。 初期設定は「Epson」です。		
	全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。	
	a → 1 1 → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。	
保存形式 【F2】	【▲】【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。		
	PDF (マルチページ)	文書原稿に適しています。[ADF 両面] の [原稿状態] と [原稿方向] の設定に応じて、文字が読める向きに自動的に回転します。 複数ページを 1 つのファイルにするときは [マルチページ] を、1 ページごと 1 ファイルにするときは [シングルページ] を選択してください。	
	PDF (シングルページ)		
	TIFF (マルチページ)	高画質の原稿に適しています。 複数ページを 1 つのファイルにするときは [マルチページ] を、1 ページごと 1 ファイルにするときは [シングルページ] を選択してください。	
	TIFF (シングルページ)		
JPEG	スキャンしたデータのサイズを小さくして保存したいときに適しています。		
PDF 設定 【F3】	設定したい項目を 【▲】 【▼】 ボタンで選択し、【OK】 ボタンで決定します。		
	文書 【F1】	[する] を選択すると PDF 文書を開くためのパスワードが設定できます。	
		全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
		a → 1 1 → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。
	権限 【F2】	パスワード 【F1】	[する] を選択すると、生成された PDF の印刷と編集を制限するためのパスワードが設定できます。
		全消去 【F3】	入力中の文字を全て消去します。
		a → 1 1 → a 【F4】	テンキーの入力モードを切り替えます。
高圧縮 【F3】	取り込んだデータを、圧縮率を高めて PDF 生成したいときに [する] にします。		

【読取設定】タブ

(画面例) 【USB メモリー】 選択時



ボタン名	説明
濃度 【F1】	マイナスに設定すると全体的に薄い画像になり、プラスに設定すると全体的に濃い画像になります。
解像度 【F2】	解像度が高いほど精細なスキャンができますが、読み込みに時間がかかったり、ファイルサイズが大きくなったりします。
圧縮率 【F3】	圧縮率が低いほど（低い>標準>高い）高画質のスキャンができますが、ファイルサイズは大きくなります。
ADF 追加 【F4】	セットした原稿のスキャン終了後に、次の原稿を「続きの原稿」としてスキャンしたいときに指定します。

コンピューターからスキャン

スキャナードライバー (Epson Scan 2) をコンピューターにインストールすると、操作パネルからのスキャンに比べ、より細かく設定してスキャンすることができます。スキャナードライバーは製品に添付されているソフトウェアディスクに収録されています。

☞ 92 ページ「ソフトウェアのインストール」

最新のドライバーをエプソンのホームページからダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

<http://www.epson.jp>

スキャンの仕方

- 1 原稿をセットします。
 - ☞ 43 ページ「原稿台にセット」
 - ☞ 44 ページ「ADFにセット」
 - 2 [スタート] - [すべてのプログラム] (または [すべてのアプリ]) - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2] の順にクリックします。
 - Windows 8/Windows Server 2012
チャームから [検索] を選択し、「Epson Scan 2」で検索して、表示されたアプリケーションソフトの中から「Epson Scan 2」をクリックします。
 - Mac OS X
Finder アイコンをクリックし、[アプリケーション] - [EpsonSoftware] - [Epson Scan 2] の順にダブルクリックします。
- 参考**

Epson Scan 2 は、TWAIN 対応アプリケーションソフト (Microsoft Office や Adobe Acrobat など) から起動できます。起動の仕方は、各 TWAIN 対応アプリケーションソフトのヘルプなどでご確認ください。

また、これらのソフトウェアから Epson Scan 2 を起動させたときは、そのソフトウェアでファイル保存してください (Epson Scan 2 では保存できません)。
- 3 原稿に合わせて [基本設定] タブと [拡張設定] タブの各項目を設定します。

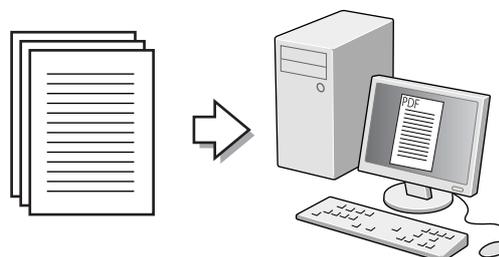
設定項目の詳細は、Epson Scan 2 のヘルプを参照してください。本製品の Epson Scan 2 がサポートしているのはドキュメントモードのみです。
 - 4 [スキャン] をクリックします。
 - 5 スキャン済みの原稿を取り除きます。

文書 / 雑誌を PDF ファイルにまとめてスキャン

文書など複数枚の原稿を PDF 形式 (1 ファイル) にまとめてスキャンできます。

Epson Scan 2 でスキャンするときに、[保存ファイルの設定] 画面の [保存形式] で [PDF] か [検索可能 PDF] を選択し、[詳細設定] をクリックして [全ページを 1 ファイルに保存] を選択します。

[詳細設定] では、文書を開くパスワードを設定するなど、PDF 保存の詳細を設定できます。



参考

- PDF 形式は Windows と Mac OS X で、画面表示 / 印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。PDF 形式のファイルを開くには、Adobe Reader が必要です。Adobe Systems 社のホームページからダウンロードしてください。
- グレースケールやカラーでもスキャン可能ですが、メモリーを多く使用するため、モノクロ (2 値) でのスキャンをお勧めします。解像度 (出力解像度) は 200 ~ 400dpi の範囲で設定してください。目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。

ファクスを使う前に

ファクスは、以下を確認してから使い始めてください。

-  **本製品と回線、電話機が正しく接続されている**
『セットアップガイド』を参照してください。
-  **ファクスの基本設定（回線種別や自局情報の設定など）が済んでいる**
[☞ 23 ページ「基本設定」](#)
-  **ファクス送受信に必要な設定（受信ファクス出力先など）が済んでいる**
[☞ 23 ページ「送信設定」](#)
[☞ 23 ページ「受信設定」](#)
-  **受信ファクスの出力先の設定が済んでいる**
出力の仕方設定する項目が異なります。
[☞ 85 ページ「紙に印刷する」](#)
[☞ 85 ページ「他のファクス機に転送する」](#)
[☞ 85 ページ「共有フォルダーに保存する」](#)
[☞ 86 ページ「メールで転送する」](#)

以下の設定をしておくとう便利です。

- 宛先帳にファクス番号を登録する
[☞ 90 ページ「宛先帳の管理」](#)
- ファクスレポート印刷を設定する
[☞ 25 ページ「通信管理設定」](#)

ファクス送信

自動送信

操作パネルのテンキー（ダイヤルボタン）で相手の番号を入力し、スタートボタンを押してファクスを送ります。相手先との回線接続とファクス送信は、本製品が自動的にを行います。

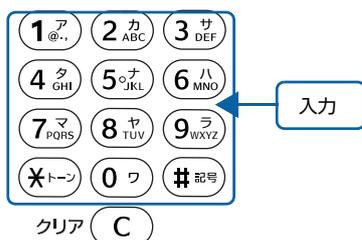
1 【節電】 ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】 ボタンを押して節電状態から復帰させます。

2 【ファクス】 ボタンを押します。
ファクスランプが点灯します。



3 原稿をセットします。
セットできる原稿のサイズや種類は以下を参照してください。
☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」
原稿セットの手順は以下をご覧ください。
☞ 43 ページ「原稿台にセット」
☞ 44 ページ「ADFにセット」

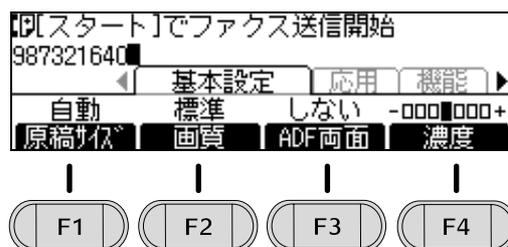
4 テンキー（ダイヤルボタン）で相手のファクス番号を入力します。
【C】 ボタンを押すと、1 文字分消去して戻ります。
【リセット】 ボタンを押すと、入力した番号が全て消去されます。



参考

- 入力ミス防止のために番号を2回入力（確認後に送信）したいときは、【各種設定】 ボタンを押し、【ファクス設定】 - 【送信設定】 で【直接ダイヤル制限】を【2回入力】に設定してください。
- 宛先帳に登録した番号なら、宛先帳から入力できます。
 - ① 【宛先帳】 ボタンを押します。
 - ② 【◀】 【▶】 【▲】 【▼】 ボタンで宛先を選択します。グループダイヤルは【グループ】 タブから選択します。
 - ③ 【F1】 ボタンを押して宛先を決定します。
 - ④ 宛先を複数入力する場合は②～③を繰り返します。
 - ⑤ 【OK】 ボタンを押して宛先選択を終了します。
- 宛先を複数入力すると、カラーファクスできません。
- 宛先帳に番号登録するには、以下をご覧ください。
 - ☞ 26 ページ「【宛先/保存先設定】メニュー」
 - ☞ 90 ページ「宛先帳の管理」

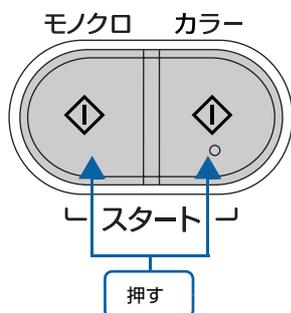
5 送信条件を設定します。
原稿サイズや画質など、必要に応じて設定してください。
各設定項目と設定値は以下をご確認ください。
☞ 87 ページ「ファクスモードの設定項目一覧」
以下は設定例です。
① 【◀】 【▶】 ボタンで【基本設定】 タブまたは【応用設定】 タブを選択します。
② 設定したい条件に対応した【F1】～【F4】 ボタンを押します。



③ 【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタンで設定値を選択して、【OK】 ボタンで決定します。

- 6** カラーで送信するときは【カラー】ボタンを、モノクロで送信するときは【モノクロ】ボタンを押します。

受信側の機器に合わせて選択してください。



ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

手動送信

相手と回線がつながったことを確認してからファクス送信を始めます。

送信の仕方には2通りあります。

- 本製品のオンフックを使う
- 外付け電話を使う

!重要

- 送信先は1箇所（回線がつながっている相手）のみです。
- 通信エラーが発生したら送信し直してください。自動再送信はされません。

- 1** 【節電】ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】ボタンを押して節電状態から復帰させます。

- 2** 【ファクス】ボタンを押します。
ファクスランプが点灯します。

- 3** 原稿をセットします。
セットできる原稿のサイズや種類は以下を参照してください。
☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」
原稿セットの手順は以下をご覧ください。
☞ 43 ページ「原稿台にセット」
☞ 44 ページ「ADFにセット」

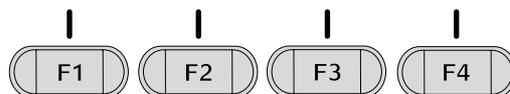
- 4** 送信条件を設定します。
原稿サイズや画質など、必要に応じて設定してください。

各設定項目と設定値は以下をご確認ください。

☞ 87 ページ「ファクスモードの設定項目一覧」

以下は設定例です。

- ① 【◀】【▶】ボタンで「基本設定」タブまたは「応用設定」タブを選択します。
- ② 設定したい条件に対応した【F1】～【F4】ボタンを押します。



- ③ 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで決定します。

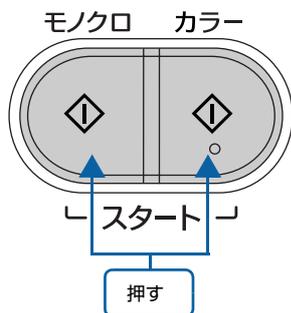
- 5** 【オンフック】ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）で相手先のファクス番号を入力します。

外付け電話機の場合は受話器を上げ、その電話機から番号を入力します。

参考

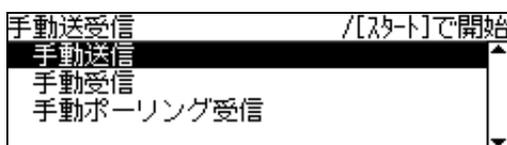
- 入力ミス防止のために番号を2回入力（確認後に送信）したいときは、【各種設定】ボタンを押し、【ファクス設定】 - 【送信設定】で【直接ダイヤル制限】を【2回入力】に設定してください。
- 宛先帳に登録した番号なら、宛先帳から入力できます。
 - ① 【宛先帳】ボタンを押します。
 - ② 【◀】【▶】【▲】【▼】ボタンで宛先を選択します。グループダイヤルは【グループ】タブから選択します。
 - ③ 【F1】ボタンを押して宛先を決定します。
 - ④ 宛先を複数入力する場合は②～③を繰り返します。
 - ⑤ 【OK】ボタンを押して宛先選択を終了します。
- 宛先を複数入力すると、カラーファクスできません。
- 宛先帳に番号登録するには、以下をご覧ください。
 - ☞ 26 ページ「【宛先/保存先設定】メニュー」
 - ☞ 90 ページ「宛先帳の管理」

- 6 回線が繋がったら、スタートボタン（【カラー】でも【モノクロ】でも可）を押します。



- 7 【手動送信】を選択し、カラーで送信する場合は【カラー】ボタンを、モノクロで送信するときは【モノクロ】ボタンを押します。

受信側の機器に合わせて選択してください。



- 8 外付け電話機の場合は、受話器を元に戻します。



ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

便利な送信方法

指定した時刻に送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にモノクロのファクスを送信します。

「自動送信」の手順に沿ってください。送信条件の「応用設定」－「時刻指定」で送信時刻を指定します。最後に【モノクロ】ボタンを押してください。

[81 ページ「自動送信」](#)

異なるサイズの原稿を ADF から送信する

幅が同じ用紙は、まとめて ADF にセットしてファクス送信することができます。

[41 ページ「自動検知できる原稿サイズ」](#)

[44 ページ「ADF にセット」](#)

幅が異なる用紙は、以下の手順で送信できます。

- ① 【ファクス】ボタンを押し、[ADF 追加] で [する] を選択する

[87 ページ「ADF 追加」](#)

- ② 用紙をサイズごとまたは 1 枚ごと、ADF にセットする

[41 ページ「自動検知できる原稿サイズ」](#)

- ③ ファクス送信を開始する
- ④ ADF にセットした原稿の送信が終わったら、続きの原稿を ADF にセットする
- ⑤ パネルに表示されたメッセージに従ってファクス送信を続ける

同じ宛先にまとめて送信する（同報）

グループダイヤルで登録されている全ての宛先に一斉送信できます。事前に以下の作業をしてください。

- ① 短縮ダイヤルに宛先を登録する

[90 ページ「宛先帳の管理」](#)

- ② 短縮ダイヤルをグループダイヤルに登録する

EpsonNet Config（Web 版やアプリケーションソフト版）を使います。詳細は EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

送信の手順は「自動送信」と同じです。相手のファクス番号は、グループダイヤルに登録した名称で指定してください。

[81 ページ「自動送信」](#)

コンピューターから送信する

Offirio PC-FAX for MFP（アプリケーションソフト）を使うと、プリンタードライバーを使って印刷するのと同じ操作感でファクスを送ることができます。事前に以下の作業をしてください。

- 本製品とコンピューターを同じネットワーク（LAN）に接続する
- 操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、[ファクス設定] で [PC-FAX 送信機能] を [使用する] に設定する
- Offirio PC-FAX for MFP と PC-FAX ドライバーをインストールする
- PC-FAX ドライバーに IP アドレスを設定する

詳細は Offirio PC-FAX for MFP のヘルプ（FAX 送信方法－IP アドレスの変更方法）をご覧ください。

ファクス受信

ファクスの受信形態には2種類あります。

- 着信してから受信を始める
[☞ 84 ページ「着信してから受信する」](#)
- 自ら電話をかけ、相手先に回線がつながったことを確認してから受信を始める
[☞ 84 ページ「自ら発信して受信する」](#)

着信してから受信する

着信してから受信する方法 (受信モード) は3つです。どのモードで受信するかは以下で指定します。

【各種設定】 ボタン - 【ファクス設定】 - 【受信設定】 - 【受信モード】

[☞ 23 ページ「受信モード」](#)

受信モード	説明
自動	外付け電話機の着信音を指定回数を鳴らしてから自動でファクス受信に切り替えます (電話かファクスかの自動判別はできません)。ファクス利用が多い方にお勧めです。外線電話呼び出し中に受話器を上げると、ファクス受信に切り替わりませんが、次項の【手動】と同じ操作でファクスの受信ができます。
手動	外付け電話機の着信音が鳴ったら、以下の操作でファクスを受信します。 ①【オンフック】 ボタンを押すか、外付け電話機の受話器を上げる (通話する) ②ファクスであることを確認してからスタートボタン (【カラー】 または【モノクロ】) を押す ③画面の【手動受信】 を選択してスタートボタン (【カラー】 または【モノクロ】) を押す ④受話器を元に戻す
ファクス/電話自動切替	着信がファクス信号か電話かを判別し、ファクス信号を検知した場合は自動的にファクス受信します。ファクス信号が検知できずに一定時間が経過すると、外付け電話機の呼出音を鳴らします (ナンバーディスプレイには非対応)。

自ら発信して受信する

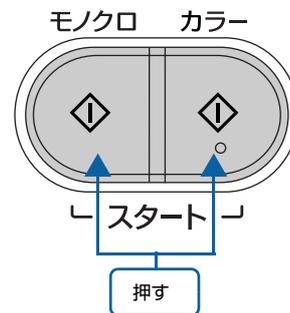
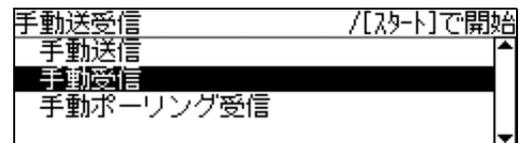
自ら電話をかけて相手先につながったことを確認してから受信するときの方法は2つです。

- 手動受信
- ポーリング受信

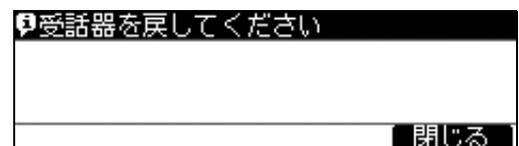
参考

ファクス情報サービスを利用する場合は、サービスに応じた受信の方法を選択してください。

- 1 【ファクス】 ボタンを押します。
ファクスランプが点灯します。
- 2 【オンフック】 ボタンを押し、テンキー (ダイヤルボタン) で相手先の番号を入力します。
外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。
- 3 つながった相手がファクスかどうかを確認してからスタートボタン (どちらでも可) を押しします。
- 4 【手動受信】 か【手動ポーリング受信】 かを選択してスタートボタン (どちらでも可) を押しします。



- 5 外付け電話機の場合は、受話器を元に戻します。



受信ファクスの出力先を選択する

受信ファクスのデータを出力する仕方を設定します。

- 紙に印刷する
- 他のファクス機に転送する
- 共有フォルダーに保存する（ファクス to フォルダー機能）
- メールで転送する（ファクス to メール機能）

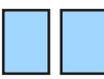
紙に印刷する

- 1 **【各種設定】** ボタンを押し、**【ファクス設定】** – **【受信設定】** – **【受信ファクス出力先】** で **【印刷】**（初期値）を指定します。
- 2 給紙装置に用紙をセットします。
[31 ページ「印刷用紙のセット」](#)
【受信設定】 – **【給紙口】** – **【自動】** での給紙装置の優先順位は以下です。
 - ① 受信データと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置
 （カセット1 > カセット2 > カセット3 > MPトレイ）
 - ② ①がない場合は、用紙がセットされている給紙装置
 （カセット1 > カセット2 > カセット3 > MPトレイ）[23 ページ「受信設定」](#)

参考

印刷用紙より大きなサイズ of 原稿データは自動的に、2 ページに分割して印刷されるか、印刷用紙サイズに合わせて縮小して印刷されます。

(例)

受信データの原稿サイズと向き	印刷用紙サイズ B5
A3 	 縮小・分割
A4 	 縮小
A4 	 分割

他のファクス機に転送する

【各種設定】 ボタンを押し、**【ファクス設定】** – **【受信設定】** で以下を設定します。

- ① **【受信ファクス出力先】** で **【転送】** を選択する
- ② **【転送設定】** で **【転送先番号】** を入力する

[23 ページ「受信設定」](#)

共有フォルダーに保存する

受信ファクスを PDF ファイルに変換し、同一ネットワーク上の共有フォルダーに保存します（ファクス to フォルダー機能）。

- 1 保存したい共有フォルダーと同じネットワークに本製品が接続されていることを確認します。
- 2 **【各種設定】** ボタンを押し、**【共通設定】** でネットワークインターフェイスの設定をします。
[17 ページ「ネットワーク設定」](#)
[30 ページ「IP アドレスの設定」](#)
- 3 **【各種設定】** を押し、**【ファクス設定】** – **【受信設定】** で以下の設定をします。
 - **【受信ファクス出力先】** で **【フォルダー】** を選択する
 - **【保存先フォルダー設定】** で保存先のフォルダー名を指定する[23 ページ「受信設定」](#)

参考

- EpsonNet Config (Web 版やアプリケーションソフト版) でも設定できます。詳細は、EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。
- 共有フォルダーへの書き込みでエラーが発生すると、受信したデータを強制印刷し、印刷したデータを削除します。
- 保存したファイルを開覧するには、保存先の共有フォルダーへのアクセスが許可されたコンピューターが必要です。
- Offirio PC-FAX for MFP (アプリケーションソフト) は共有フォルダーを監視し、新着ファクスを知らせることができます。このアプリケーションソフトのインストールは以下を参照してください。
[92 ページ「ソフトウェアのインストール」](#)
 設定方法は、アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

メールで転送する

受信ファクスデータを PDF ファイルに変換し、メールで転送します（ファクス to メール機能）。

- 1 **本製品がネットワークに接続されていることを確認します。**
- 2 **【各種設定】 ボタンを押し、【共通設定】 でネットワークインターフェイスの設定をします。**
[📄 17 ページ「ネットワーク設定」](#)
[📄 30 ページ「IP アドレスの設定」](#)
- 3 **【各種設定】 ボタンを押し、【共通設定】 でメールサーバーの設定をします。**
[📄 18 ページ「メールサーバー設定」](#)
- 4 **【各種設定】 ボタンを押し、【ファクス設定】 - 【受信設定】 で以下の設定をします。**
 - ① 【受信ファクス出力先】 で【メール】を選択する
 - ② 【メール設定】 で送信先のメールアドレスや件名などを入力する
[📄 23 ページ「受信設定」](#)

参考

- EpsonNet Config（Web 版やアプリケーションソフト版）でも設定できます。詳細は、EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。
- メール転送でエラーが発生すると、受信ファクスを強制印刷し、印刷したデータを削除します。

受信ファクスを一時保存する

【受信ファクス出力先】 で【印刷】（初期値）を選択しているときに受信したファクスは、本製品のメモリーに一旦蓄積させ、後で出力させることができます。例えば、20 時から翌 8 時まで受信したファクスを、8 時以降に印刷する、という使い方ができます。

受信ファクスを蓄積する

【各種設定】 ボタンを押し、【ファクス設定】 の【受信設定】 で以下のいずれかを設定します。

- 【メモリー受信】 で【常時】を選択する
- 【メモリー受信】 で【時間帯指定】を選択し、【ON 時刻】と【OFF 時刻】を指定する
[📄 24 ページ「メモリー受信」](#)

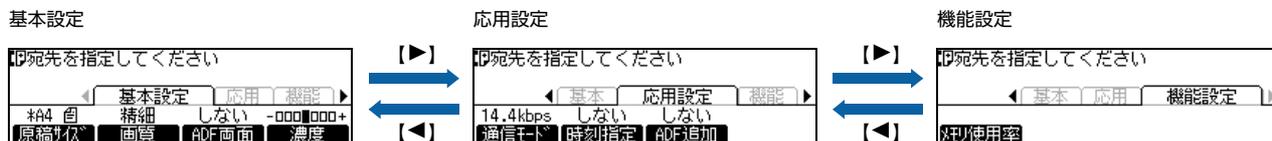
蓄積した受信ファクスを印刷する

以下のいずれかの方法で、蓄積したファクスを印刷することができます。

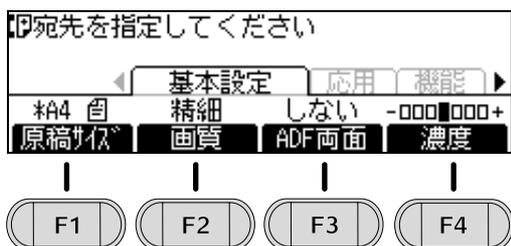
- メモリー受信を解除する
【ファクス】 ボタンを押し、【機能設定】 タブで【メモリー受信】を【しない】にすると出力されます。【しない】にしても、【ON 時刻】になると自動的にメモリー受信状態になります。
[📄 88 ページ「【機能設定】 タブ」](#)
- メモリー受信を中止する
【各種設定】 ボタンを押し、【ファクス設定】 - 【受信設定】 - 【メモリー受信】を【しない】にすると印刷されます。
[📄 23 ページ「受信設定」](#)
- 指定した蓄積時間帯の終了時刻を待つ
【各種設定】 ボタンからの【メモリー受信】 - 【時間帯指定】で指定した【OFF 時刻】を過ぎると、メモリーに蓄積されているファクスデータは自動的に印刷されます。

ファクスモードの設定項目一覧

ファクスモードには3つの設定タブがあります。【▶】【◀】ボタンでタブが切り替わります。

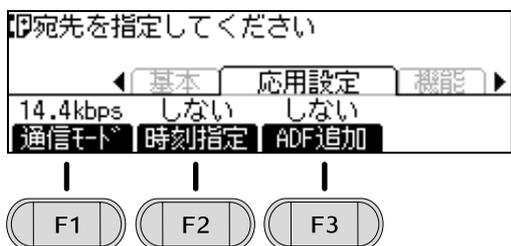


[基本設定] タブ



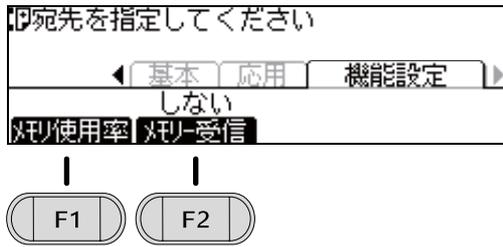
ボタン名	説明
原稿サイズ 【F1】	送信する原稿サイズを指定します。[自動] に設定すると原稿サイズを自動検知します。 ☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」
画質 【F2】	モノクロ原稿を送信する際の画質を指定します。 カラーでの送信は常に [標準] です。
ADF 両面 【F3】	ADF から両面原稿を送信する場合に [する] を選択します。
濃度 【F4】	ファクス原稿のスキャン濃度を指定します。文字などが薄い原稿は設定値を大きくしてください。(-3 ~ 0 ~ +3)

[応用設定] タブ



ボタン名	説明
通信モード 【F1】	自動送信の手順でファクス送信するときの通信モードを指定します。[9.6Kbps (G3)] は、アナログ回線の通信確立に必要な時間を確保してから通信するモードで、送信開始を通常より遅らせます。
時刻設定 【F2】	送信する時刻を設定します。
ADF 追加 【F3】	セットした原稿のスキャンが終了した後に、続きの原稿として追加でスキャンしたい場合に設定します。

[機能設定] タブ



ボタン名	説明
メモリー使用率 【F1】	ファクスメモリーの使用率を表示します。(0% ~ 100%) [しない] に設定すると、メモリーに蓄積している受信ファクスを出力します。
メモリー受信 【F2】	【各種設定】 ボタンを押し、[ファクス設定] - [受信設定] - [メモリー受信] で、[時間帯指定] か [常時] を選択しておいてください。この設定は、[時間帯指定] で設定した開始時間になると [する] に、終了時間になると [しない] に変わります。

ファクスジョブの確認とキャンセル

送信待ち／送信中のジョブをキャンセル

- 原稿読み取り中のジョブ
- ①【ストップ】ボタンを押します。原稿の読み取りが一時中断されます。
 - ②キャンセルするかどうか確認する画面で【F3】ボタン（[する]）を押します。
-
- 送信待ち／送信中の原稿
- ①【節電】ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】ボタンを押して節電状態から復帰させます。
 - ②【ファクス蓄積文書】ボタンを押します。
 - ③【▲】【▼】ボタンで「送信ジョブ一覧」を選択します。
 - ④【▲】【▼】ボタンで、キャンセルしたいジョブ（原稿）を選択し、【F1】ボタン（削除）を押します。
 - ⑤削除確認のメッセージが表示されたら【F3】ボタンを押します。

受信ジョブ(印刷待ちジョブ)をキャンセル

- ①【節電】ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】ボタンを押して節電状態から復帰させます。
- ②【ファクス蓄積文書】ボタンを押します。
- ③【▲】【▼】ボタンで「受信ジョブ一覧」を選択します。
- ④【▲】【▼】ボタンで、キャンセルしたいジョブを選択し、【F1】ボタン（削除）を押します。
- ⑤削除確認のメッセージが表示されたら【F3】ボタン（[する]）を押します。

送受信履歴を確認

- ①【節電】ボタンのランプが点灯しているときは、【節電】ボタンを押して節電状態から復帰させます。
- ②【ファクス蓄積文書】ボタンを押します。
- ③【▲】【▼】ボタンで「送信ジョブ履歴」または「受信ジョブ履歴」を選択します。
- ④【▲】【▼】ボタンで、確認したいジョブを選択します。
- ⑤【F3】ボタン（[詳細表示]）を押します。

宛先帳の管理

宛先帳にファクス番号（短縮ダイヤル）を登録しておくと、ファクス送信時の番号入力の手間が省け、かけ間違いの防止にもなります。

登録済みファクス番号（短縮ダイヤル）は、クイックダイヤルやグループダイヤルにも登録が可能になります。各ダイヤルの機能概要は以下です。

短縮ダイヤル:

登録済みの宛先（ファクス番号）は宛先帳から選択するだけで入力できます。

クイックダイヤル:

操作パネルの【01】～【12】ボタンを押すだけで、ボタンに割り当てられた短縮ダイヤル（ファクス番号）を入力できます。

グループダイヤル:

グループ（複数の短縮ダイヤルが登録済み）を選択するだけで、グループ内の宛先全てを選択しますので、同報送信ができます。EpsonNet Config（Web 版やアプリケーションソフト版）から登録します。パネルからは登録できません。

ファクス番号の登録、変更や削除は以下のいずれかで行います。

- 「宛先 / 保存先設定」 - 「ファクス番号」
[🔗 27 ページ「ファクス番号」](#)
- EpsonNet Config（Web 版）
- EpsonNet Config（アプリケーションソフト版）
使い方は EpsonNet Config のヘルプを参照してください。

!重要

操作パネルと EpsonNet Config で同時に設定しないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。

節電の設定

節電モードに移行する方法は2つあります。

- **【節電】** ボタンを押す
すぐに節電モードに入ります。
- 節電に移行する設定をする
設定した内容に従って自動的に移行します。最後の動作が終了してから節電モードに移行するまでの時間を設定する方法と、あらかじめ節電する時間帯を設定しておく方法があります。

節電モードになると、**【節電】** ランプが点灯します。それ以外のランプと液晶ディスプレイは消灯します。

参考

- 以下の操作で節電モードが解除されます。
 - **【節電】** ボタンを押す
 - 電源の再投入
 - ADF カバーを開ける
 - ADF に原稿をセットする
 - コンピューターから印刷/スキャン/ファクス
 - ファクス受信/ファクス送信指定時刻
 - USB メモリーの挿入
- 節電モードから復帰して動作開始まで数十秒かかることがあります。これはウォーミングアップが必要なためです。

節電モードに移行する時間を設定する

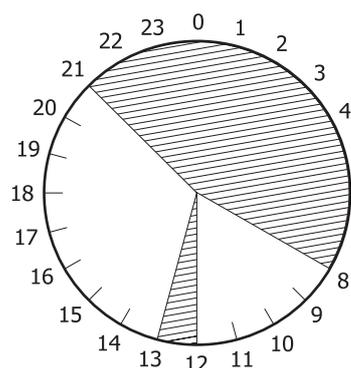
【各種設定】 ボタンを押し、**【共通設定】** - **【省電力設定】** - **【節電移行時間】** で、節電モードに入るまでの時間を設定します。

設定値：1分（初期値）、3分、5分、15分、30分、60分
また、**【節電移行時間（自動）】** を **【使用する】** にすると、曜日時間別の本製品の稼働状況（履歴）に基づいて自動的に設定された節電移行時間で節電モードに移行します。

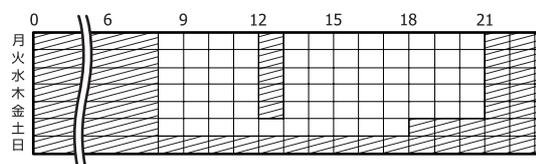
節電する時間帯を設定する

「夜9時から朝8時、昼休み時間はすぐに節電モードにしたい」「土日は常に節電モードにしておきたい」など、利用状況に応じて節電する時間帯が設定できます。

例：設定した時間帯（斜線部）ですぐに節電モードにする



さらに曜日ごとに細かく設定することもできます。



この設定は EpsonNet Config（Web 版）を使って行います。詳細は EpsonNet Config（Web 版）のヘルプをご覧ください。

ソフトウェアの削除とインストール

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアは以下の手順で削除できます。再インストールやバージョンアップは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

参考

- 管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- プリンタードライバーを選択すると、EPSON ステータスマニタも一緒に削除されます。EPSON ステータスマニタだけを削除したいときは [EPSON ステータスマニタ] を選択してください。
- 削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

1 本製品の主電源を切り、起動しているアプリケーションソフトを全て終了します。

2 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックします。

3 [プログラムのアンインストール] を選択します。

4 削除するソフトウェアを選択してから [アンインストールと変更] をクリックします。

参考

[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは [続行] をクリックしてください。

5 画面の指示に従って作業を進めます。

参考

Mac OS XはUninstallerで削除します。EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードしてください。一度ダウンロードすればアンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。

1. 本製品の主電源を切ります。
2.  (アップル) メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) を選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。
コンピュータにインストールされている全てのエプソン製ページプリンターのドライバーが削除されます。

ソフトウェアのインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピュータを再起動してからインストールしてください。

☞ 92 ページ「ソフトウェアの削除」

参考

- 管理者権限のあるアカウント (ユーザー) でログオンしてください。
- 再インストールは、インストール済みの古いバージョンをアンインストールしてから行ってください。

1 起動しているアプリケーションソフトを全て終了します。

2 プリンタードライバーのインストール時は、本製品とコンピュータの接続を一旦解除します。
コンピュータの画面に指示が出るまで、本製品とコンピュータを接続しないでください。

3 以下をクリックして、指示に従ってソフトウェアをインストールします。

<http://epson.sn/>

参考

Windows をお使いのお客様は付属のソフトウェアディスクからもインストールできます。フォントのインストールも以下の手順で行います。

1. コンピューターにソフトウェアディスクをセットします。
2. 表示された画面の [必須ソフトウェアのインストールと接続設定] からインストールします。

ソフトウェアやファームウェアの更新

ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができることがあります。最新版のソフトウェアやファームウェアでお使いください。

ソフトウェア (Windows/Mac OS X) とファームウェア (Windows) は、以下からダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/>

操作パネルにメッセージが表示されている

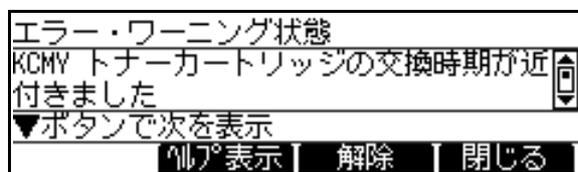
パネル画面に表示されるメッセージとその意味を説明します（五十音順）。

画面に◆マークが表示されているときは複数のメッセージが発生しています。【▲】または【▼】ボタンを押して、他のメッセージを確認してください。

メッセージ文は一部しか表示されない場合があります。メッセージ全体を確認するには、【状態確認】ボタンを押し、[エラー・ワーニング状態]を選択して【OK】ボタンを押します。

参考

【ヘルプ表示】が表示されているメッセージでは対処方法がご覧いただけます。



【F2】ボタン（ヘルプ表示）を押すと、ヘルプが表示されます。

【▼】ボタン：次の画面に移行

【▲】ボタン：前の画面に移行

【F4】ボタン（閉じる）を押すと終了します。

対処しても問題が解決しないときのお問い合わせ先は以下を参照してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

*1 が付いているメッセージは、操作パネルの【各種設定】ボタン - [共通設定] - [プリンターリセット] - [ワーニングクリア] または [全ワーニングクリア] で消せます。

*2 が付いているメッセージは、操作パネルの【各種設定】ボタン - [共通設定] - [プリンターリセット] - [全ワーニングクリア] で消せます。

☞ 18 ページ「リセット」

A3,B4,A4,B5,A5,A6 サイズの用紙がありません

割り付けコピーできるサイズの用紙がセットされている給紙装置を指定してください。

☞ 68 ページ「割り付け」

A4,B5 サイズの用紙がありません

ページ連写コピーできるサイズの用紙がセットされている給紙装置を指定してください。

☞ 70 ページ「ページ連写」

ADF カバーを閉めてください

ADF のカバーが開いています。閉めてください。

☞ 111 ページ「ADF」

ADF に原稿をセットしてください

ADF に原稿がありません。原稿をセットしてください。

☞ 44 ページ「ADF にセット」

ADF メンテナンスユニットの交換時期が近づきました

部品の交換時期が近づきました。「ADF メンテナンスユニットを交換してください」と表示されるまでは使用できません。

ADF メンテナンスユニットを交換してください

部品の寿命です。交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 160 ページ「消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧」

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

BACK UP RESTORE MODE

バックアップリストアモードになっています。作業を終了したら電源を入れ直してください。

Color Diagnosis Sheet

カラー診断シートを印刷しています。

DNS エラー

メール設定の接続テストで DNS サーバーによる名前解決ができませんでした。DNS サーバーの設定を確認してください。IP アドレスで指定すると解決できることがあります。

ID カードコピーが設定されています

【ID カードコピー】が【する】に設定されている状態で【原稿サイズ】または【用紙】を変更しようとした。

ID カードコピーを設定したため、ページ連写を解除しました

または

ID カードコピーを設定したため、割り付けを解除しました

ID カードコピーでは、ページ連写や割り付けはできません。

MAINTENANCE MODE

メンテナンスモードになっています。電源を入れ直してください。

MP トレイの用紙の向き(縦 / 横)を直してください

MP トレイにセットした用紙の向きが間違っています。縦置きになっている場合は横置きに、横置きになっている場合は縦置きにセットし直してください。

N/W モジュールエラー

ネットワークプログラムに問題があります。保守契約店（保守契約をしている場合）またはお買い求めの販売店にご連絡ください。

RAM CHECK

内蔵 RAM の確認をしています。

Recovery Mode

ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度、ファームウェアをアップデートしてください。

1. コンピューターと本製品を USB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。
2. エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートします。
詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

ROM CHECK

内蔵 ROM の確認をしています。

ROM モジュール A フォーマットエラー

または

ROM モジュール A リードエラー

または

PS3 モジュールエラー

PostScript3 モジュールが正しく認識されません。電源を入れ直してもエラーが解除されないときは、モジュールが正しく装着されているかを確認してください。それでも解決しないときは保守契約店（保守契約をしている場合）またはお買い求めの販売店にご連絡ください。

Screen 25

Screen 50

Screen 100

印刷ムラを確認するためのパターンを、濃度 25% または 50%、100% で印刷しています。

SELF TEST

自己診断と、初期化をしています。

SUPPORT MODE

サポートモードになっています。設定が終わったら、電源を入れ直してください。

USB メモリーエラー

USB メモリーが故障しています。【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

USB メモリーが装着されていません

USB メモリーが接続されていません。【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

USB メモリーの容量不足で書き込めません

USB メモリーにデータを保存するための空き容量がありません。【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

USB メモリーライトエラー

USB メモリーへのデータの保存に失敗しました。【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

USB メモリーライトプロテクト

USB メモリーが書き込み禁止状態になっています。

USB メモリーを認識できません

USB メモリーを取り付けずにプリントモードで [USB メモリー] を選択しました。

USB メモリーを取り付けている場合は、スキャナーユニット背面の USB ケーブルがコントローラボックス背面の USB コネクタに正しく接続されているか確認してください。

アップデート終了

ファームウェアのアップデートが正常に終了しました。電源を入れ直してください。

宛先を選んでください

または

宛先を指定してください

宛先が指定されていません。

異常が発生しました

ファームウェアのアップデートに失敗しました。電源を入れ直してから再度アップデートしてください。

一時停止中

ジョブキャンセルしますか？

全ジョブキャンセルしますか？

印刷データの作成やデータ受信はしますが、印刷動作を開始しない状態です。[再開] を選択すると印刷可状態になります。このまま、[無操作タイムアウト] で設定した時間放置すると、印刷を再開します。

印刷可能なファイルがありません

USB メモリー内に印刷可能なデータがありません。

印刷ジョブを受け付けました

USB メモリーからの印刷またはパスワード印刷を開始しました。

印刷できます

印刷可状態で、プリンターに送られているデータがない状態です。

印刷できないデータです

以下のようなときに表示されます。

- 印刷データに問題がある。
データが壊れていないか確認してください。
- 本製品では使用できないプリンタードライバーから印刷しようとした。
本製品用のプリンタードライバーをインストールして印刷してください。

このメッセージは [ワーニングクリア] で消えます。

印刷をキャンセルしますか？

【OK】 ボタンを押すと印刷をキャンセルします。

ウォーミングアップ中

ウォーミングアップをしています。そのまましばらくお待ちください。

裏面をセットしてください

原稿の裏面をセットして [読み込み] ボタンを押してください。読み込む原稿がないときは [原稿終了] ボタンを押してください。

エラーの原因が解消されていません

エラーを解除できません。エラーが解除されていない状態で 【OK】 ボタンを押したときに表示します。ボタンから手を離すと、押す前に表示していたエラーを表示します。

オーバーランエラー

印刷内容が複雑で、プリンターの処理が追いつきません。
[自動エラー解除] - [しない] (初期値) の場合：
以下のいずれかの処置をしてください。

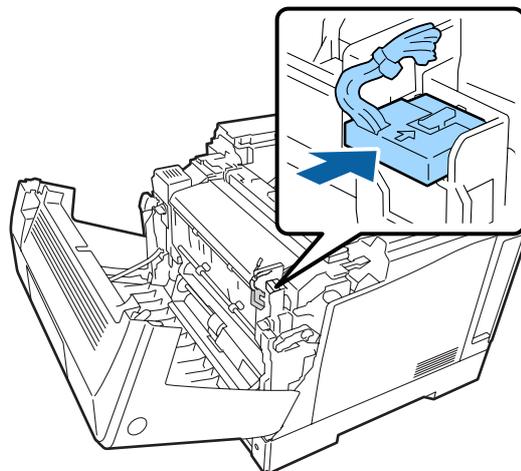
- エラーが発生したページを印刷しないで次のページを印刷するには、【OK】 ボタンを押します。
- 印刷を中止するには、【ストップ】 ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

[自動エラー解除] - [する] の場合：
一定時間 (5 秒) 後にエラー状態が解除されます。

オプション装置エラー

増設 1 段カセットユニットが正しく装着されていません。取り付け方は『セットアップガイド』(冊子) をご覧ください。

標準搭載されている両面印刷ユニットの、コネクタがしっかり接続されていることも確認してください。



その後電源を入れ直してもエラーが解除されないときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターへ連絡してください。

☞ 178 ページ 「お問い合わせ先」

階調を調整して印刷しました*1

データが複雑で指定された解像度で印刷できず、階調数を落として印刷しました。

印刷処理を中止する場合：

【ストップ】 ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

改めて印刷する場合：

以下のいずれかの処置をしてください。

- プリンタードライバーで [印刷品質] を下げてください ([はやく] (300dpi) にするなど)。
- アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げるか、保存 (圧縮) 形式を変更してデータ容量を減らす。
- 使用していないインターフェイスを使わない設定にする。
☞ 16 ページ 「USB I/F」
☞ 17 ページ 「ネットワーク I/F」
- RAM ディスクを使用しない設定 (初期値) にする。
☞ 15 ページ 「RAM ディスク」

カセット x エラー yyy

「x」に表示された番号の用紙カセットが故障した可能性があります。

以下のいずれかの処置をしてください。

- 【ストップ】 ボタンを押す。
- 電源を切って該当カセットの接続を確認する。

その後電源を入れ直してもエラーが解除されないときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ 「お問い合わせ先」

カセットエラー yyy

増設したカセットユニットが多すぎます。増設できるカセットユニットは1段のみです。

カセットxの用紙の向き(縦/横)を直してください
用紙カセット「x」にセットした用紙の向きが間違っています。縦置きになっている場合は横置きに、横置きになっている場合は縦置きにセットし直してください。

カセットx用紙サイズ異常

カセットにセットされた用紙サイズが検知できません。用紙ガイドが用紙サイズの位置に合っているか確認してください。

不定形サイズの用紙をセットしているときは、[給紙装置設定] - [用紙サイズ検知Cx] が [しない] になっているか確認してください。

カバーxxxxを閉めてください

「xxxx」に表示されるカバーが開いているか、確実に閉められていません。表示の意味は以下です。

A：カバー A (本体前面側)

D：カバー D (本体上部左側トナーカートリッジ)

F：カバー F (本体上部中央廃トナーボックス)

G：カバー G (本体上部)

🔗 [7 ページ「各部の名称」](#)

表示されているカバーを閉めると、エラーが解除されません。

紙を取り除いてくださいxxxx

「xxxx」に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生しているときは、「xxxx」の部分には操作パネルに表示可能な範囲まで表示されます。「xxxx」に表示される箇所に詰まっている用紙を取り除いてください。詰まった用紙を全て取り除き、カバーを閉めるとエラーが解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。

🔗 [107 ページ「詰まった用紙を取り除きたい」](#)

カラーキャリブレーションエラー

キャリブレーションが失敗しました。【OK】 ボタンを押し、エラーを解除してから再実行してください。

カラーキャリブレーション実行中

カラーキャリブレーション中です。中止するには、【ストップ】 ボタンを押します。

カラーキャリブレーションパターンを印刷しています

カラーキャリブレーションシートを印刷中です。中止するには、【ストップ】 ボタンを押します。

カラーコピー中

カラーコピーをしています。

カラスキャン中

カラーでスキャンしています。

カラーファクス送信待機中

カラーファクスの送信開始待ち状態です。

カラーファクス送信中

カラーファクスを送信しています。

カラーファクスは送信できません

以下のような場合に表示されます。

- ① カラーに対応していないファクス機にカラーファクスを送信しようとした。
カラー機能に対応していない送付先へは【モノクロ】 ボタンを押してファクスを送信してください。
- ② グループダイヤルを使ったファクス送信で、【カラー】 ボタンが押された。
グループダイヤルを使ったファクス送信では、カラーでの送信ができません。【モノクロ】 ボタンを押してファクスを送信してください。
- ③ ファクス受信中にカラーファクスを送信しようとした。
ファクスの受信中はファクス送信ができません。受信終了後に送信してください。

カラーマッチングで問題が発生しました

プリンタードライバーのカラー調整がプリンターのスクリーンと合っていません。プリンタードライバーまたはプリンターのファームウェアを更新して一致させてください。

xxxx 感光体ユニットが故障です

「xxxx」に表示されている色の感光体ユニットが故障しています。表示されている色の感光体ユニットを、使用可能なものに交換してください。交換後、カバー A を閉めるとエラーが解除されます。

🔗 [134 ページ「感光体ユニットの交換」](#)

xxxx 感光体ユニットが正しくありません

「xxxx」に表示されている色の感光体ユニットは、本製品で使用できません。表示されている色の感光体ユニットを、使用可能なものに交換してください。交換後、カバー A を閉めるとエラーが解除されます。

🔗 [134 ページ「感光体ユニットの交換」](#)

xxxx 感光体ユニットの交換時期が近づきました

「xxxx」に表示されている色の感光体ユニットの寿命が近づきました。

印刷は継続できますが、新しい感光体ユニットを用意してください。

🔗 [160 ページ「消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧」](#)

xxxx 感光体ユニットを交換してください

「xxxx」に表示されている色の感光体ユニットが寿命です。交換してください。

エラーランプ消灯^{*1}：印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅：【OK】ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

エラーランプ点灯：交換するまで印刷できません。

[☞ 134 ページ「感光体ユニットの交換」](#)

xxxx 感光体ユニットを取り付けてください

「xxxx」に表示されている色の感光体ユニットが取り付けられていません。

取り付け後、カバー A を閉めるとエラーが解除されます。

[☞ 134 ページ「感光体ユニットの交換」](#)

給紙口がすべて対象外 ジョブを削除してください

[プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択対象 xx] で、全ての給紙装置が [しない] になっているため、給紙できません。【ストップ】ボタンを押して、印刷処理を中止してください。

印刷するには、プリンタードライバーで給紙装置を指定するか、[プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択対象 xx] を [する] に変更してください。

給紙ローラーxx の交換時期が近付きました

「xx」に表示されている給紙ローラーの交換時期が近付きました。「給紙ローラー xx を交換してください」と表示されるまで、印刷は継続できます。

給紙ローラーxx を交換してください

「xx」に表示されている給紙ローラーが寿命です。交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[☞ 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

エラーランプ消灯^{*1}：印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅：【OK】ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

原稿が異常です

原稿を確認してセットし直してください。

[☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」](#)

[☞ 43 ページ「原稿のセット」](#)

原稿のサイズを選択してください

セットした原稿のサイズを指定してください。

原稿の向きを横置きでセットしてください

また原稿サイズ選択が A4 縦 /B5 縦以外になっていることを確認してください

ファクスのカラー送信で A4 または B5 原稿を  向きにセットしています。カラーファクス送信時の A4 または B5 原稿は  向きでセットしてください。原稿の向きを変えてもメッセージが表示される場合は、[原稿サイズ]を確認し、正しい原稿サイズと向き (A4  /B5  以外) に設定してください。

原稿番号が異なります

カラーキャリブレーション実行中にスキャンしようとした原稿が違います。直前に印刷した原稿を正しくセットしてください。

xxxx 現像ユニットの交換時期が近付きました

「xxxx」に表示されている色の現像ユニットの寿命が近付きました。

印刷は継続できますが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[☞ 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

xxxx 現像ユニットを交換してください

「xxxx」に表示されている色の現像ユニットが寿命です。交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[☞ 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

エラーランプ消灯^{*1}：印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅：【OK】ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

エラーランプ点灯：交換するまで印刷できません。

コピーできます

コピー可能状態です。

コピーをキャンセルしますか？

【OK】ボタンを押すとコピーをキャンセルします。

サービスへ連絡ください Cxxxx(または Exxxx)

サービスコールエラーが発生しました。「Cxxxx/Exxxx」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。

電源を切り、数分後に入れ直してください。再度発生したときは、メッセージに表示されたコード番号を書き写してから、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[☞ 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

実行できません

実行できない状態です。しばらく待ってから再実行してください。

指定されたフォルダーが開けませんでした

フォルダーパス、ユーザー名、パスワードのいずれかが間違っているためアクセスできませんでした。保存先の設定を確認してください。

指定された用紙は両面印刷できません

両面印刷実行時、用紙のサイズまたはタイプ（種類）が両面印刷不可なため、両面印刷の実行を中止します。

[14 ページ「自動エラー解除」](#)

[自動エラー解除] が [しない] (初期値) の場合：

以下のいずれかの処置をしてください。

- セットされている用紙に片面を印刷するには【OK】ボタンを押します。
- 印刷を中止するには【ストップ】ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

[自動エラー解除] が [する] の場合：

一定時間 (5 秒) 後にエラーが解除され、セットされている用紙に片面印刷します。

指定と違うサイズの用紙に印刷しました*1

設定したサイズと異なるサイズの用紙に印刷しました。

【各種設定】 ボタン - [共通設定] - [デバイス設定] - [用紙サイズフリー] を [しない] にするか、プリンタードライバーで [用紙サイズのチェックをしない] にチェックを付けると、このメッセージは表示されなくなります。

指定と違うタイプの用紙に印刷しました*1

印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。

各給紙装置にセットしている用紙のタイプ（種類）と、【各種設定】 ボタン - [プリンター設定] - [給紙装置設定] で設定した用紙タイプ（種類）を確認してください。

しばらくお待ちください

トナー交換後、トナーカートリッジをセット位置に調整中です。

しばらくお待ちください xxxx 中です

モード動作中に他のモードに切り替えようとしてしました。しばらく待ってから操作してください。

しばらくお待ちください

ファクス動作中です。終了後再度設定してください。

ファクス動作中に操作パネルで設定しようとしてしました。しばらく待ってから設定してください。

しばらく待って実行してください

複数の印刷ジョブが蓄積されている状態でUSBメモリーからの印刷を指定しました。しばらく待ってから操作してください。

受話器を戻してください

外付け電話を利用した送受信でファクス送受信を開始しました。

消耗品情報シート印刷中

消耗品情報を印刷しています。

使用履歴シート印刷中

使用状態の履歴を印刷しています。

ジョブがありません

パスワード印刷のジョブがありません。

ジョブキャンセル中

印刷中のジョブがキャンセルされました。印刷処理を中止しています。

ジョブ情報が取得できません

ジョブの情報が取得できないため、処理を中止しました。

ジョブを選択してください

ジョブ選択画面でジョブを選択せずに印刷しようとしてしました。

処理を中止します アップデートされませんでした

ファームウェアのアップデートに失敗しました。

スキャナーADF エラー

ADF とスキャナーユニットの接続に問題が発生しました。本製品背面のスキャナーユニットとコントローラーボックスを接続するコネクタが接続されているか確認して、一旦主電源を切って、再度主電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[178 ページ「お問い合わせ先」](#)

スキャナーエラー

スキャンできません。スキャナーユニットや通信などに問題が発生しました。

一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。【スタート】ボタンを押して再度実行します。問題が解決しないときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[178 ページ「お問い合わせ先」](#)

スキャナー使用中

本製品にネットワーク接続されたコンピューターからスキャナーを使用しています。

スキャナーランプエラー

キャリッジに問題が発生しました。一旦主電源を切って、再度主電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本製品内部が結露している可能性があります。[節電移行時

間] を 60 分に設定して電源を入れたままにしておき、本製品が十分に温まってから印刷してください。

☞ 18 ページ「省電力設定」

それでもエラーが発生する場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

スキャナーロックエラー

輸送用固定ロックがロック位置になっているか、キャリッジの動作に問題が発生している、または専用スキャナーケーブルが接続されていません。

輸送用固定ロック位置になっているときは、固定ロックを解除位置に合わせてから、本製品の主電源を入れ直してください。

専用スキャナーケーブルが接続されていないときは、一旦主電源を切って、専用スキャナーケーブルを接続してから、再度主電源を入れます。

再度エラーが発生するときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 9 ページ「スキャナー部の内部と左側面」

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

スキャン先を選んでください

スキャンしたデータの保存先を指定してください。

スキャン中

スキャンをしています。

接続エラー

保存先設定やメール設定の接続テストで相手先コンピュータまたはメールサーバーへ接続できませんでした。相手先コンピュータまたはメールサーバーとの接続設定を確認してください。

接続可能なコンピューターがありません

WSD スキャンで接続可能なコンピューターが見つかりませんでした。

本製品用の WSD スキャンデバイスドライバーがインストールされたコンピューターが存在しないか、コンピューターの電源が切れている可能性があります。

保存先のコンピューターに本製品用の WSD スキャンデバイスドライバーがインストールされているか、コンピューターの電源が入っているかを確認してください。

設定された保存先は使用できません

フォルダーパスの指定にサポートされていない文字が含まれているか、入力文字数が多すぎます。保存先の設定を確認してください。

設定されたユーザー名は使用できません

ユーザー名の指定にサポートされていない文字が含まれているか、またはユーザー名の文字数制限（30 文字）、ドメインの文字数制限（15 文字）を超えています。保存先の設定を確認してください。

設定値を変更したため再起動が必要です*1

再起動が必要な設定項目を変更しました。

電源を入れ直すかリセットオールをしてください。

☞ 18 ページ「リセット」

設定変更中

設定を変更しています。

節電中

【各種設定】 ボタンからのメニューで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信または【節電】 ボタンを押すと解除されます。節電に入るまでの時間は [プリンター設定] - [節電移行時間] で変更できます。

全ジョブキャンセル中

全ての印刷ジョブがキャンセルされました。印刷処理を中止しています。

全面コピーは原稿台から行ってください

ADF に異なるサイズの前稿をセットしての全面コピーはできません。原稿台に原稿をセットしてください。

外付け電話使用中

外付け電話で回線使用中です。

ダイヤルしてください

オンフックで電話番号入力待ちの状態です。

蓄積文書があるため、アップデート不可

メモリーに蓄積された文書があるため、ファームウェアのアップデートができません。蓄積された文書を出力してください。

次の原稿をセットしてください

次の原稿をセットして【読み込み】を押してください。セットする原稿がない場合は【原稿終了】を押します。

詰まった原稿を取り除いてください

ADF にセットした原稿が詰まりました。詰まった原稿を取り除いてください。

☞ 111 ページ「ADF」

通信エラー

WSD スキャンで保存先を選択した後に、保存先のコンピューターの電源が切られた、または LAN ケーブルが抜かれたなどにより接続が遮断されました。

保存先のコンピューターの電源が入っているか、ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

データサイズオーバー

保存形式が PDF/TIFF（マルチページ）の場合に、送信するデータの容量が設定しているサイズより大きくなっています。添付ファイル最大サイズ設定を変更するか、解

像度を落とすなどして、ファイルサイズが小さくなるようにしてください。

データに異常があるため印刷できません

印刷データに問題があります。

☞ 14 ページ「自動エラー解除」

[自動エラー解除] - [しない] (初期値) の場合：

以下のいずれかの処置をしてください。

- エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷をするには、【OK】 ボタンを押します。
- 印刷を中止するには、【ストップ】 ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

[自動エラー解除] - [する] の場合：

一定時間 (5 秒) 後にエラー状態が解除され、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷をします。

定着ユニットの交換時期が近付きました *1

定着ユニットの寿命が近付きました。

印刷は継続できますが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

定着ユニットを交換してください

定着ユニットが寿命です。交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

エラーランプ消灯 *1：印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅：【OK】 ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

定着ユニットを取り付けてください

定着ユニットが正しく取り付けられていません。

販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

転写ユニットの交換時期が近付きました *1

転写ユニットの寿命が近付きました。

このままでも印刷は継続できますが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

転写ユニットを交換してください

転写ユニットが寿命です。交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

エラーランプ消灯 *1：印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅：【OK】 ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

エラーランプ点灯：交換するまで印刷できません。

電源オフ禁止 アップデート中です

ファームウェアをアップデートしています。電源を切らないでください。

添付ファイルサイズオーバー

保存形式が PDF/TIFF (シングルページ) の場合に、添付されたファイルのデータ容量が設定しているサイズより大きくなっています。[継続] を選択すると、添付ファイル最大サイズに収まるページまでのスキャンデータを送信します。[中止] を選択すると、送信しません。

添付ファイル最大サイズの設定値を変更するか、解像度を落とすなどしてファイルサイズが小さくなるようにスキャンし直してください。

xxxx トナーカートリッジが故障です

「xxxx」に表示されている色のトナーカートリッジに問題があります。トナーカートリッジを取り外して、再び取り付けてください。エラーが解除されないときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 132 ページ「トナーカートリッジの交換」

xxxx トナーカートリッジが正しくありません

「xxxx」に表示されている色の装着したトナーカートリッジは、本製品で使用できません。

トナーカートリッジを本製品で使用可能なものに交換してください。交換後、カバー D を閉めるとエラーが解除されます。

☞ 132 ページ「トナーカートリッジの交換」

xxxx トナーカートリッジの交換時期が近付きました

「xxxx」に表示されている色のトナーの残りが少なくなりました。

印刷は継続できますが、新しいトナーカートリッジを用意してください。

☞ 160 ページ「消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧」

xxxx トナーカートリッジを交換してください

「xxxx」に表示されている色のトナーカートリッジが寿命です。交換してください。交換後、カバー D を閉めるとエラーが解除されます。

または、使用できないトナーカートリッジが取り付けられています。

☞ 132 ページ「トナーカートリッジの交換」

xxxx トナーカートリッジを取り付けてください

「xxxx」に表示されている色のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。取り付け後、カバー D を閉めるとエラーが解除されます。

xxxx トナーを交換してください

「xxxx」に表示されている色のカラートナーがなくなりました。[閉じる] を選択するとモノクロで印刷は継続できますが、新しいトナーカートリッジに交換してください。[共通設定] - [デバイス設定] - [モノクロに変換印刷] - [する] (初期値) のときに表示されます。

xxxx トナーを交換するか、ストップボタンでジョブを削除してください

「xxxx」に表示されている色のトナーを交換してください。または【ストップ】ボタンを押してそのジョブを削除してください。

二次転写ユニットの交換時期が近づきました *1

二次転写ユニットの寿命が近づきました。

印刷は継続できますが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

二次転写ユニットを交換してください

二次転写ユニットが寿命です。交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

エラーランプ消灯 *1 : 印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅 : 【OK】ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

認証エラー

メール設定の接続テストでメールアドレスとユーザー名がメールサーバーの設定と一致しませんでした。メールアドレスとユーザー名を確認してください。

排紙中

プリンター内に残っていた印刷データを印刷して排紙しています。

廃トナーボックスの交換時期が近づきました *1

廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。

印刷は継続できますが、新しい廃トナーボックスを用意してください。

☞ 160 ページ「消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧」

廃トナーボックスを交換してください

廃トナーボックスが寿命です。交換してください。

エラーランプ消灯 *1 : 印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅 : 【OK】ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

エラーランプ点灯 : 交換するまで印刷できません。

☞ 139 ページ「廃トナーボックスの交換」

倍率を自動倍率にしたため用紙の設定を変更しました

[用紙] が [自動] に設定されている状態で [倍率] を [自動] に設定したため、カセット 1 からの給紙に変更しました。

倍率を任意倍率にしたため用紙の設定を変更しました

[用紙] が [自動] に設定されている状態で [倍率] を [任意] に設定したため、カセット 1 からの給紙に変更しました。

パスワードが違います

入力したパスワードが、【各種設定】ボタン - [管理者設定] - [パスワード設定] で設定したパスワードと異なります。正しいパスワードを入力し直してください。

☞ 27 ページ「管理者パスワード設定」

パスワード印刷の登録に失敗しました *1

パスワード印刷ジョブが登録できません。

RAM ディスクを使用している場合は、以下のいずれかの処置をしてください。

- 印刷していないパスワード印刷ジョブがすでに 64 個ある状態で、さらにパスワード印刷ジョブを登録しようとした。印刷していないパスワード印刷ジョブを印刷するか消去してから、再度登録してください。
- 【各種設定】ボタンを押し、[共通設定] - [デバイス設定] で [RAM ディスク] の設定を [最大] に設定してください。

☞ 56 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」

☞ 15 ページ「RAM ディスク」

非サポート USB デバイス xxx

本製品がサポートしていない USB 機器が本製品前面のコネクタに接続されました。USB Hub が装着されると xxx 部に Hub と表示されます。接続している機器を取り外して、【OK】ボタンを押すとエラーが解除されます。本製品に接続可能な USB デバイスの詳細は、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/>) をご覧ください。

非純正品トナーカートリッジ

エプソン製のトナーカートリッジではないカートリッジがセットされました。

日付時刻設定で時刻を修正してください *2

日付、時刻が初期設定値です。

日付、時刻の設定をしてください。

ファイル確認中

USB メモリーのファイルを確認しています。

ファイルが見つかりませんでした

ファームウェアアップデートに必要なファイルがないため、アップデートできません。

ファイル検索中です

ファームウェアアップデートに必要なファイルを検索しています。そのまましばらくお待ちください。

ファイルサイズオーバー

スキャンした画像のファイルサイズが WSD スキャンの一時保存メモリー容量を超えたため、スキャンを中止しました。

以下いずれかの処置をしてください。

- コンピューターでスキャナーの解像度を低く設定してスキャンしてください。
- WSD スキャン以外の方法でスキャンしてください。

ファイル名が重複するため書き込めません

USB メモリーまたはフォルダー内に保存しようとしたファイル名と同一名のファイルが存在します。USB メモリーまたはフォルダー内のファイルを移動または削除してください。【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

ファイルを選択してください

USB メモリーからの印刷またはパスワード印刷でファイルを選択せずに印刷しようとしていました。

ファクスエラー

ファクスユニットにエラーが発生しました。一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。再度発生したときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

ファクス以外のモードで使用する場合は、【OK】 ボタンを押すと、操作が続行できます。

[178 ページ「お問い合わせ先」](#)

ファクス印刷可能な用紙がありません

受信ファクスを印刷できるサイズの用紙がセットされていません。A3、B4、A4、B5 サイズの用紙をセットするとメッセージが消えて印刷を開始します。

このメッセージは [全ワーニングクリア] を実行しても消えません。

ファクス開始できません**PC-FAX ソフトウェアで使用可能です**

ファクスの受信中または PC-FAX 操作中はファクス送信ができません。受信終了後または PC-FAX 終了後に送信を行ってください。

ファクス画像データエラーxx

または

ファクスデータが異常です

受信データまたは処理中に問題が発生したため、受信が正常にできませんでした。

頻繁に発生するときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

[178 ページ「お問い合わせ先」](#)

ファクス機能診断実行中です

終了してから操作してください。

ファクス受信中

ファクスを受信しています。

ファクス送信できませんでした

送付先との通信ができないために送信できません。しばらく待ってから送信してください。また、送付先の番号が正しいか確認してください。

ファクス通信エラー

ファクスの送受信中にエラーが発生しました。

【OK】 ボタンを押すとエラーは解除されます。

ファクスメモリー不足です

ファクスのメモリー不足で送受信できません。蓄積しているジョブが処理されてから送受信してください。

フォルダーの容量不足で書き込めません

フォルダーの空き容量不足で書き込みに失敗しました。

【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

フォルダーライトエラー

フォルダーへの書き込みに失敗しました。【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

フォルダーを選んでください

スキャンデータの保存先が設定されていません。

プリンターエラー

プリンター部にエラーが発生しました。

再度実行しても発生するときは、一旦主電源を切って、数分後に主電源を入れます。

プリンター情報シート印刷中

プリンターの設定状態を印刷しています。

プリンター調整中

良好な印刷品質を保つための調整に入りました。このまましばらくお待ちください。印刷中にこの状態になると、印刷を中断し、調整が完了すると自動的に印刷を再開します。

プリンターの電源が入っていません

プリンター部の電源が入っていません。
一旦電源を切って、専用プリンターケーブルの接続を確認してください。数分後にプリンター部の電源を入れてから主電源を入れます。

プリンター冷却中

連続印刷などで定着ユニットの温度が上がっています。定着ユニットが既定温度まで下がると自動的に印刷を再開します。

プリントしています

本製品の内部に残っている印刷データを印刷中です。

ページ連写が設定されています

[ページ連写] が [する] に設定されている状態で [原稿サイズ] または [用紙] を変更しようとした。

ページ連写は原稿台から行ってください

ADF からのページ連写コピーはできません。原稿台に原稿をセットしてください。

ページ連写を設定したため、ID カードコピーを解除しました

[ID カードコピー] が [する] の状態で [ページ連写] を [する] に設定したため、ID カードコピーの設定を解除しました。

ページ連写を設定したため割り付けを解除しました

[割り付け] が [する] の状態で [ページ連写] を [する] に設定したため、割り付けの設定を解除しました。

ヘキサダンプ

プリンターが HEX DUMP MODE になっています。
電源を入れ直すと通常のモードに戻ります。

保存先フォルダーへの書き込みテスト

保存先フォルダーへの書き込みテストの結果をお知らせします。正常に終了しなかった場合は、エラーが発生した項目 (認証 /DNS/ 接続) を表示します。

保存先フォルダーへの書き込みテスト中

保存先設定の接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。

本体寿命です

プリンターの寿命です。

本体寿命間近

プリンターの寿命が近づいています。

未入力です 入力してください

メールアドレス登録、フォルダーパス登録でアドレスなどでパスを入力せずに【OK】ボタンを押しました。

メールサーバー接続テスト

メールサーバーとの接続テストの結果をお知らせします。正常に終了しなかった場合は、エラーが発生した項目 (認証 /DNS/ 接続) を表示します。

メールサーバー接続テスト中

メールサーバーとの接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。

メール送信エラー

メールが送信できませんでした。メール設定を確認して、接続テストしてください。

メール送信テスト

メール送信テストの結果をお知らせします。正常に終了しなかった場合は、エラーが発生した項目 (認証 /DNS/ 接続) を表示します。

メール送信テスト中

メール設定の接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。

メモリー不足で印刷できません

処理に必要なメモリーがないため印刷ができません。[閉じる] を押すと、エラーが発生したページを印刷して処理を続けます。

メモリー不足で印刷できませんでした

または

メモリー不足で実行できません

処理中にメモリー不足またはメモリーに対する不正な処理が発生したため印刷ができなくなりました。

 14 ページ [自動エラー解除]

[自動エラー解除] - [しない] (初期値) の場合 :

以下のいずれかの処置をしてください。

- 印刷を継続するには、【OK】ボタンを押します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。
- 印刷を中止するには、【ストップ】ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

[自動エラー解除] - [する] の場合 :

一定時間 (5 秒) 後にエラー状態が解除され、印刷を続けます。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。

改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置をしてください。

- プリンタードライバーで [印刷品質] を [はやい] に設定する。

- プリンタードライバーの [ユーティリティー] - [拡張設定] - [制御コード体系] で [ESC/PageS Printing System] を選択している場合は、[データ圧縮方法] で [データサイズ優先] を選択する。
- アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げるか、保存 (圧縮) 形式を変更してデータ容量を減らす。
- 使用していないインターフェイスを使わない設定にする。
 - ☞ 16 ページ [USB I/F]
 - ☞ 17 ページ [ネットワーク I/F]
- RAM ディスクを使用しない設定 (初期値) にする。
 - ☞ 15 ページ [RAM ディスク]

メモリー不足で部数印刷できませんでした

部数印刷するのに必要な空きメモリー容量がありません。

メモリー不足で両面印刷できませんでした

両面印刷するのに必要な空きメモリー容量がないため、おもて面のみを印刷して排紙しました。

以下のいずれかの処置をしてください。

- 片面印刷で印刷を継続するには、表面のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、【OK】 ボタンを押します。
- 印刷を中止するには、【ストップ】 ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置をしてください。

- プリンタードライバーで [印刷品質] を [はやい] に設定する。
- アプリケーションソフトのマニュアルを参照して解像度を下げるか、保存 (圧縮) 形式を変更してデータ容量を減らす。
- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを使わないように設定する。
 - ☞ 16 ページ [USB I/F]
 - ☞ 17 ページ [ネットワーク I/F]
- RAM ディスクを [なし] にする。
 - ☞ 15 ページ [RAM ディスク]

メンテナンスユニット x の交換時期が近付きました

「x」に表示されているメンテナンスユニットの交換時期が近付きました。「メンテナンスユニットを交換してください」と表示されるまで、印刷は継続できます。

メンテナンスユニット x を交換してください

「x」に表示されているメンテナンスユニットを交換してください。販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ [お問い合わせ先]

エラーランプ消灯^{*1}：印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。

エラーランプ点滅：【OK】 ボタンを押すと印刷は継続できますが、印刷品質は保証できません。印刷中のジョブをキャンセルするとエラー解除できます。

モノクロコピー中

モノクロコピーをしています。

モノクロスキャン中

モノクロでスキャンしています。

モノクロファクススキャン中

モノクロのファクスデータをスキャンしています。

モノクロファクス送信中

モノクロデータとしてファクスを送信しています。

モノクロファクス送信待機中

モノクロファクスの送信開始待ち状態です。

有効な画像領域が設定されていません

【用紙】【倍率】【とじしろ】【影消し】の設定値が正しくないため、スキャンできません

【OK】 ボタンを押すとエラーを解除します。

用紙カセット x をセットしてください

「x」に表示されている用紙カセットを正しくセットしてください。

用紙サイズ設定エラー

セットした用紙サイズと、パネル設定での用紙サイズが合っていません。

正しいサイズの用紙をセットしてから、詰まった用紙を取り除いてください。

用紙サイズを確認してください

ファクス印刷時、給紙装置の用紙サイズ設定とは異なるサイズの用紙が給紙装置にセットされていました。

各給紙装置にセットしている用紙のサイズと、【各種設定】ボタン - [プリンター設定] - [給紙装置設定] で設定した用紙サイズを確認してください。

☞ 19 ページ [給紙装置設定]

用紙タイプを確認してください

印刷時に設定した用紙サイズと用紙タイプの両方が一致する給紙装置が見つからないため、用紙サイズが優先され、設定とは異なる用紙タイプの用紙に印刷しました。

用紙の選択を自動にしたため倍率を定形倍率 100% にしました

【倍率】が [自動] または [任意] に設定されている状態で【用紙】を [自動] に設定したため、【倍率】の設定が [100%] に変更されました。

用紙を A4 か B5 に変更してください

ページ連写コピー時は、[用紙] の設定を A4 または B5 サイズの用紙がセットされた給紙装置にしてください。

☞ 70 ページ「ページ連写」

用紙を A3,B4,A4,B5,A5,A6 に変更してください

割り付けコピーや ID カードコピー時は、[用紙] の設定を A3、B4、A4、B5、A5、A6 のいずれかのサイズがセットされた給紙装置にしてください。

☞ 68 ページ「割り付け」

☞ 70 ページ「ID カード」

用紙を交換してください xxxxx yyyy

給紙をしようとした給紙装置「xxxxx」にセットされている用紙サイズまたはタイプ（種類）と、印刷する用紙サイズまたはタイプ（種類）「yyyy」が異なります。

☞ 14 ページ「自動エラー解除」

[自動エラー解除] - [しない]（初期値）の場合：

以下のいずれかの処置をしてください。

- 指定した用紙に印刷するには、給紙装置「xxxxx」にサイズまたはタイプ（種類）「yyyy」の用紙をセットし直して、【OK】 ボタンを押します。
☞ 33 ページ「用紙のセット」
- セットされている用紙に印刷するには、【OK】 ボタンを押します。
- 印刷を中止するには、【ストップ】 ボタンを押して、ジョブ操作選択で中止します。

[自動エラー解除] - [する] の場合：

一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に印刷します。

用紙をセットしてください xxx yyy

指定したサイズの用紙がどの給紙装置にもセットされていません。または全ての給紙装置に用紙がセットされていません。xxx で表示される給紙装置に yyy で表示されるサイズの用紙をセットしてください。

または、以下のときに表示されます。

- 【各種設定】 ボタン - [プリンター設定] - [デバイス設定] - [A4/LT 切り替え] が [する] に設定されている。
- プリンタードライバーで A4 サイズを指定して印刷を開始したときに、操作パネルの [給紙装置設定] で A4 または LT（A4 の代替用紙サイズ）に設定された給紙装置がない。
- プリンタードライバーでレターサイズを指定して印刷を開始したときに、操作パネルの [給紙装置設定] で LT または A4（LT の代替用紙サイズ）に設定された給紙装置がない。

予熱モード中

予熱状態になっています。

予熱モードに移行する時間は【各種設定】 ボタンを押し、[共通設定] - [省電力設定] - [予熱モード移行時間] で変更できます。

リセット オール

印刷を中止後、本製品の主電源を入れた直後の状態まで初期化し、全てのインターフェイスに対してメモリーに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。

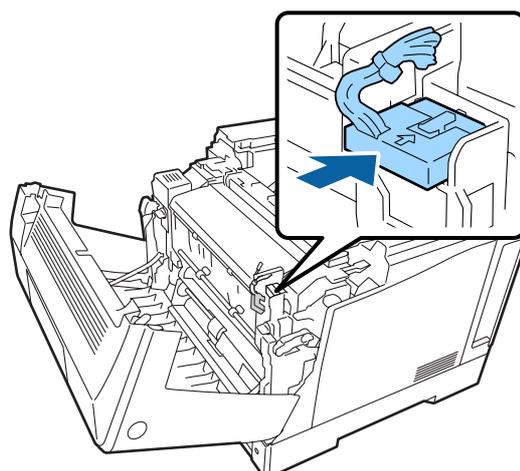
リセット**設定変更を有効にするために再起動しますか？**

[する] を選択すると、変更した設定が有効になります。

両面印刷ユニットエラー

両面印刷ユニットに関する機械的なエラーが発生しました。

両面印刷ユニットのコネクターが正しく取り付けられているか確認し、本製品の主電源を入れ直してください。



電源を入れ直してもエラーが解除されないときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

レポート印刷開始できません

ファクス受信中、オンフック中、およびデータ印刷中にレポートは印刷できません。動作終了後に実行してください。

レポート印刷できません

ファクス通信管理レポートを印刷しましたが、送受信ファクスの記録がないため印刷できませんでした。

レポートがあるためファクスできません

ファクス電源オフレポートの出力中のため、送信できません。レポートが出力された後に送信してください。

割り付けが設定されています

[割り付け] が [する] の状態で [原稿サイズ] または [用紙] を変更しようとしたとき。

割り付けを設定したため、ID カードコピーを解除しました

[ID カードコピー] が [する] に設定されている状態で [割り付け] を [する] に設定したため、[ID カードコピー] の設定が解除されました。

割り付けを設定したためページ連写を解除しました

[ページ連写] が [する] の状態で [割り付け] を [する] に設定したためページ連写の設定を解除しました。

本製品の状態や設定を確認したい

現在の本製品の状態や設定値を確認したいときは、ステータスシート（レポート）を印刷します。ステータスシートは、本製品の操作パネルまたはプリンタードライバーから印刷できます。

[13 ページ](#) [レポート印刷]

参考

- プリンター情報シート、消耗品情報シート、使用履歴シートはプリンタードライバーからも印刷（Windows では [ユーティリティ] - [ステータスシート印刷]）できます。
- プリンターの状態（消耗品残量など）は、[状態確認] ボタンを押して [機械状態] メニューからも確認できます。
[29 ページ](#) [機械状態] メニュー

プリンター情報シート

ハードウェア環境や給紙装置の設定などが確認できます。以下のようなときに印刷すると有効です。

- セットアップしたとき
- 本製品が正常に動作するか確認したいとき
- 本製品の状態・設定内容を確認したいとき
- オプションを取り付けたとき（正しく取り付けられるとその情報が反映されます）

消耗品情報シート

消耗品の使用状況が確認できます。

以下のようなときに印刷すると有効です。

- 消耗品を交換したとき
- 消耗品の残量を確認したいとき

使用履歴シート

本製品の使用状況が確認できます。

以下のようなときに印刷すると有効です。

- プリンターやスキャナーの使用状況を確認したいとき

- 各印刷内容の総印刷枚数を確認したいとき

ネットワーク情報シート

ネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。MAC アドレスや、IP アドレスなどネットワークインターフェイスの設定状況を確認したいときに、印刷すると有効です。

ステータスシートは以下の手順で印刷します。

- 1 A4 サイズの用紙をセットします。
- 2 操作パネルの [各種設定] ボタンを押してメニューを表示させます。
- 3 [システム情報] - [レポート印刷] を選択します。
- 4 [▲] [▼] ボタンでシートを選択して [OK] ボタンを押します。

詰まった用紙を取り除きたい

用紙が詰まると、操作パネルやコンピューターの画面（EPSON ステータスマニタがインストールされている場合）にエラーメッセージが表示されます。

表示箇所の意味は以下です。

表示	意味	作業の概要
MP A	MP トレイ A レバー	AレバーでカバーAを開けて紙を取り除く ☞ 107 ページ「MP A(MP トレイ / A レバー)」
Cx	カセットx	用紙カセットに詰まった紙を取り除く（複数表示された場合は、下の段から順に確認してください） ☞ 108 ページ「C1 ~ C3 (カセット)」
B E	B ボタン E レバー	B ボタンでカバーAを開け、リリースレバー解除後、E レバーを開けて紙を取り除く ☞ 109 ページ「B E(B ボタン / E レバー)」

詰まった用紙を取り除く際は、以下の点に注意してください。

- カバー A を開けて用紙を取り除く際、A レバー、B ボタンを同時に操作しないでください。ヒンジを破損するおそれがあります。
- 転写ユニットの用紙分離爪に手を触れたり、こすったり、物をぶつけたりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないよう全て取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まって取り除けない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

☞ 178 ページ「お問い合わせ先」

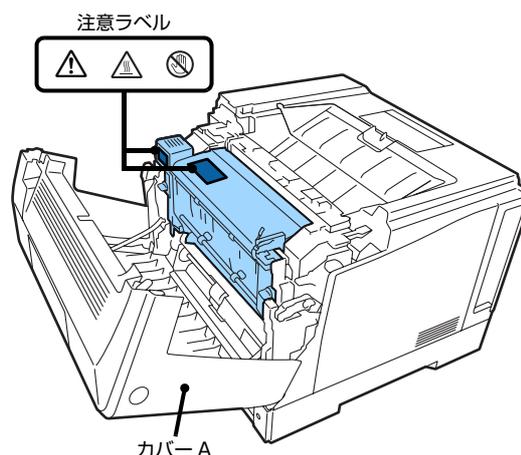
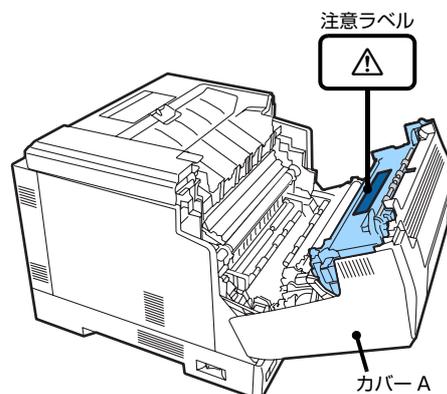
また、紙詰まりが頻繁に発生する場合は、プリンターの設置や用紙のセット方法に問題がある可能性があります。

以下を参照してください。

☞ 112 ページ「正しく給紙できない」

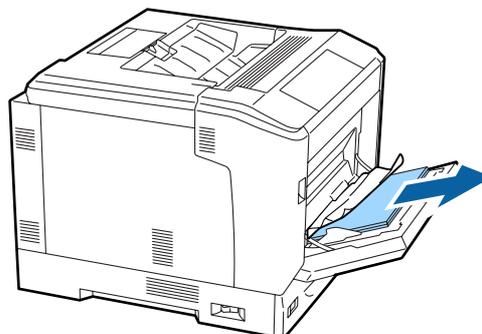
⚠ 注意

使用中にプリンターのカバー A を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

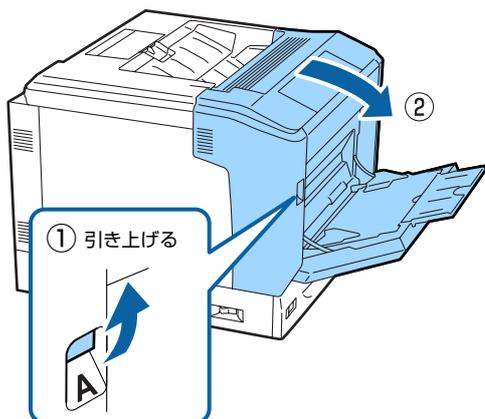


MP A(MP トレイ / A レバー)

- 1 セットされている用紙を取り出します。



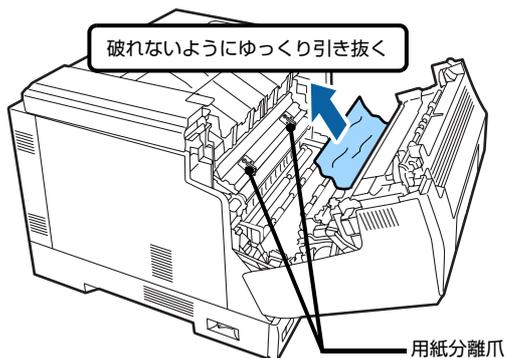
- 2 Aレバーでカバー A を開けます。



！重要

カバー A は必ず A レバーで開けてください。
B ボタンで開けると詰まっている紙がさらに詰まって、取り除けなくなることがあります。

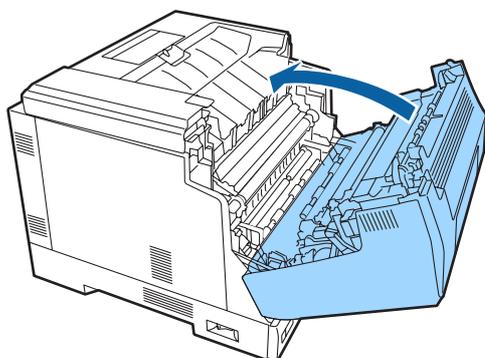
- 3 詰まっている用紙を取り除きます。



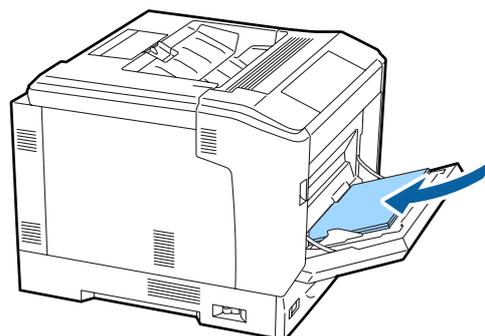
！重要

転写ユニットの用紙分離爪に手を触れたり、こすったり、物をぶつけないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

- 4 カバー A を閉めます。



- 5 用紙をセットします。



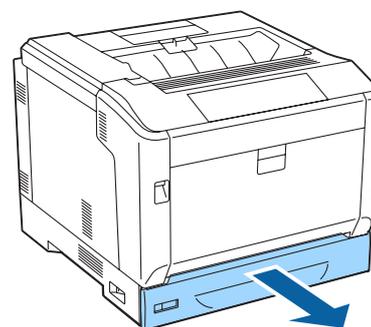
C1 ~ C3(カセット)

単独カセット(Cxのみ)の場合

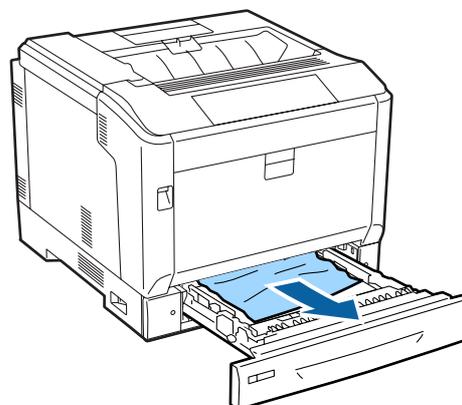
ここでは用紙カセット 1 (C1) を例に説明します。他のカセットも同様の手順で用紙が取り除けます。複数の用紙カセットが表示されているときは以下を参照してください。

[109 ページ「複数カセット \(Cx Cx など\) の場合」](#)

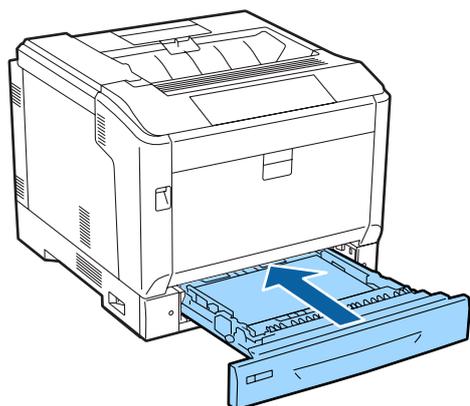
- 1 カセットを引き出します。



- 2 詰まっている用紙を取り除きます。



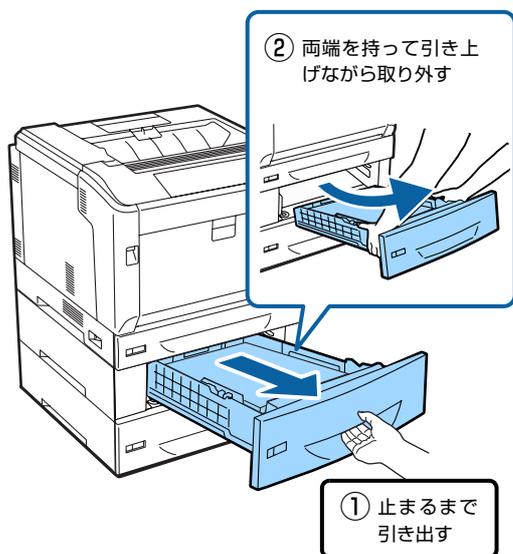
3 用紙カセットをセットします。



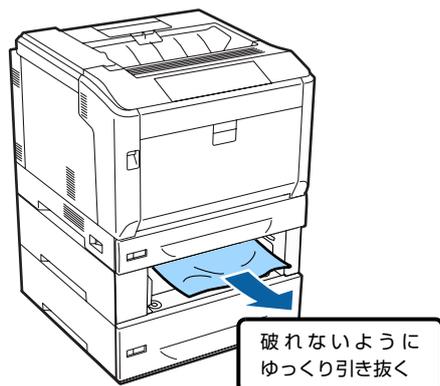
複数カセット(Cx Cx など)の場合

複数の用紙カセットが表示されているときは、下の段から順に確認します。ここでは「C1 C2」と表示された場合を例に説明します。他のカセットも同様の手順で用紙が取り除けます。

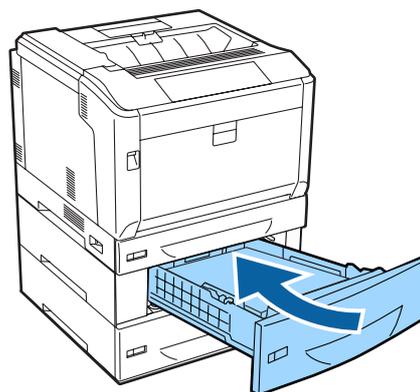
1 下段のカセット(この場合は C2)を取り外します。



2 詰まっている用紙を取り除きます。



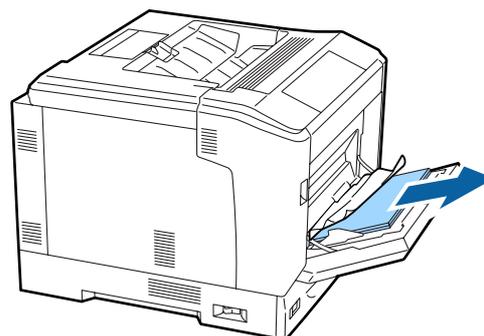
3 カセットをセットします。



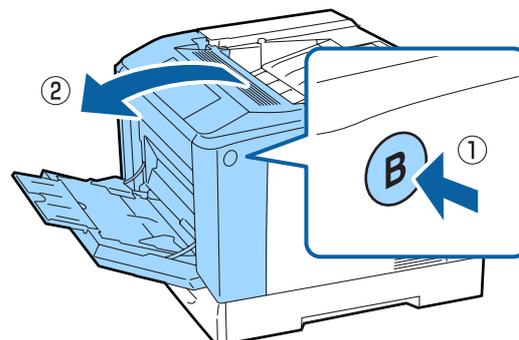
4 上段のカセット(この場合は C1)に詰まっている用紙を、同様の手順で取り除きます。

B E(B ボタン/Eレバー)

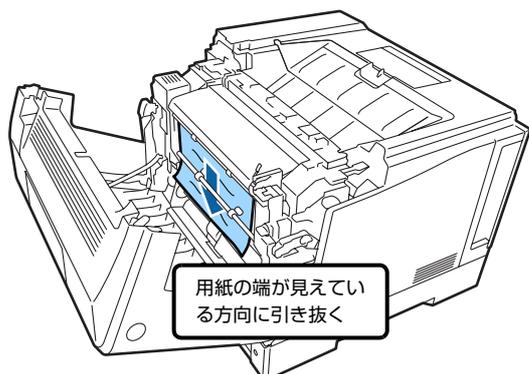
1 セットされている用紙を取り出します。



2 B ボタンでカバー A を開けます。

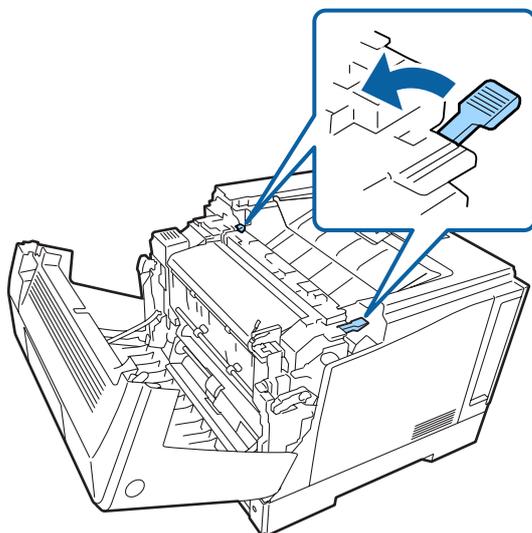


3 詰まっている用紙を取り除きます。

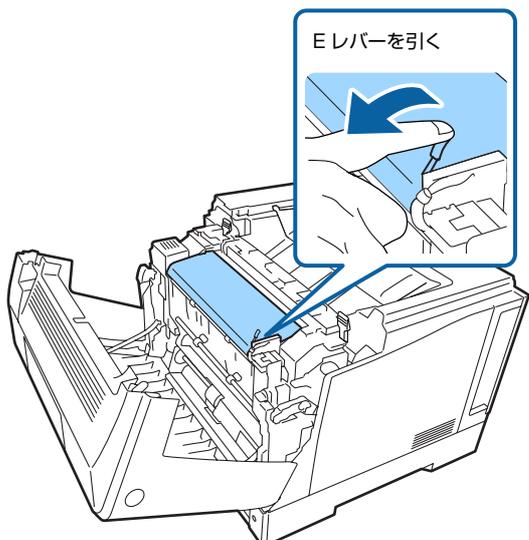


用紙が取り除けたら 9 に進んでください。

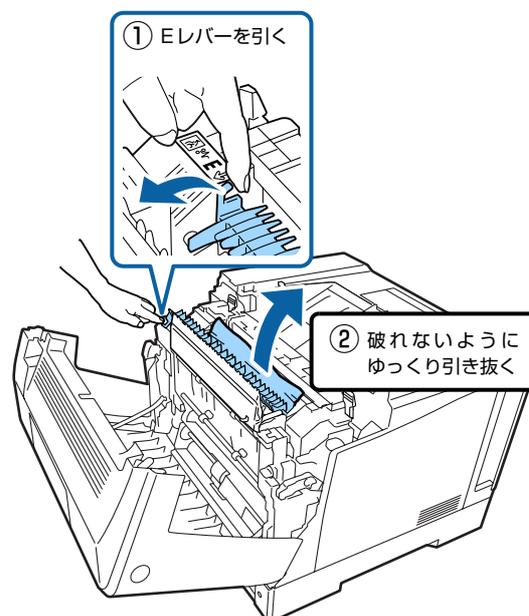
4 リリースレバーを解除します。



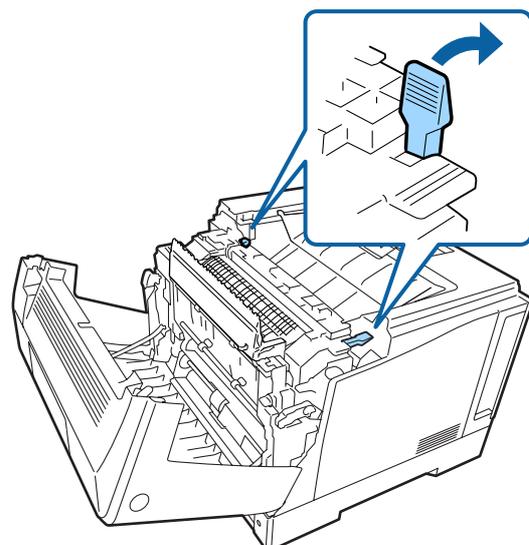
5 両面印刷ユニットのカバーを開けます。



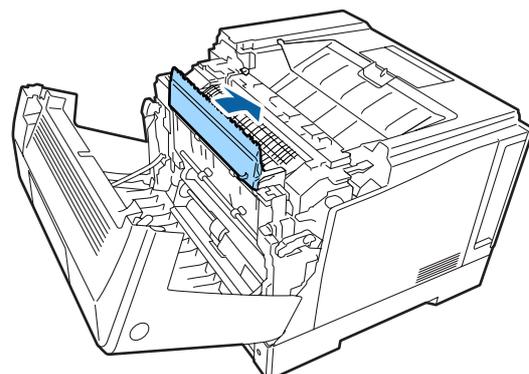
6 定着ユニットのカバーを開けたまま、詰まった用紙を取り除きます。



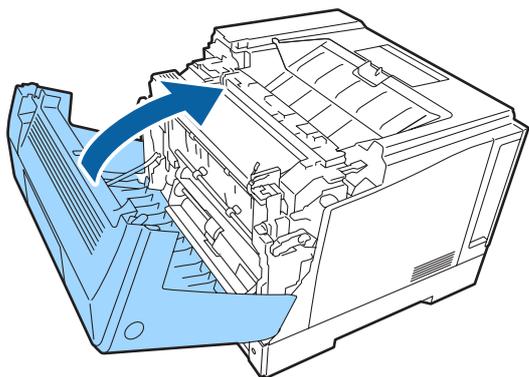
7 リリースレバーを元に戻します。



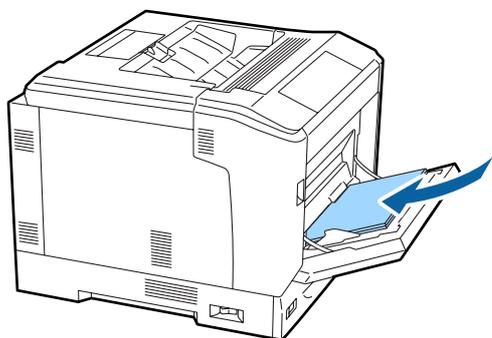
8 両面印刷ユニットのカバーを閉めます。



9 カバー A を閉めます。



10 用紙をセットします。

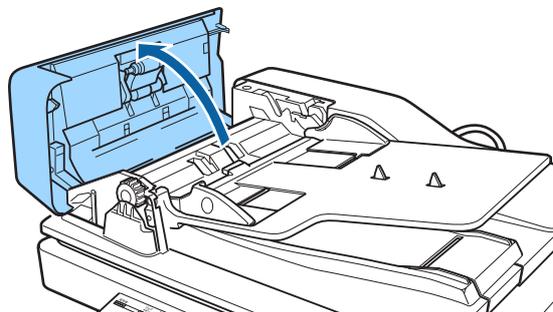


この作業をしてもまだエラーが解除されないときは、A レバーを操作してカバー A を開け、詰まった用紙を取り除いてください。

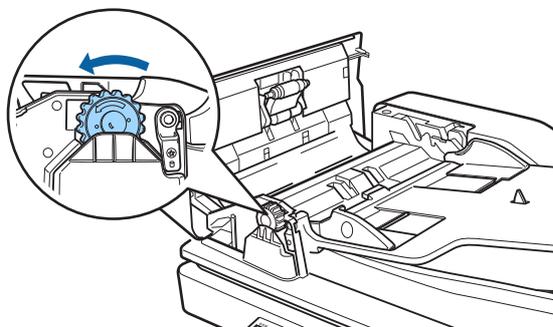
 107 ページ「MP A (MP トレイ / A レバー)」

ADF

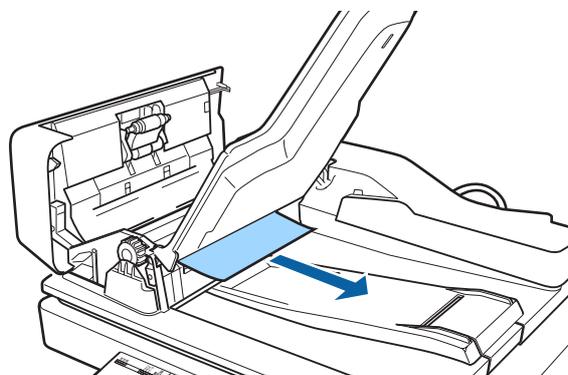
1 ADF カバーを開けます。



2 紙送りダイヤルを左に回転させて原稿を送り出します。



3 原稿が完全に排出されたら取り除きます。



4 ADF カバーを閉めます。

正しく給紙できない

エプソンのホームページにある「よくあるご質問 (FAQ)」も併せてご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

原因	対処方法
用紙ガイドの位置がずれている	MPトレイや用紙カセットの用紙ガイドを、用紙サイズ（用紙端）に合わせてください。
給紙装置の選択が間違っている	プリンタードライバーの [給紙装置] を正しく設定してください。
セットしている用紙と、操作パネルやプリンタードライバーの設定が異なっている	セットした用紙と [用紙サイズ] や [給紙装置] などの設定を合わせてください。
用紙がくっついている	複数枚の用紙が重なって給紙されるときは、用紙をよくさばいてください。特殊紙は 1 枚ずつセットしてください。
増設カセットユニットが正しく取り付けられていない	『セットアップガイド』（冊子）の手順に沿って正しく取り付けてください。
プリンタードライバーがオプションを認識していない	Windows : ① [スタート] - [デバイスとプリンター] をクリック ② 本製品のアイコンを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選択 ③ [オプション設定] 画面の [プリンター情報] で [プリンターから取得] をチェック ④ [取得] をクリック オプションの情報が認識されます。 Mac OS X : [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] で本製品を追加し直すと、情報が更新されます。または、[オプションとサプライ] で [ドライバ] タブをクリックすると、オプションの装着状態の確認や変更ができます。
セットしている用紙が多すぎる	セット可能枚数以下にしてください。 ☞ 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」
用紙カセットが正しくセットされていない	標準の用紙カセットやオプションの増設カセットユニットを正しくセットしてください。また用紙ガイド位置が正しいか確認してください。 ☞ 33 ページ「用紙のセット」 セットした後はプリンター情報シートを印刷して、用紙カセットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。 ☞ 106 ページ「本製品の状態や設定を確認したい」
給紙ローラーが汚れている	給紙ローラーをクリーニングしてください。 ☞ 143 ページ「給紙ローラーのクリーニング」
排紙トレイ上の用紙が多すぎる	排紙トレイの保持容量は普通紙 250 枚 (64g/m ² 紙換算) までです。排紙トレイ上の用紙を取り除いてください。
対応していない用紙をセットしている	対応している用紙（サイズや種類）を確認してください。 ☞ 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」 対応している用紙を正しくセットしてください。

ADF から正しく給紙できない

原因	対処方法
ADF から給紙できない用紙を使用している	ADF で読み取りできる種類とサイズ（定形紙）の用紙をセットしてください。 👉 41 ページ「読み取りできる原稿」
ADF ガイドが原稿に合っていない	ADF ガイドを原稿サイズに合わせてください。
ADF 原稿ガイドの▼マークを越えて原稿をセットしている	▼マークを越えない量の原稿をセットしてください。
ADF の内部にホコリやゴミが付着している	以下を参照してお手入れをしてください。 👉 148 ページ「ADF のクリーニング」

電源と操作パネルのトラブル

正常に起動しない

原因	対処方法
電源コードが抜けているか緩んでいる	<p>まず、コードやケーブルが確実に挿し込まれているか確認してください。</p> <p>①専用プリンター電源コード：プリンター部とコントローラーボックスに正しく接続されているか</p> <p>②電源コード：プリンターをコンセントに正しく接続されているか</p> <p>③専用プリンターケーブル：プリンター部とコントローラーボックスに正しく接続されているか</p> <p>接続の確認ができれば以下の順番で電源スイッチを入れてください。</p> <p>④プリンター部の電源スイッチ</p> <p>⑤主電源スイッチ</p> <p>接続の確認と方法は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。</p>
プリンター部か主電源のどちらか、または両方のスイッチが入っていない	
プリンター部とコントローラーボックス間で、専用プリンター電源コードまたは専用プリンターケーブルが抜けているか緩んでいる	
専用スキャナーケーブルが抜けているか緩んでいる	<p>スキャナーユニット背面とコントローラーボックス背面のコネクターに、専用スキャナーケーブルを確実に挿し込んでください。</p> <p>抜けていたり緩んでいる状態で電源を入ると、以下のような現象が発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スキャナーユニット左側面にある輸送用固定ロックが解除されていても、パネルに「スキャナロックエラー」と表示される パネルに1分以上「EPSON」と表示される プリンター部は起動するが、パネルに何も表示されない <p>接続の確認と方法は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。</p>

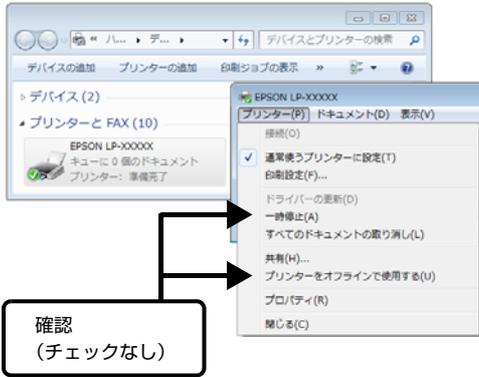
操作パネルのボタンが効かない

原因	対処方法
節電モードになっている	節電ランプが点灯しているときは、【節電】ボタンを押して、節電モードを解除してください。

印刷できない

エプソンのホームページにある「よくあるご質問 (FAQ)」も併せてご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

原因	対処方法
節電モードになっている	節電ランプが点灯しているときは、【節電】ボタンを押して、節電モードを解除してください。
エラーが発生している	操作パネルのエラーランプが点灯し、エラーメッセージが表示されているときは、以下を参照して対処してください。 📄 93 ページ「操作パネルにメッセージが表示されている」
インターフェースケーブルが適切でないか、正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> 本製品とコンピューターの仕様に合致したケーブルで、2つを正しく接続してください。 ケーブルが断線していないことや変に曲がっていないことなどを確認してください。
プリンタードライバーが正しくインストールされていない	お使いの OS 用のプリンタードライバーをインストールし直してください。 📄 92 ページ「ソフトウェアの削除とインストール」
プリンターの選択が間違っている	プリンター名が変更されている可能性があります。システム管理者などに正しいプリンター名を尋ね、その名称のプリンターを選択してください。
プリンターが一時停止またはオフラインになっている (Windows)	<p>印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンターまたはプリントマネージャーのステータスが「一時停止」になります。このままの状態でも印刷を実行しても印刷されません。</p> <p>① [スタート] - [デバイスとプリンター] をクリック</p> <p>② 本製品のアイコンを選択し、[印刷ジョブの表示] - [プリンター] メニューを開き、[一時停止] または [プリンターをオフラインで使用する] にチェックが付いていたら外す</p> 
印刷データの容量が大きすぎる	<p>容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピューターのメモリーを増設する プリンタードライバーの [印刷品質] の設定を [はやい] (300dpi) にする 使用していないインターフェイスを使わない設定にする 📄 16 ページ「USB I/F」 📄 17 ページ「ネットワーク I/F」 RAM ディスクを使用しない設定 (初期値) にする 📄 15 ページ「RAM ディスク」

縦横交互排紙ができない

原因	対処方法
用紙のセットや設定が間違っている	交互排紙では、2つの給紙装置から交互に用紙を給紙して印刷します。そのため、横置きと縦置きできる用紙（A4/LT）以外ではできません。セットした用紙のサイズと向きを操作パネルで設定し、プリンタードライバーで交互排紙を指定します。 詳細な手順は以下をご覧ください。 🔗 36 ページ 「1 部ずつ縦横交互に排紙する」

パスワード印刷ができない

原因	対処方法
パスワード印刷用のメモリーが確保されていない	RAM ディスクを確保してください。設定を変更したらプリンターの電源を入れ直してください。 🔗 15 ページ 「RAM ディスク」
RAMディスクに65個以上のジョブを保存している	<ul style="list-style-type: none"> 保存されているジョブを印刷するか削除してください。 RAM ディスクの容量を [最大] にしてください。 🔗 15 ページ 「RAM ディスク」

コピーできない

原因	対処方法
ADFから連続カラーコピーまたは部単位コピーしている（処理データが大きい）	以下の方法で、処理データを減らしてみてください。 <ul style="list-style-type: none"> カラーコピーを数回に分ける [画質設定] の [カラー原稿] を [高精細] 以外の設定にする 🔗 67 ページ 「カラー原稿」
RAM ディスクが [最大] [標準] に設定されている（メモリー容量が小さい）	以下の方法で、データ処理用のメモリーを増やしてみてください。 <ul style="list-style-type: none"> RAM ディスクを使用しない設定（初期値）にする 🔗 15 ページ 「RAM ディスク」

印刷結果のトラブル

エプソンのホームページにある「よくあるご質問 (FAQ)」も併せてご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

印刷品質が悪い

薄い、濃い、かすれる、汚いなど、印刷の品質に問題があるときは以下を確認してください。

原因	対処方法
用紙が適切ではない	本製品で印刷できる用紙か確認し、対応している用紙に印刷してください。 ☞ 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」
用紙が湿気ている、または乾燥しすぎている	用紙を交換して印刷してみてください。
[用紙種類] の設定が間違っている	プリンタードライバーや操作パネルの設定を、セットした用紙に合わせてください。 ☞ 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」
トナーセーブ状態になっている	トナーセーブは、トナーを節約して印刷するため、通常の印刷に比べ品質が低下します。試し印刷など、印刷品質を問わない印刷に適しています。 操作パネルまたはプリンタードライバーでトナーセーブモードを解除してください。 ☞ 20 ページ「トナーセーブ」 Windows では [応用設定] - [画像処理設定] - [トナーセーブ] のチェックを外してください。
プリンタードライバーの [印刷品質] の設定が [きれい] (300dpi) になっている	きれいに印刷したいときは、[印刷品質] を [きれい] (600dpi) に設定してください。線描画をより精細にしたいときは、[印刷品質] - [詳細設定] で品質優先の度合いを上げてください。ただし、複雑な印刷データではメモリー不足で印刷できない場合があります。このようなときは、[印刷品質] を [きれい] (300dpi) に戻してください。
用紙経路が汚れている	用紙が汚れる場合は、給紙ローラーをクリーニングしてください。 ☞ 143 ページ「給紙ローラーのクリーニング」
高地で使っている	標高が高い場所でのご使用時は、[プリンター調整機能] メニューの [Highland] の値を変更してください。 ☞ 157 ページ「[プリンター調整機能] メニュー」
エプソン製以外の消耗品を使っている	本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製品以外のものご使用になると、プリンター本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンター本体の性能が発揮できないことがあります。トナーカートリッジはエプソン製品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。 ☞ 160 ページ「消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧」
消耗品が劣化または損傷している、寿命が近い	数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものと交換してみてください。 ☞ 132 ページ「消耗品の交換」
プリンター内部が結露している	プリンターと空気の温度差で結露が発生します。冬の低温環境で暖房を入れると、暖まった空気がプリンターに触れて水蒸気が付着して結露します。 [節電移行時間] を 60 分に設定して電源を入れたまま放置し、プリンターが十分に温まってから印刷してみてください。

バーコードが読み取れない

原因	対処方法
プリンタードライバーの [印刷品質] の設定が [はやい] (300dpi) になっている	[きれい] (600dpi) または [詳細設定] をクリックして品質優先の度合いを上げて印刷してください。

コピー品質が悪い

薄い、濃い、かすれる、汚いなど、コピー品質に問題があるときは以下を確認してください。

原因	対処方法
ADF や原稿台、給紙経路が汚れている	きれいにしてください。 ☞ 143 ページ「給紙ローラーのクリーニング」 ☞ 148 ページ「ADFのクリーニング」 ☞ 149 ページ「原稿台のクリーニング」
原稿や原稿カバーを押さえてコピーするときの力が強すぎる	原稿や原稿カバーを強く押さえないようにしてください。
文字や写真がかすれている原稿や色の薄い原稿をコピーした	[基本設定] で [濃度] を上げてみてください。きれいにコピーできる場合があります。 ☞ 66 ページ「濃度」
[原稿タイプ] の設定が原稿に合っていない	[画質設定] の [カラー原稿] または [モノクロ原稿] で、コピーする原稿のタイプを選択してください。 ☞ 67 ページ「カラー原稿」 ☞ 67 ページ「モノクロ原稿」
コピーの色合い (カラーバランス) が調整されていない	[画質設定] の [その他] で、[コントラスト] (明暗) と [カラーバランス] (RGB) を調整してみてください。 ☞ 67 ページ「その他」
温湿度環境や経年で、工場出荷時のカラー調整状態に狂いが生じた	以下の手順でカラーキャリブレーション (本来の色合いで印刷されるように調整すること) をしてみてください。 ①【各種設定】 ボタンを押し、[コピー設定] - [カラーキャリブレーション] で [開始] を選択します。 ②用紙をセットし、キャリブレーションパターンを印刷します。 ③印刷したキャリブレーションパターンをスキャンします。 ④調整が完了するまで、②と③を繰り返します。

コピー品質が悪い原因としては以下の要因も考えられます。

- 用紙が適切ではない
- 用紙が湿気ている、または乾燥している
- 高地で使っている
- エプソン製以外の消耗品を使っている
- 消耗品が劣化または損傷している、寿命が近い
- プリンター内部が結露している

詳細は以下をご覧ください

[☞ 117 ページ「印刷品質が悪い」](#)

思い通りの印刷ができない

画像や文字が画面表示と異なる

原因	対処方法
使用できない文字が使われている	Windows の制限事項により、JIS X 0213 : 2004 で追加された以下の文字が一部の機能では使えません。 俱叱噓屏瘦剥吞妍并繫 上記の文字が使えない機能は以下です。 <ul style="list-style-type: none"> 透かし印刷 スタンプマーク プリンターフレンドリー名 ヘッダー / フッター設定で印字する際のユーザー名 パスワード印刷のユーザー名やジョブ名 EPSON ステータスマニタのジョブ情報表示
使用環境に問題がある	プリンターのテスト印刷やステータス印刷が正常にできる場合は使用環境に問題がある可能性があります。以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 適切なケーブルで、正しく接続されているか コンピューターの仕様がプリンターのシステム条件を満たしているか 🔗 151 ページ「製品仕様」

カラー印刷できない

原因	対処方法
プリンタードライバーの [カラー] の設定が [グレースケール] になっている	[カラー] にしてください。
アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていない	カラー印刷できるようにアプリケーションソフト側で設定してください。

印刷位置が画面位置と異なる

原因	対処方法
アプリケーションソフトのページ長とマージンの設定が間違っている	アプリケーションソフトでの設定を確認してください。
プリンタードライバーや操作パネルの用紙サイズの設定が間違っている	セットした用紙と設定が合っているか確認してください。 🔗 19 ページ「給紙装置設定」
印刷開始位置が変更されている	アプリケーションソフトによっては印刷開始位置（オフセット）の設定が必要です。以下を参照して設定してください。 🔗 157 ページ「[プリンター調整機能] メニュー」

部単位印刷できない

原因	対処方法
プリンタードライバーとアプリケーションソフトの両方で部単位印刷する設定になっている (Windows)	両方で設定すると、正しく部単位印刷できないことがあります。アプリケーションソフト側で設定したときはプリンタードライバーでは設定しないでください。

両面印刷の最終ページが意図した面とは反対の面に印刷される

原因	対処方法
「両面片面変換」の設定が「しない」以外になっている	「しない」に設定して印刷してください。 🔗 15 ページ「両面片面変換」

文字が化ける

原因	対処方法
ケーブルの仕様または接続に問題がある	本製品で使えるケーブルか、コンピューターと本製品が正しく接続されているかを確認してください。

フォントが印刷されない

原因	対処方法
TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えて印刷した (Windows)	プリンタードライバーの「拡張設定」 - 「指定したフォントのみプリンターフォントで印刷」のチェックを外してください。
本製品がサポートしていないフォントをアプリケーションソフト側で指定している	本製品がサポートしているフォントを指定して印刷してください。

印刷に時間がかかる

原因	対処方法
節電モードになっている	ウォームアップしてから印刷を開始するため、排紙までに時間がかかることがあります。そのままお待ちください。
プリンター調整中	良好な印刷品質を保つために、印刷中に一時停止してプリンター内部機能の自動調整を行うことがあります。調整が完了すると自動的に印刷を再開します。そのままお待ちください。
印刷に時間がかかる設定 (厚紙など) になっている	厚紙などの用紙への印刷は時間がかかります。 普通紙への印刷は、用紙種類の設定を「普通紙」にしてください。 🔗 31 ページ「印刷できる用紙とセット可能枚数」
ハガキなど幅の狭い用紙に連続印刷している	幅の狭い用紙に連続印刷すると、定着器の過熱防止のための冷却が必要になり、印刷速度が低下することがあります。
印刷データの容量が大きすぎる	容量の大きなデータを印刷しようとする、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> コンピューターのメモリーを増設する プリンタードライバーの「印刷品質」の設定を「[はやい] (300dpi) にする 使用していないインターフェイスを使わない設定にする 🔗 16 ページ「USB I/F」 🔗 17 ページ「ネットワーク I/F」 RAM ディスクを使用しない設定 (初期値) にする 🔗 15 ページ「RAM ディスク」

思い通りのコピーができない

読み取り範囲が期待と異なる

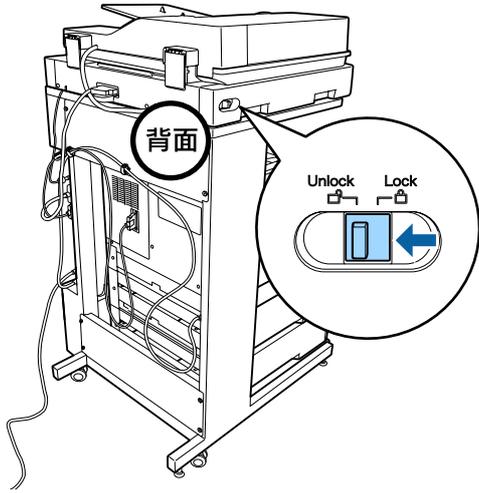
原因	対処方法
原稿台では検知できないサイズの原稿をセットした	以下のページを参照して、セットできるサイズの原稿をセットしてください。 🔗 41 ページ「読み取りできる原稿」
ADFにはセットできないサイズの原稿をセットした	
原稿のセット位置が、原稿台の原点（合わせ位置）と合っていない	原稿は必ず原点（合わせ位置）に合わせてセットしてください。 🔗 43 ページ「原稿台にセット」
原稿台のゴミがスキャン範囲を拡大させている	原稿台のゴミまでをスキャンの対象と察知してしまうことがあります。原稿台のゴミを取り除いてください。 🔗 149 ページ「原稿台のクリーニング」

コピーに時間がかかる

原因	対処方法
節電モードになっていた	ウォームアップしてからコピーを開始するため、排紙までに時間がかかります。
[高精細] の画質で、連続カラーコピーまたは部単位コピーをしている	データ処理に時間がかかるために動作が遅くなっています。コピーの仕方を変えると、この現象を回避できます。以下をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> • カラーコピーは数回に分ける • モノクロコピーにする • [画質設定] の [カラー原稿] または [モノクロ原稿] を、[高精細] 以外の設定にする 🔗 67 ページ「カラー原稿」 🔗 67 ページ「モノクロ原稿」

スキャンできない / 保存できない

スキャナーが動かない

原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> パネル操作中 パネル操作直後 	<p>パネルを操作すると、しばらくの間「パネル操作優先」の状態になるため、スキャナーが動きません。この状態が解除されると自動的に稼働するため、そのまましばらくお待ちください。</p> <p>パネル操作を優先させる時間（待機時間）は、【各種設定】ボタンを押し、[共通設定] - [デバイス設定] で変更できます。</p> <p>☞ 14 ページ「パネル操作優先時間」</p>
専用スキャナーケーブルが抜けているか緩んでいる	専用スキャナーケーブルが、スキャナーユニットとコントローラーボックスに確実に挿し込まれているか確認してください。接続の確認は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。
スキャナーがロックされている（輸送用固定ロックが  の位置にある）	<p>主電源を切り、スキャナーユニット左側面にある輸送用固定ロックを解除して（ の位置に動かして）ください。</p> 

Epson Scan 2 でスキャンできない

原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 本製品の電源が切られた インターフェースケーブルが抜かれた 	本製品の電源が入っていること、インターフェースケーブルが接続されていることを確認してから、スキャンしてください。
Epson Scan 2が正しくインストールされていない	<p>コンピューターとの接続が正しく、本製品の電源が入っているのにスキャナーとの接続に失敗する場合は、Epson Scan 2 を一旦削除し、再インストールしてください。</p> <p>☞ 92 ページ「ソフトウェアの削除とインストール」</p>
アプリケーションソフト（TWAIN 対応）が正しくインストールされていない	Epson Scan 2 をスキャナードライバーとして利用するアプリケーションソフト（TWAIN 対応）を一旦削除し、再インストールしてください。

共有フォルダーに保存できない(フォルダーが見つからない / 保存できない)

原因	対処方法
保存先のコンピューターに問題がある <ul style="list-style-type: none"> 電源が切れている スリープモードになっている 本製品と同じネットワークに参加 (ログイン) していない 	保存先のコンピューターの問題を解決してください。
保存先コンピューターは、複数の LAN に、1 本の LAN ケーブルで接続されており、IP アドレスを切り替えることで接続先ネットワークを切り替えられる環境にある	保存先コンピューターを本製品と同じネットワークに接続させ、それ以外のネットワークの接続は全て無効に設定してください。
保存先コンピューターのストレージ空き容量不足	保存先コンピューターのストレージ空き容量を増やしてください。
共有フォルダー名に入力ミスがある	[基本設定] で、保存先のフォルダーパスを正しく入力してください。パスは以下のように入力します。 IP アドレスで指定する：¥¥IP アドレス¥フォルダーパス ドメイン名で指定する：¥¥デバイス名+ドメイン名¥フォルダーパス 74 ページ「保存先」
共有フォルダーに接続するためのユーザー名やパスワード、DNS サーバー名に入力ミスがある	[基本設定] で、保存先フォルダーのユーザー名とパスワードを正しく入力してください。ドメイン名を付加する場合は「ドメイン名¥ユーザー名」で入力してください。 74 ページ「保存先」
DNS サーバーがないか、ドメインが登録されていない	保存先をドメイン名で指定する場合は、ネットワーク上に名前解決できる DNS サーバーが必要です。DNS サーバーやドメインの登録状況、ネットワークの状態は、管理者に問い合わせてください。DNS サーバーが有効でないときは、IP アドレスで指定してください。
共有フォルダーにアクセスする権限がない	読み書きできる権限を保存先フォルダーに付与してください。

スキャン結果のトラブル

スキャン品質が悪い

薄い、濃い、かすれる、汚いなど、スキャンの品質に問題があるときは以下を確認してください。

原因	対処方法
ADF や原稿台が汚れている	きれいにしてください。 🔗 148 ページ「ADFのクリーニング」 🔗 149 ページ「原稿台のクリーニング」
原稿や原稿カバーを押さえてコピーするときの力が強すぎる	原稿や原稿カバーを強く押さえないようにしてください。
本製品の内部が結露している	本製品と空気の温度差で結露が発生します。冬の低温環境で暖房を入れると、暖まった空気が本製品に触れて水蒸気が付着して結露します。【各種設定】ボタンを押し、[共通設定] - [節電移行時間] を 60 分に設定して電源を入れたまま放置し、本製品が十分に温まってからスキャンしてみてください。 🔗 18 ページ「節電移行時間」

画像や文字がぼやける

原因	対処方法
低い解像度でスキャンした	解像度を上げてスキャンしてみてください。
原稿に合ったスキャン設定になっていない	<p>画像がぼやける場合、露出の調整や、輪郭の強調をしてみてください。Epson Scan 2 の場合は以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 露出を調整する [拡張設定] タブの [イメージオプション] で、[画像はっきり] ラジオボタンを選択する 輪郭を強調する [拡張設定] タブで [アンシャープマスク] にチェックを付ける <p>輪郭を強調すると、モアレ（網目状の陰影）が生じることがあります。その場合は、[モアレ除去] 機能を利用してみてください。各機能の詳細は Epson Scan 2 のヘルプをご覧ください。</p> <p>文字がぼやける場合、露出を調整してみてください。モノクロ原稿の場合はしきい値も調整してみてください。Epson Scan 2 の場合は以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 露出を調整する [拡張設定] タブの [イメージオプション] にチェックを付け、[文字くっきり] ラジオボタンを選択する モノクロ原稿のしきい値を調整する [基本設定] タブの [イメージタイプ] で [モノクロ] を選択して、[拡張設定] タブの [しきい値] で調整する

原稿の色と違う / 色合いがおかしい

原因	対処方法
色味を調整していないディスプレイを使用している	ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。ディスプレイの色味を調整してください。偏った色味で表示するディスプレイでは、スキャンした画像を適切な明るさや色合いで表示させることはできません。
発色の仕組みの違い	ディスプレイの色は加法混色で表現され、原稿（紙）の色は減法混色で表現されます。発色の方法が違うため、ディスプレイと原稿の色合いには差異が生じます。
原稿に合ったスキャン設定になっていない	原稿の種類(Epson Scan 2 では[イメージタイプ])を設定してみてください。
	画像が暗いときは、明るさとコントラストを調整してみてください。 Epson Scan 2 では [拡張設定] タブをクリックすると設定画面が表示されます。

裏写りする

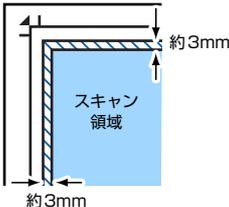
原因	対処方法
原稿が薄い	<ul style="list-style-type: none"> 裏が透けて見えるような薄い原稿は、黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台からスキャンしてください。 原稿に合った補正をしてみてください。Epson Scan 2 での補正例は以下です。 [拡張設定] タブの [イメージオプション] で、[文字くっきり] ラジオボタンを選択する
スキャンの設定が原稿と合っていない	原稿の種類(Epson Scan 2 では[イメージタイプ])を設定してみてください。

モアレ(網目状の陰影)が出る

原因	対処方法
原稿の階調（網点）とスキャンの解像度との、わずかなピッチのズレや傾きが、網目状の陰影となって視覚化した	原稿の角度を少し変えたり、向きを変えたりしてスキャンしてみてください。
	解像度を変えてスキャンしてみてください。
	明るさやコントラストなどを変えてスキャンしてみてください。スキャン後にソフトで補正するよりも画質劣化を抑制できます。
	Epson Scan 2 でスキャンする場合は、モアレの発生を防止するための [モアレ除去] 機能を使用してみてください。 機能の詳細は Epson Scan 2 のヘルプをご覧ください。

思い通りのスキャンができない

意図した範囲、向きでスキャンできない

原因	対処方法
<p>原稿台や原稿カバーに付いた汚れがスキャンされ、スキャン範囲が広がった</p>	<p>原稿台や原稿カバーにゴミや汚れが付いていないか、ご確認ください。</p>
<p>原稿台にセットした原稿が、スキャンされない範囲にかかり画像が途切れた</p> 	<p>原稿台の端にはスキャンされない範囲があります。下図を確認して、スキャン領域内に原稿をセットしてください。</p> 
<p>スキャン範囲や向きの問題ではなく、コンピューター上の表示に問題がある</p>	<p>スキャンしたデータを縮小表示してみてください。または解像度を下げてスキャンしてください。</p>

スキヤンのその他のトラブル

スキヤンに時間がかかる

原因	対処方法
節電モードになっている	ウォームアップしてからスキヤンを開始するため、スキヤンまでに時間がかかることがあります。
解像度が高い	データ処理のために動作が遅くなる場合があります。以下いずれかをお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> モノクロでスキヤンにする スキヤンモードの [読取設定] タブで解像度を下げてからスキヤンする 78 ページ [解像度]

途中でスキヤンが止まる

原因	対処方法
PDF または Multi-TIFF 形式で、大量の原稿をスキヤンしようとした	一度にスキヤンできる原稿の最大枚数は、PDF 形式で 999 枚、Multi-TIFF 形式で 200 枚です。 また、大量の原稿をスキヤンするときは、モノクロでスキヤンすることをお勧めします。
スキヤンしたデータのサイズが、制限を超えた	解像度を下げる、原稿を減らす、など、データサイズを減らしてスキヤンしてみてください。
Epson Scan 2 で、PDF を [高圧縮] で保存する設定にしている	[高圧縮] にすると通常よりも処理が増えるため、コンピューターのメモリー不足によりスキヤンできなくなることがあります。[保存形式] の詳細設定で、[カラー / グレースケール] を [標準圧縮] に設定してください。高圧縮でスキヤンする場合は、解像度を下げてください。
保存先のストレージの容量が不足している	保存先コンピューターのストレージに十分な空き容量があるか確認してください。

原稿が汚れて排紙される

原因	対処方法
ADF の内部にホコリやゴミが付着している	以下を参照してお手入れをしてください。 148 ページ [ADF のクリーニング]

ファクス送受信のトラブル

送信も受信もできない

原因	対処方法
[回線種別] の設定が電話回線と合っていない	[回線種別] と [ダイヤル種別] を、電話回線に合わせて設定してください。どちらも【各種設定】ボタンを押し、[ファクス設定] - [基本設定] で設定できます。 ☞ 23 ページ「回線種別」 ☞ 23 ページ「ダイヤル種別」
[ダイヤル種別] の設定が電話回線と合っていない	
ボーレート (通信モード) が電話回線より速い設定になっている	ボーレート (通信モード) を [9.6kbps (G3)] にしてみてください。自動送信の場合、【ファクス】ボタンを押し [応用設定] で選択します。 ☞ 87 ページ「通信モード」 手動送信の場合、【各種設定】ボタンを押し [ファクス設定] で選択します。 ☞ 25 ページ「ファクス通信モード」
ECM (エラー訂正) が無効になっている	[エラー訂正 (ECM)] を [する] にしてください。[しない] では、カラーファクスの送受信ができません。【各種設定】ボタンを押し、[ファクス設定] - [基本設定] で変更できます。 ☞ 25 ページ「エラー訂正 (ECM)」

送信できない

原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> パネル操作中 パネル操作直後 	パネルを操作すると、しばらくの間「パネル操作優先」の状態になるため、送信できません。[パネル操作優先時間] (初期値は 10 秒) が過ぎてから送信してください。 【各種設定】ボタンを押し、[共通設定] - [デバイス設定] で設定時間を変更できます。 ☞ 14 ページ「パネル操作優先時間」
<ul style="list-style-type: none"> ファクス受信中 PC-FAX 操作中 	受信終了後または PC-FAX 操作終了後に送信してください。
番号が違う	送信先の番号を正しく入力して送信してください。宛先帳から選択した場合は、登録されている番号が間違っていないか確認してください。
自局情報なしで発信した	操作パネルで [自局情報] を設定し、非通知設定を解除してから発信してみてください。自局情報なしや番号非通知での発信を受け付けない送信先もあります。【各種設定】ボタンを押し、[ファクス設定] - [基本設定] で変更できます。 ☞ 23 ページ「自局情報」
番号非通知で発信した	
送信先のファクスが受信できない状態にある	ずっと呼び出し中、または、ずっと話し中の場合は、送信先の番号が正しいか、ファクスが受信できる状態かどうかを、送信先に確認してください。

受信したファクスが印刷されない

原因	対処方法
メモリーに蓄積されている	☞ 86 ページ「蓄積した受信ファクスを印刷する」
用紙なしや紙詰まりなどのエラーが発生している	エラーランプが点灯しているときは、【状態確認】ボタンを押してエラーの内容を確認し、エラーを解除してください。 ☞ 93 ページ「操作パネルにメッセージが表示されている」
[受信ファクス出力先] の設定が以下のいずれかになっている <ul style="list-style-type: none"> • メール • フォルダー保存 • 転送 	受信ファクスを本製品で印刷したいときは [受信ファクス出力先] を [印刷] にしてください。 【各種設定】ボタンを押し、[ファクス設定] - [受信設定] で変更できます。 ☞ 24 ページ「受信ファクス出力先」

きれいに送信できない

原因	対処方法
送信時の濃度や画質の設定が原稿と合っていない	ファクスモードの [基本設定] で [濃度] と [画質] を、原稿に合わせて指定してください。文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。 ☞ 87 ページ「[基本設定] タブ」
ADF や原稿台が汚れている	きれいにしてください。 ☞ 148 ページ「ADF のクリーニング」 ☞ 149 ページ「原稿台のクリーニング」

原稿と違うサイズで受信した／送信した

原因	対処方法
受信ファクスのデータサイズが印刷用紙より大きい	受信するファクスデータと同じか大きいサイズの用紙をセットしてください。受信したファクスデータよりも印刷用紙が小さいときは、本製品は 2 枚の印刷用紙に分割、または縮小して 1 枚の用紙に収まるように調整します。
A4 または B5 のカラー原稿を ADF に  置きして送信した	ファクスのカラー送信は A4 または B5 原稿を  置きにセットできません。A4 または B5 原稿は  置きでセットしてください。 ☞ 41 ページ「読み取りできる原稿」

ファクスのその他のトラブル

日時の表示が違っている

原因	対処方法
主電源を長期間（10日程度）入れていない	主電源を約10日以上入れないと日付と時刻がリセットされます。 【各種設定】 ボタンを押し、 【共通設定】 - 【デバイス設定】 - 【日付時刻設定】 で設定し直してください。 🔗 14 ページ「【共通設定】メニュー」

発信元情報が入っていないファクスになってしまう？

原因	対処方法
発信元情報を入れない設定になっている	【各種設定】 ボタンを押し、 【ファクス設定】 - 【送信設定】 - 【発信元記録】 を 【する】 にしてください。
発信元情報が登録されていない	【各種設定】 ボタンを押し、 【ファクス設定】 - 【基本設定】 - 【自局情報】 で、発信元情報を登録してください。

その他のトラブル

EPSON ステータスマニタ使用時のトラブル

通信エラーが発生する

EPSON ステータスマニタをインストールしている環境で「通信エラーが発生しました」と表示されたときは以下を確認してください。

原因	対処方法
通信プロトコルに IPP を使用している	ネットワークプリンターを監視できないために通信エラーになることがありますが、印刷は正常に終了します。 [通知設定] 画面内の [印刷中プリンターを監視する] のチェックを外すとエラー表示されなくなります。
リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行した (Windows XP/Windows Vista)	通信エラーは表示されますが印刷は正常に終了します。

消耗品の交換

消耗品の残量は、本製品の操作パネルや EPSON ステータスマニタ（インストールしている場合）で確認できます。交換時期が近づいたり、交換が必要になったりするとメッセージを表示してお知らせします。

☞ 93 ページ「操作パネルにメッセージが表示されている」

使用できる消耗品などは以下を参照してください。

☞ 160 ページ「消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧」

⚠ 警告

- 消耗品を、火の中に入れてください。トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠ 注意

消耗品を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

! 重要

本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

参考

消耗品の保管は以下のようにしてください。

- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度 0 ~ 35 °C、湿度 15 ~ 80% の結露しない場所に保管
- 立てたり傾けたりしない状態で保管

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 寒い場所から暖かい場所に移したときは、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

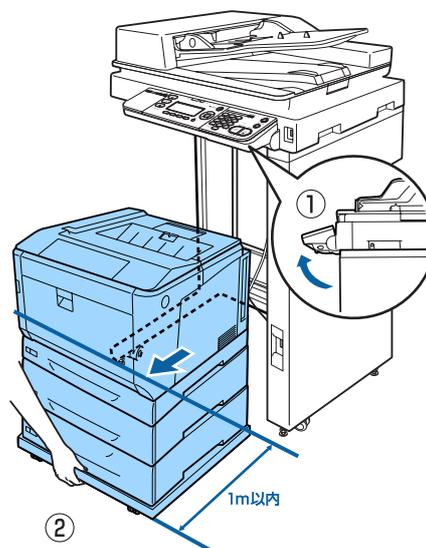
1

本製品の電源が入っていること、処理中または節電中でないことを確認します。

節電ランプが点灯しているときは【節電】ボタンを押して、節電状態を解除してください。

2

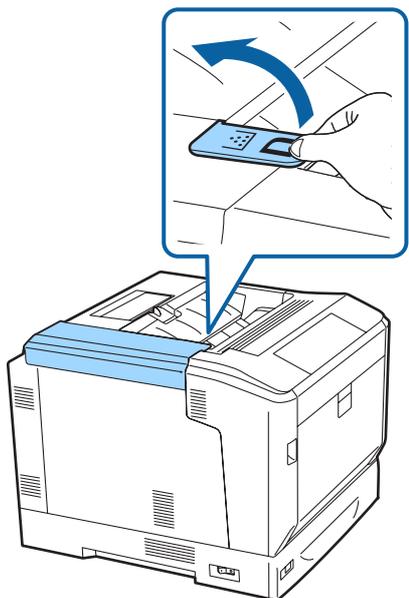
操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。



! 重要

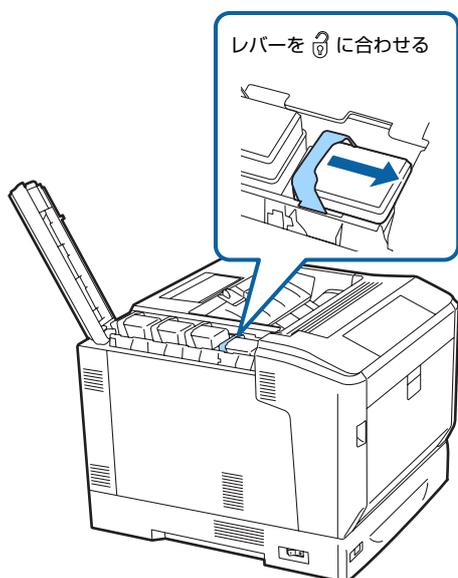
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

3 カバー D を開けます。

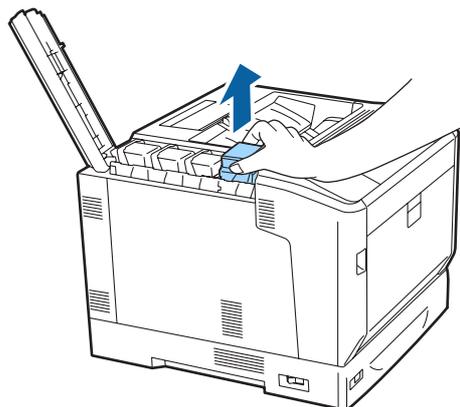


どの色から交換してもかまいませんが、ブラックを例に説明します。

4 操作パネルに表示されている色のトナーカートリッジのロックレバーを解除します。



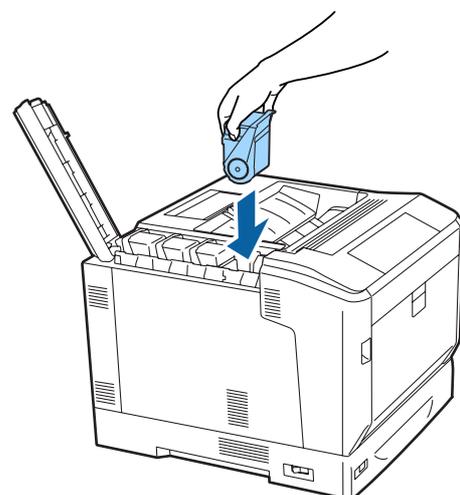
5 トナーカートリッジを取り外します。



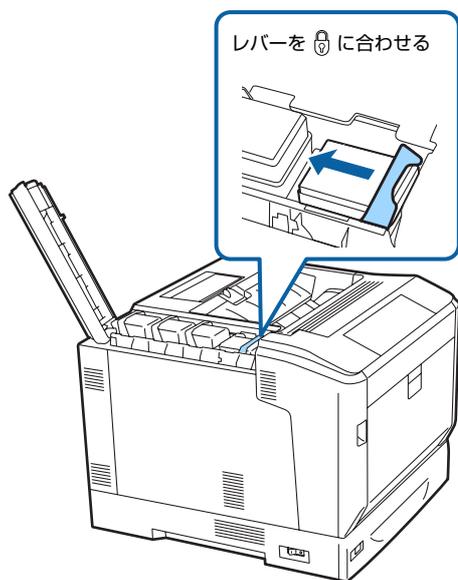
6 新しいトナーカートリッジを箱から取り出して振ります。



7 新しいトナーカートリッジをセットします。

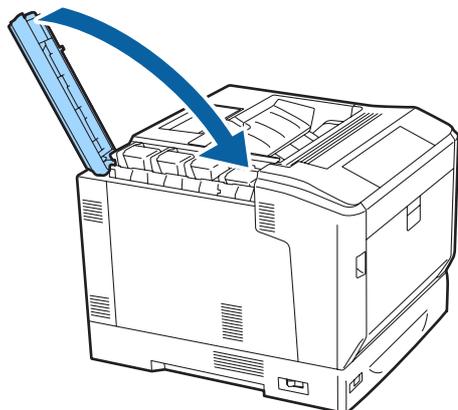


8 セットしたトナーカートリッジをロックします。



他の色も交換するときは 4 ~ 8 を繰り返してください。

9 カバー D を閉めます。

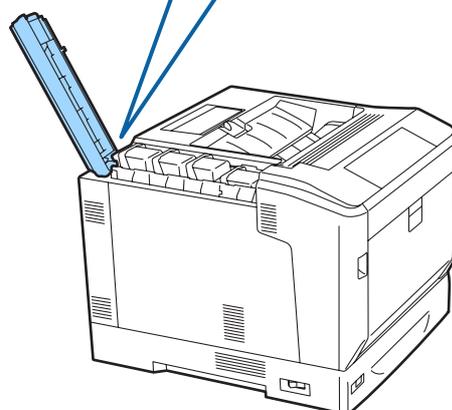
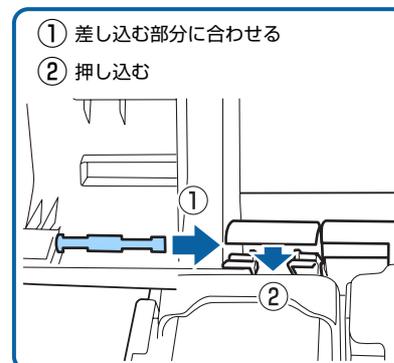


10 使用済みトナーカートリッジを再梱包します。
新しいトナーカートリッジの箱に入れてください。
トナーカートリッジの回収にご協力ください。
☞ 142 ページ「消耗品などの回収と処分」

参考

カバー D が外れたときは

カバー D が外れたときは以下の手順で取り付けてください。



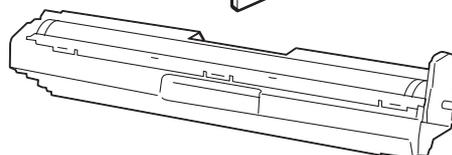
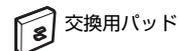
感光体ユニットの交換

感光体ユニットには以下の物が同梱されています。

カラーの場合

回収用ポリ袋

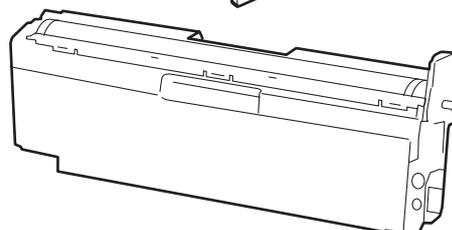
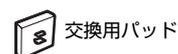
感光体ユニット



ブラックの場合

回収用ポリ袋

感光体ユニット



交換時のご注意

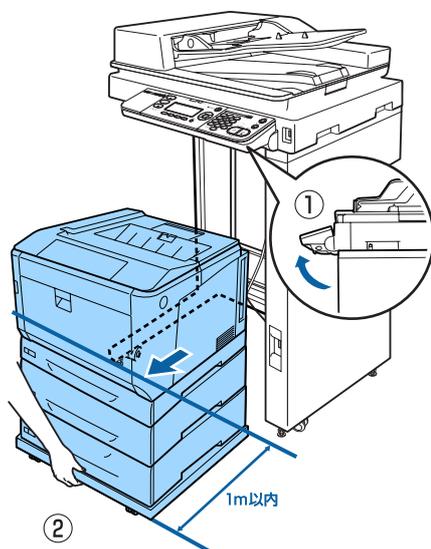
感光体ユニットを交換するときは、以下のことに注意してください。

- 感光体ユニットの感光体（紫色の部分）、中間転写ベルトおよび用紙分離爪には絶対に手を触れないください。また感光体の表面や中間転写ベルトに物をぶついたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

1 本製品の電源が入っていること、処理中または節電中でないことを確認します。

節電ランプが点灯しているときは【節電】ボタンを押して、節電状態を解除してください。

2 操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。

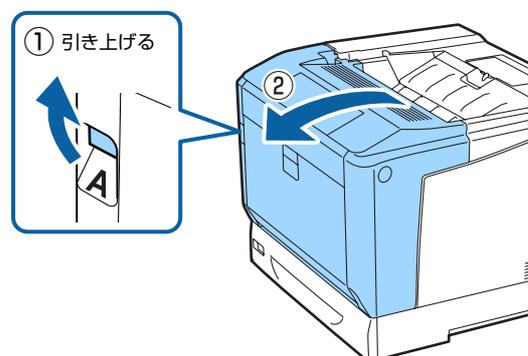


！重要

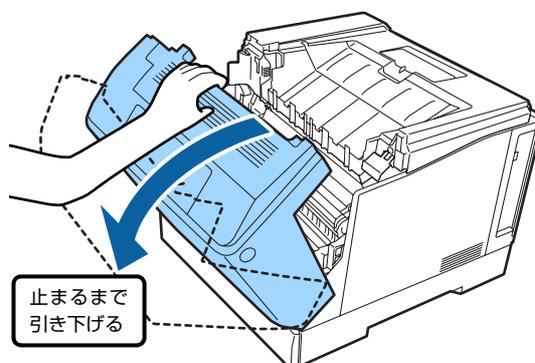
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

3 カバー A を開けます。

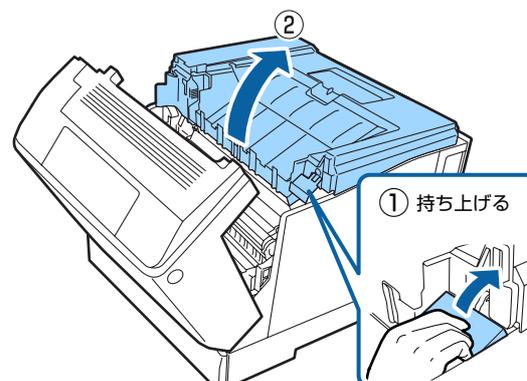
カバーは 2 段階で止まるので、交換しやすい位置で作業してください。



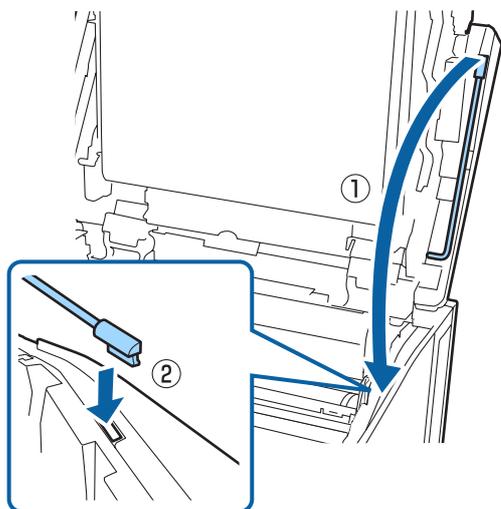
ブラックを交換するときは、カバー A を全開してください。



4 カバー G を開けます。

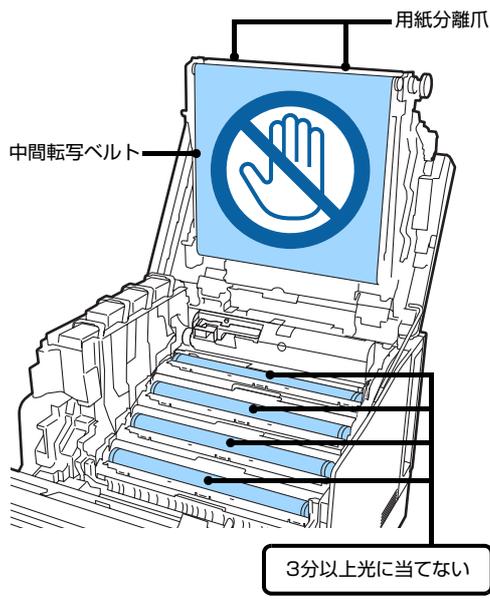


- 5** 支え棒でカバー G を固定します。
 カバー G を手で支えながら、支え棒を穴に差し込んでください。



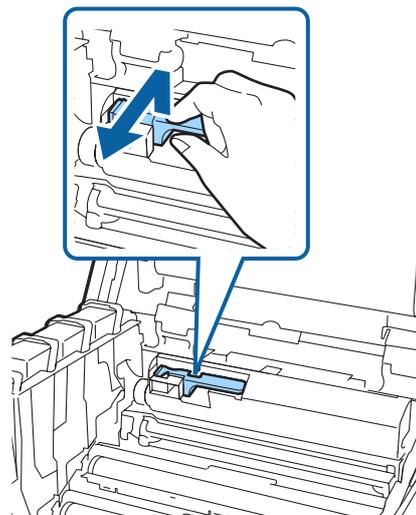
!重要

- 支え棒はゆっくり動かしてください。急に動かすとカバー G が倒れるおそれがあります。
- カバー G は必ず支え棒で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。
- 感光体ユニットの交換時は、中間転写ベルトおよび用紙分離爪には絶対に手を触れないでください。また物をぶつかけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。

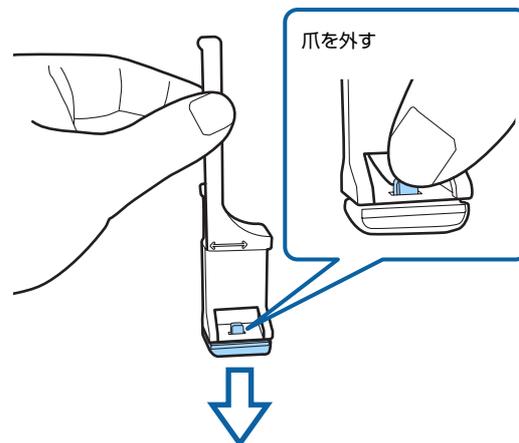


- 6** 新しい感光体ユニットの箱から清掃棒の交換用パッドを取り出します。

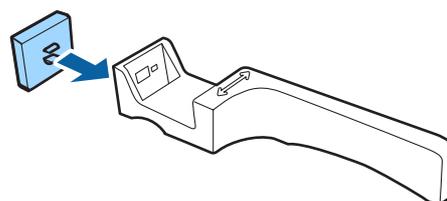
- 7** 清掃棒を取り出します。



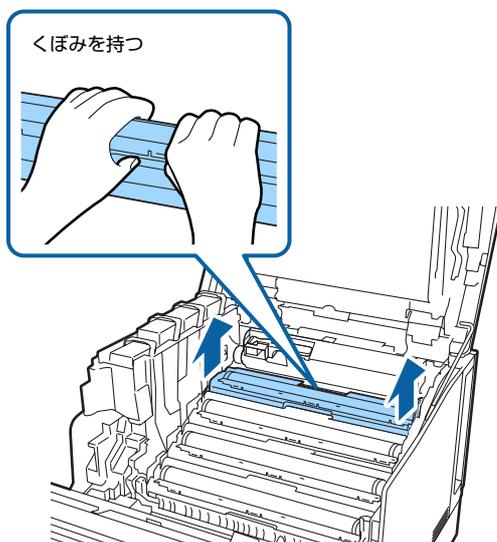
- 8** 使用済みのパッドを取り外します。



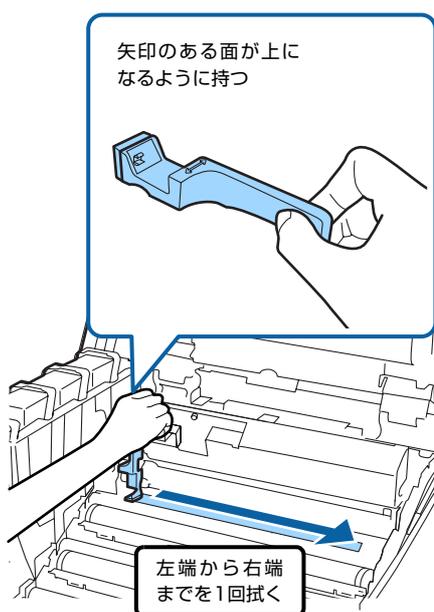
- 9** 新しい交換用パッドを取り付けます。



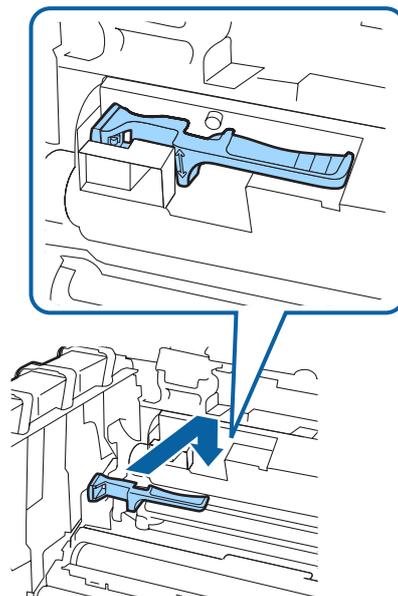
- 10** 操作パネルに表示されている色の感光体ユニットを取り外します。
どの色から交換してもかまいませんが、イエローを例に説明します。



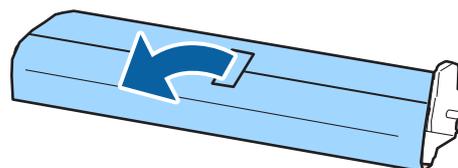
- 11** 露光窓（ガラス面）の汚れを取り除きます。



- 12** 清掃棒を元に戻します。



- 13** 新しい感光体ユニットを箱から取り出し、保護紙を外します。

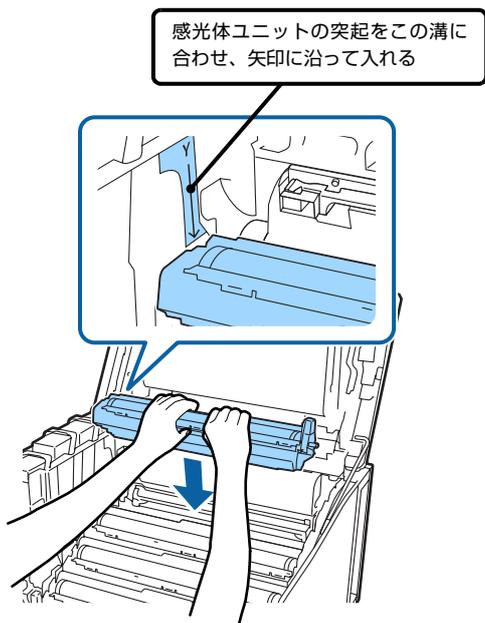


！重要

感光体ユニットの感光体（紫色の部分）には絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶついたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

14

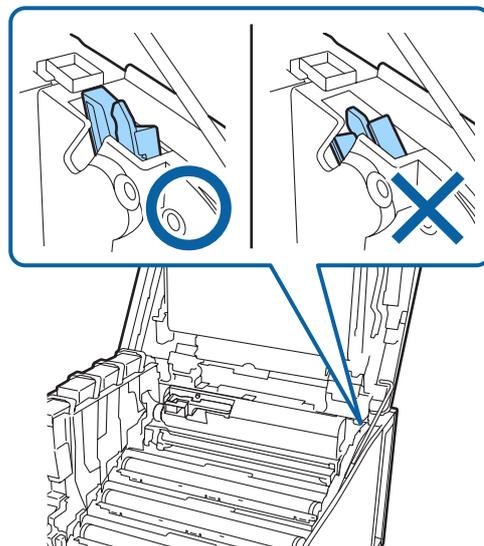
新しい感光体ユニットをセットします。



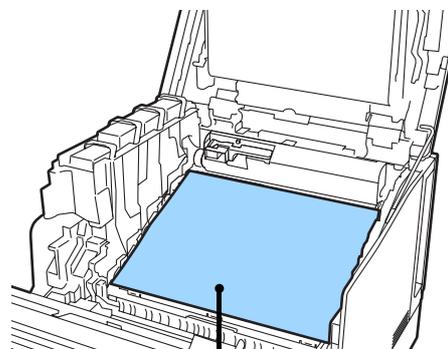
他の色の感光体ユニットも交換するときは 6 ~ 14 を繰り返してください。

！重要

- 下図の部品が○イラストのようにになっていることを確認してください。×イラストの状態ではセットできません。×イラストの状態になっているときはカバー G を一旦閉めて、作業をやり直してください。

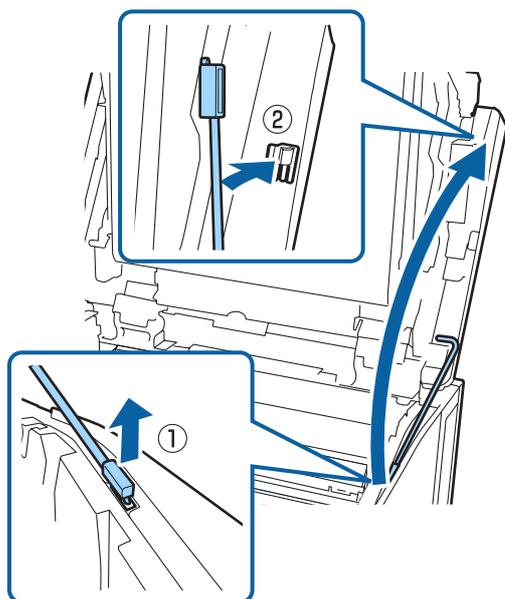


- 他の色も交換するときは、感光体ユニットが光に当たることを軽減するため、新しい感光体ユニットから取り外した保護紙を、プリンター内部に敷いて作業を続けてください。交換作業終了後は保護紙を外してください。

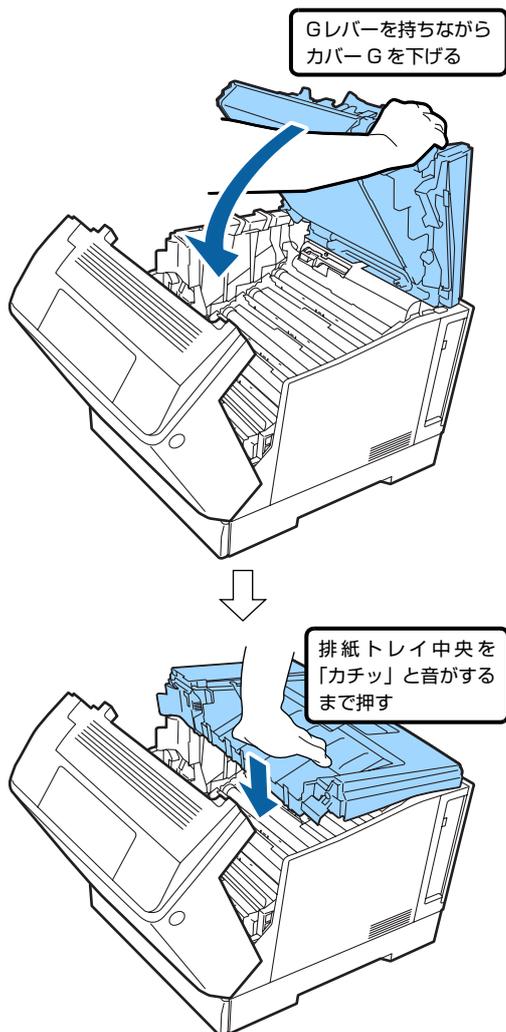


保護紙のテープをはがして置く

- 15** 支え棒を元の場所に戻します。
カバー G を手で支えながら操作してください。



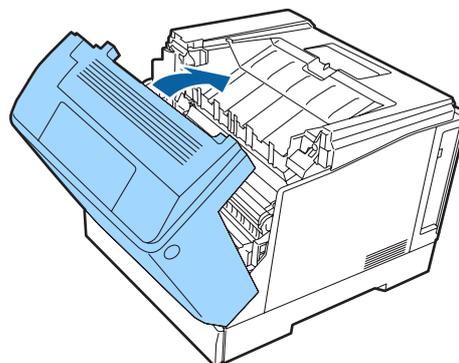
- 16** カバー G を閉めます。



!重要

カバー G を閉めるときは、必ず G レバーを持ちながら下げてください。カバー D を持って閉めると、カバー G が突然閉まり、指や手を挟んでけがをすることがあります。

- 17** カバー A を閉めます。



- 18** 使用済みの感光体ユニットと交換したパッドを片付けます。
使用済み感光体ユニットは、付属の回収用ポリ袋に入れて口を閉じてください。

廃トナーボックスの交換

交換時のご注意

廃トナーボックスを交換するときは、以下のことに注意してください。

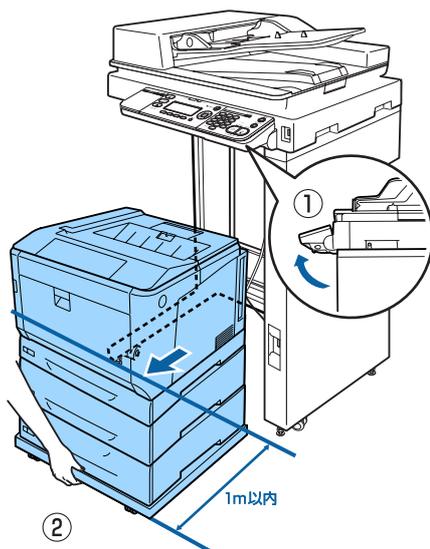
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。本製品内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

交換手順

1 本製品の電源が入っていること、処理中または節電中でないことを確認します。

節電ランプが点灯しているときは【節電】ボタンを押して、節電状態を解除してください。

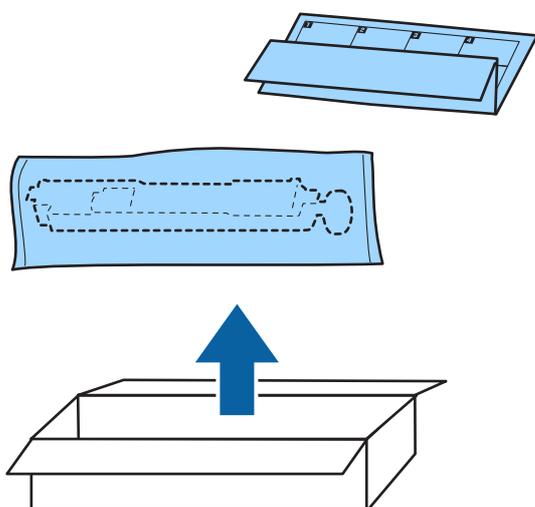
2 操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を下図の位置まで引き出します。



！重要

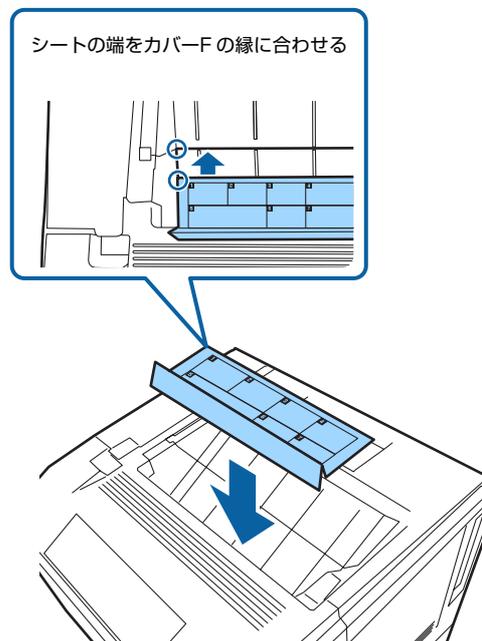
- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

3 新しい廃トナーボックスの箱から交換方法のシートを取り出します。

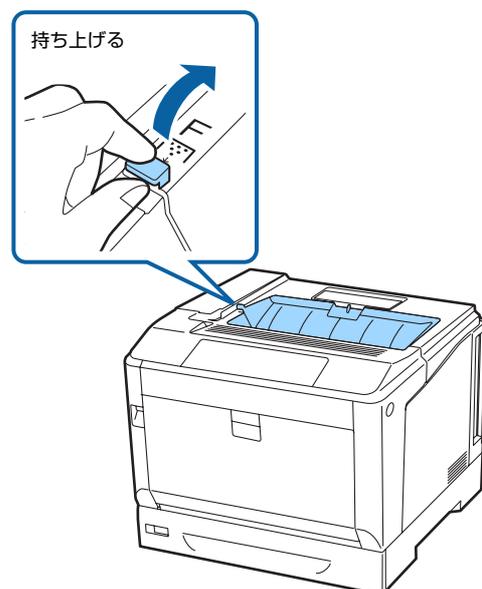


4 シートを排紙トレイにセットします。

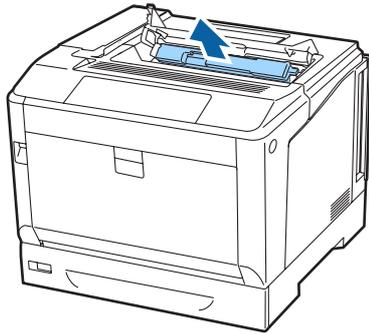
交換時の汚れ防止のため、交換方法のシートを排紙口に置いて使用します。



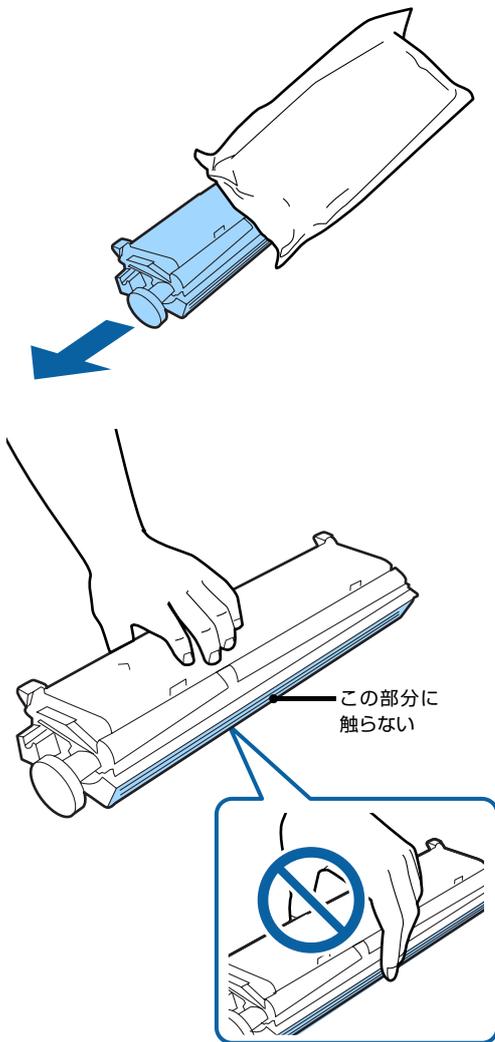
5 カバー F を開けます。



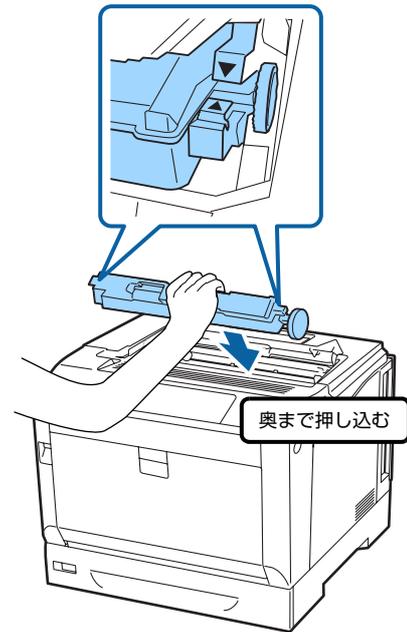
6 廃トナーボックスを取り外します。



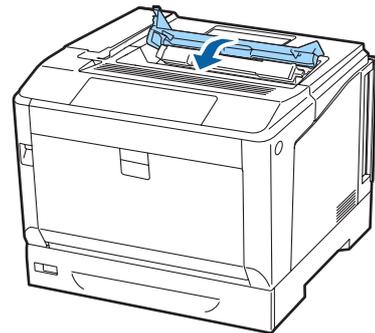
7 新しい廃トナーボックスを袋から取り出します。



8 新しい廃トナーボックスをセットします。



9 カバーFを閉めます。



10 使用済みの廃トナーボックスとシートを片付けます。

新しい廃トナーボックスの入っていたポリ袋に使用済み廃トナーボックスを入れて、開封口をふさいでください。

消耗品などの回収と処分

トナーカートリッジの回収

エプソンでは、トナーカートリッジ本体だけでなく、その梱包材など全てを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細は、エプソンのホームページで確認してください。

<http://www.epson.jp/recycle/>

参考

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいトナーカートリッジの梱包箱を使用してください。

また、弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

<http://www.epson.jp/bellmark/>

消耗品の処分

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

本製品のクリーニング(清掃)

本製品を良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング(清掃)をしてください。

主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

⚠ 警告

- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したエアゾール製品を使用しないでください。引火による爆発・火災のおそれがあります。

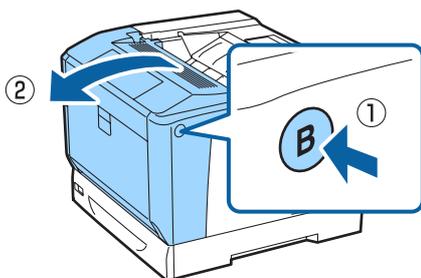
! 重要

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。
- プリンターを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などで拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

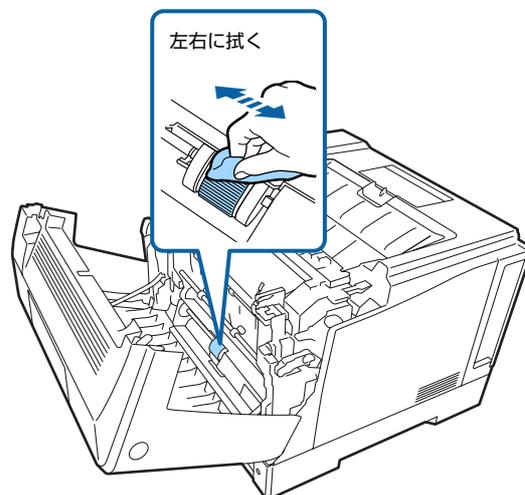
給紙ローラーのクリーニング

MPトレイ

1 カバー A を開けます。



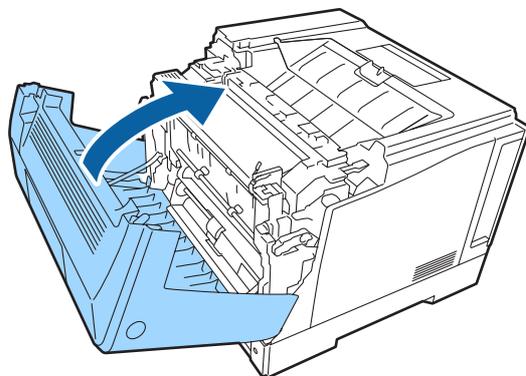
2 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、給紙ローラーのゴム部分を拭きます。



! 重要

回して拭くと部品を破損するおそれがあります。

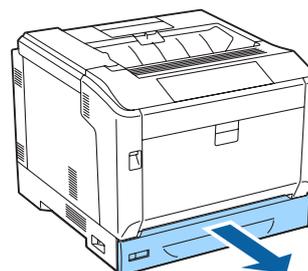
3 カバー A を閉めます。



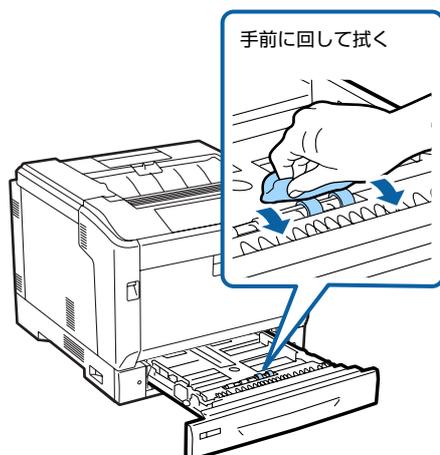
用紙カセット

ここでは、用紙カセット 1 を例に説明します。用紙カセット 2 ~ 3 も同様の手順でクリーニングできます。

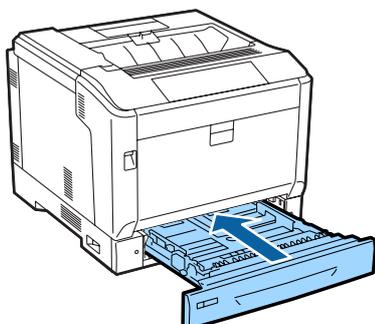
1 用紙カセットを引き出します。



- 2 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、給紙ローラーのゴム部分を拭きます。



- 3 用紙カセットをセットします。



プリンター内部のクリーニング

印刷結果が白く色抜けしたり白スジが入ったときは、本製品内部のガラス面のクリーニングをしてください。

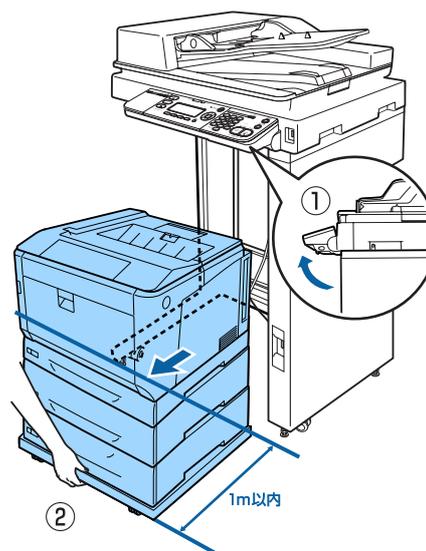


クリーニング時のご注意

- 感光体ユニットの感光体（紫色の部分）、中間転写ベルトおよび用紙分離爪には絶対に手を触れないでください。また感光体の表面や中間転写ベルトに物をぶついたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

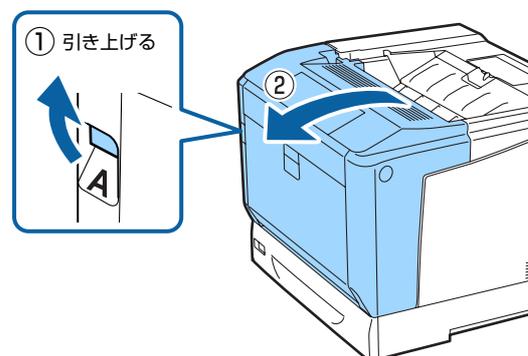
- 1 操作パネルの角度を水平にしてから、プリンター部を引き出します。



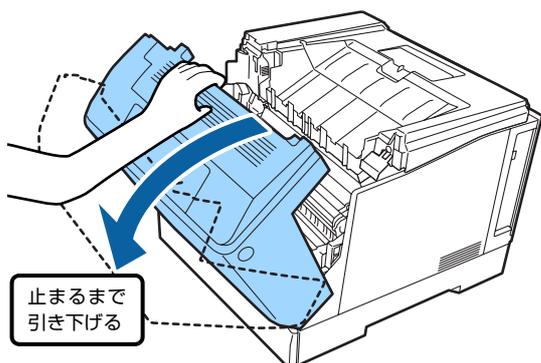
！重要

- プリンター部を引き出すときは、下部を持って引き出してください。カバー A の上部を持ってプリンター部を引き出さないでください。
- 専用プリンター電源コードが抜けないように注意してプリンター部を引き出してください。

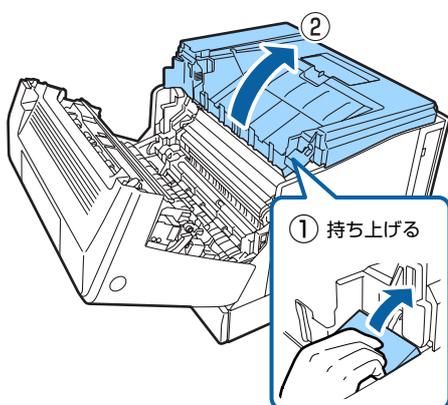
- 2 カバー A を開けます。



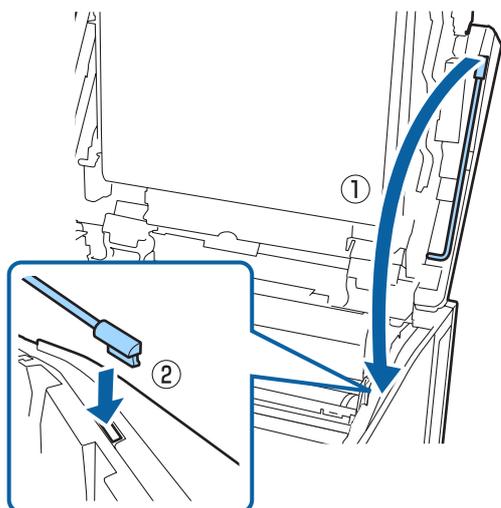
3 カバー A を全開にします。



4 カバー G を開けます。

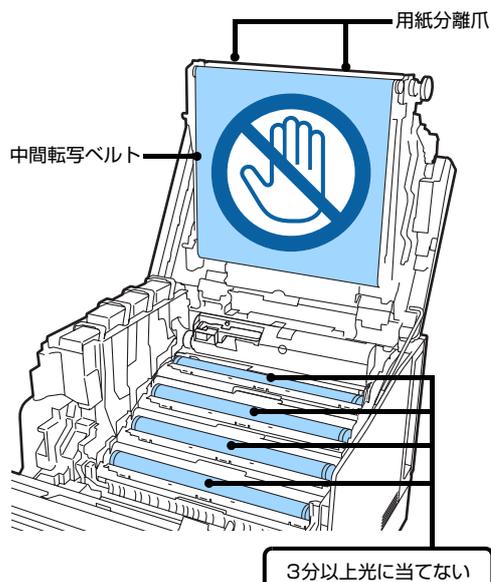


5 支え棒を取り外して穴に差し込みます。
カバー G を手で支えながら操作してください。



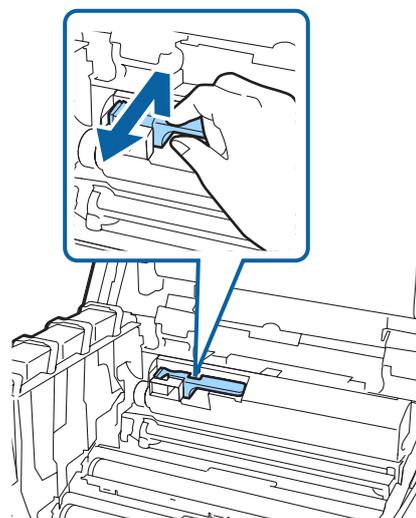
！重要

- 支え棒はゆっくり動かしてください。急に動かすとカバー G が倒れるおそれがあります。
- カバー G は必ず支え棒で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んでけがをするおそれがあります。
- 感光体ユニットの交換時は、中間転写ベルトおよび用紙分離爪には絶対に手を触れないでください。また物をぶつけたり、こすったりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。



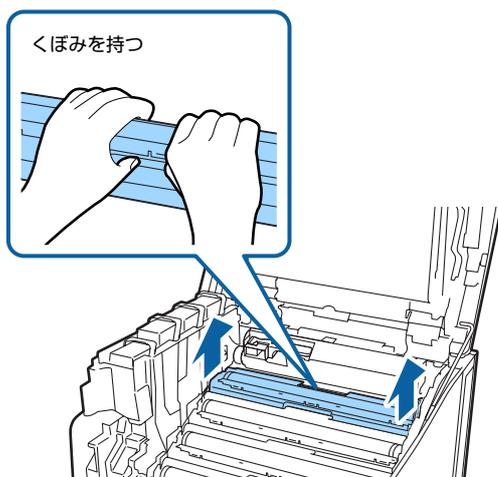
- 清掃するときは、感光体ユニットが光に当たることを軽減するために、保護紙をプリンター内部に置きながら作業をしてください。

6 清掃棒を取り出します。

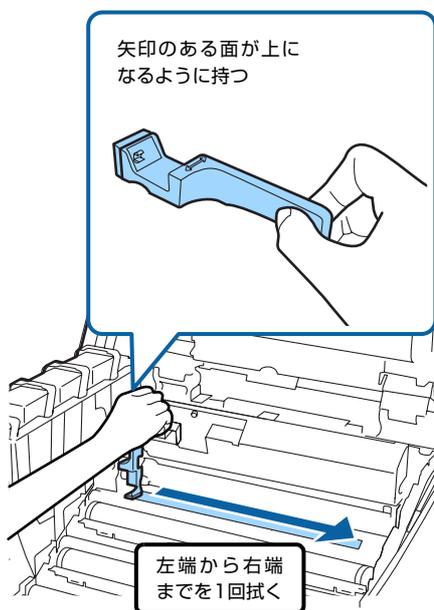


7 感光体ユニットを取り外します。

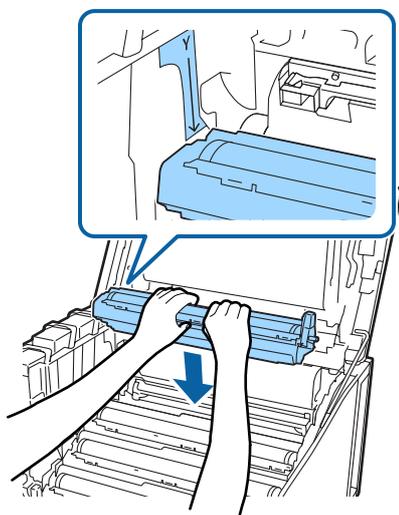
例:イエロー部分



8 露光窓（ガラス面）を拭きます。



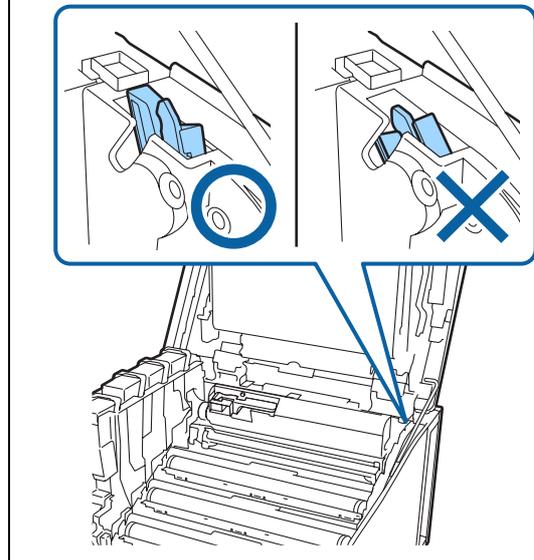
9 取り外した感光体ユニットをセットします。



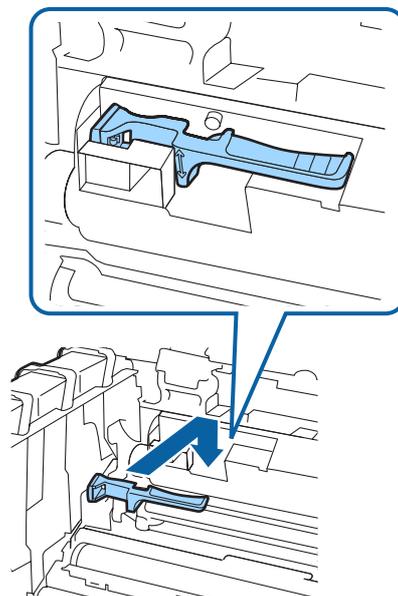
6～9 を繰り返して全ての色の露光窓を拭きます。

！重要

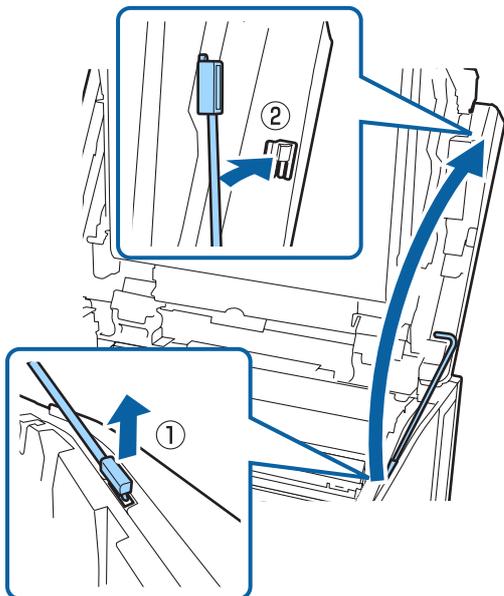
下図の部品が○イラストのようになっていることを確認してください。×イラストの状態ではセットできません。×イラストの状態になっているときはカバーGを一旦閉めて、作業をやり直してください。



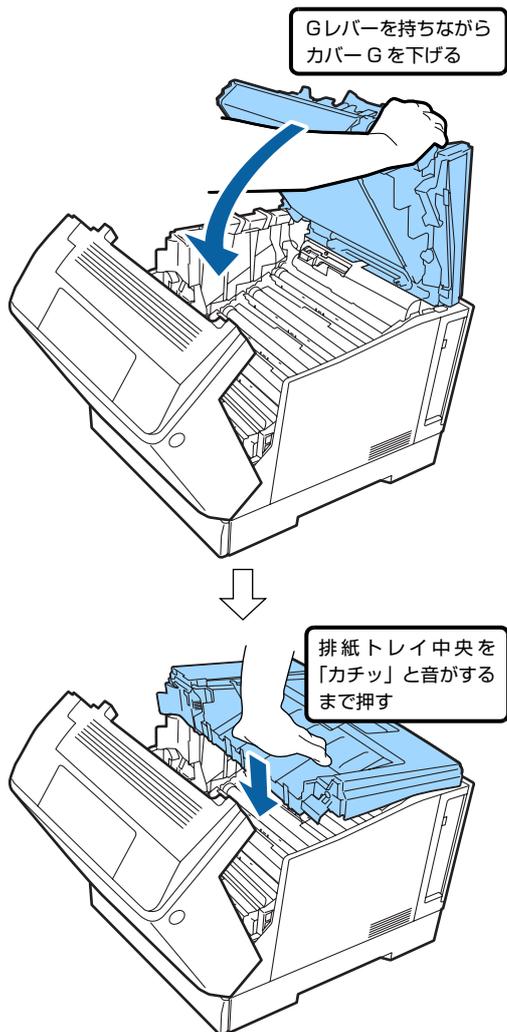
10 清掃棒を元に戻します。



- 11** 支え棒を穴から取り外し、カバーGに固定します。
カバーGを手で支えながら操作してください。



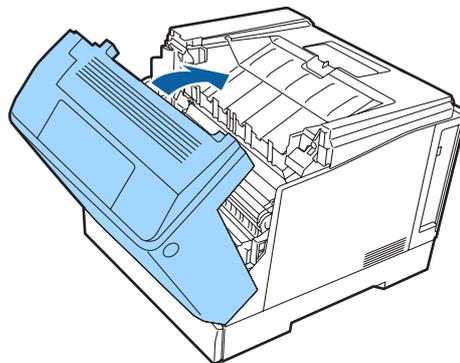
- 12** カバーGを閉めます。



!重要

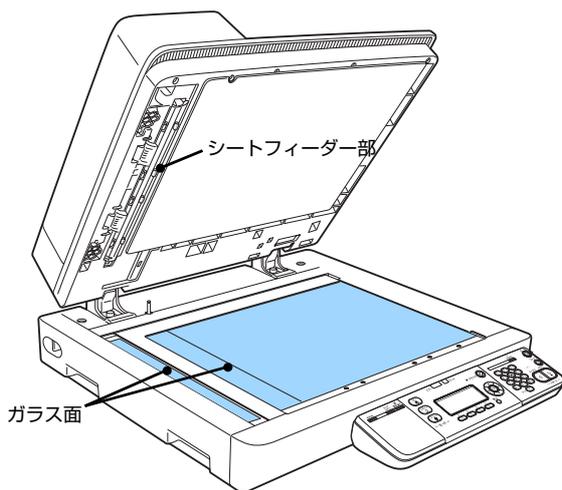
カバーGを閉めるときは、必ずGレバーを持ちながら下げてください。カバーDを持って閉めると、カバーGが突然閉まり、指や手を挟んでけがをすることがあります。

- 13** カバーAを閉めます。



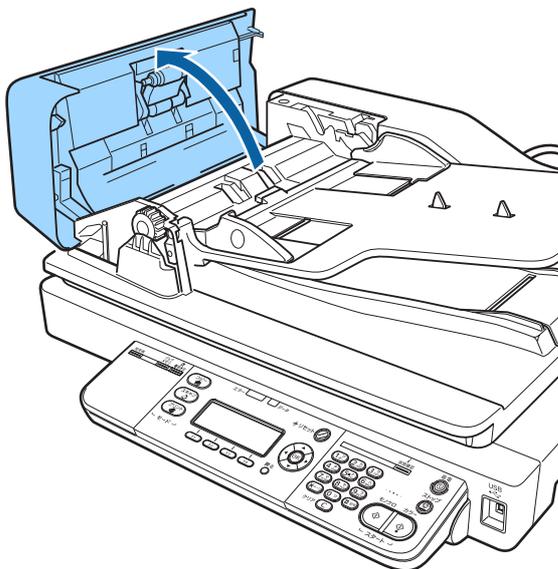
ADF のクリーニング

コピーすると出力紙に黒いスジが出ることがあります。これは原稿台のガラス面などに異物が付着するためです。原稿台のガラス面や ADF のシートフィーダー部（白いシート部分）とローラーが汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。



ADF の内部が汚れたときは、以下の手順でクリーニングをします。

1 ADF カバーを開けます。



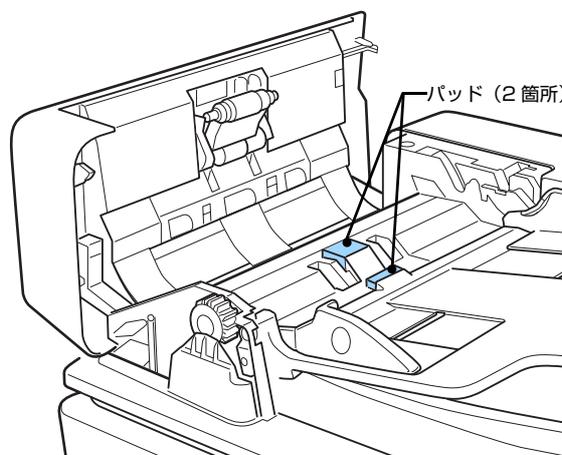
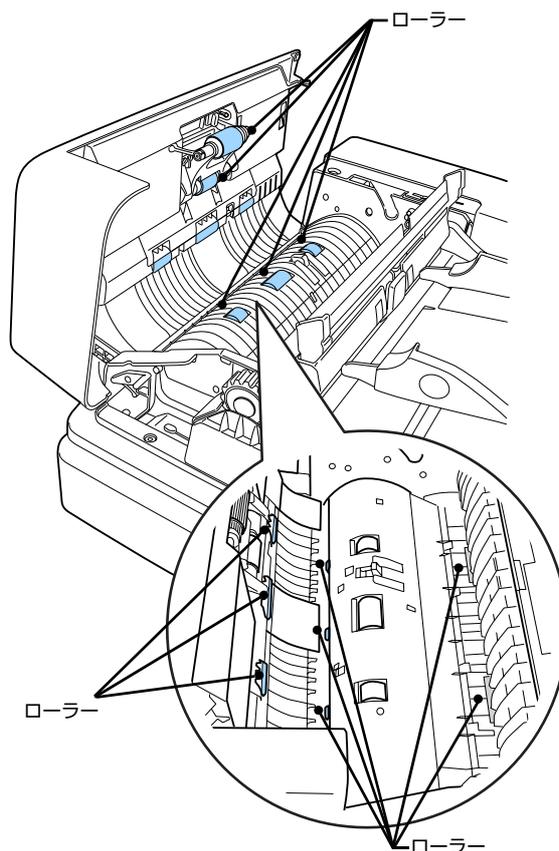
！重要

ADF の原稿経路にある透明シートには触れないようにしてください。品質への影響、紙詰まりの原因になります。

2 図に示すローラーとパッド部分（2箇所）を、柔らかい布でからぶきしてください。

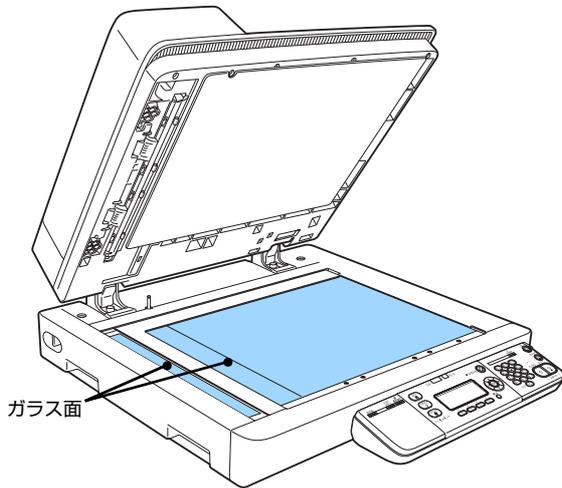
！重要

- シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
- スキャナーには絶対に水などがかからないように注意してください。



原稿台のクリーニング

原稿台のガラス面の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭いてください。



本製品の移動と輸送

本製品を移動したり輸送するときは、以下の通り作業を行ってください。

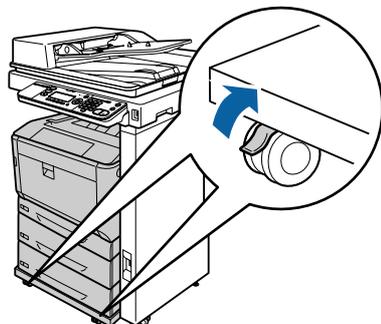
⚠ 注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。
開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
📄 151 ページ「製品仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所を手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
本製品の持ち上げ方は「セットアップガイド」(冊子)を参照してください。
- 本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター(車輪)付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

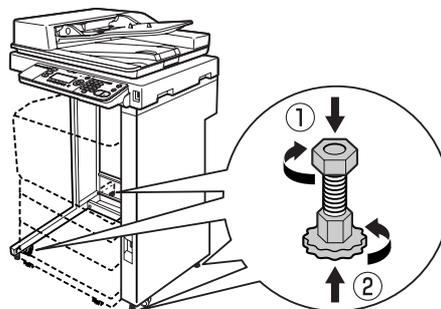
近くへの移動

キャスターで移動させるときの手順は以下です。

- 1 本製品の主電源とプリンター部の電源を切ります。
- 2 コードやケーブル類を全て取り外します。
- 3 MPトレイを閉じます。
- 4 プリンター台左右のキャスターのロックを解除します。



- 5 ラック四隅のアジスターを緩めます。

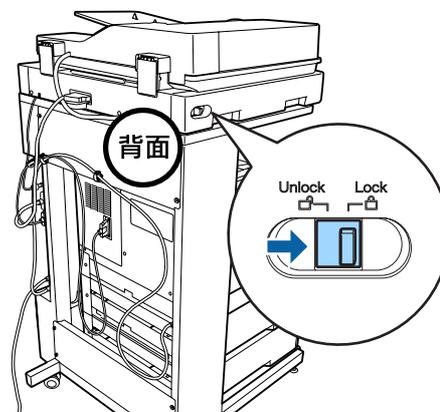


- 6 衝撃を与えないようにして移動させます。
段差のあるような場所を避け、水平に移動させてください。

輸送

本製品を輸送するときは、以下の準備をしてください。震動や衝撃から本製品を守るために本製品の購入時と同等の状態に梱包する必要があります。

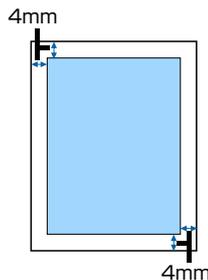
- 1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押し、[管理者設定] - [設定初期化] - [キャリッジロック位置移動] を実行します。
キャリッジがロック位置に移動します。
- 2 本製品の主電源とプリンター部の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 スキャナーユニットの輸送用固定ロックを [Lock] 位置にします。



- 4 取り付けてある全ての付属品およびオプションを取り外します。
- 5 保護材や梱包材で梱包します。

製品仕様

コピー機能

名称	LP-M8170A、LP-M8170F	
形式	フロアタイプ（専用ラック使用）	
カラー対応	フルカラー	
解像度	読み取り	200 × 300dpi、300 × 300dpi、600 × 600dpi
	書き込み	600 × 600dpi（スクリーン処理により 9600 × 600dpi 相当）
階調 / 表現色	C、M、Y、K 各色 256 階調 / 1670 万色	
原稿サイズ	シート、ブックともに最大 297 × 420mm（A3） 最大：A3 最小：ハガキ	
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A6、ハガキ	
コピー可能領域	ファクスも同領域 	
画像欠け幅	4mm 以内（先端 / 後端 / 左右）	
ウォームアップタイム （温度 23℃ / 湿度 65% / 定格電圧時）	LP-M8170A：43 秒以下 LP-M8170F：45 秒以下	
リカバリータイム（スリープ復帰時間） （温度 23℃ / 湿度 65% / 定格電圧時）	12 秒以下	
ファーストコピータイム	☑ 向きに A4 原稿をセットし、普通紙等倍の標準印刷モードで、スタートボタン押下後、1 枚目のコピー用紙が排出し終わるまでの時間	
	モノクロ（300 × 300dpi）	13 秒
	カラー（200 × 300dpi）	15 秒
連続複写速度 ^{*1}	☑ 向きに A4 原稿をセットし、普通紙等倍の標準印刷モードでの連続複写時、1 分間に複写できる枚数	
	モノクロ	32 枚 / 分
	カラー	32 枚 / 分
複写倍率	等倍	1 : 1 ± 1.5%（縦 / 横）
	固定倍率	0.7、0.81、0.86、1.15、1.22、1.41
	ズーム	25 ~ 400%（1% 刻みで設定可）

給紙方式 / 給紙容量	標準	MPトレイ : 190 枚 (64 g/m ² 紙)
		用紙カセット (C1) : 305 枚 (64 g/m ² 紙)
		用紙カセット (C2) : 670 枚 (64 g/m ² 紙)
	オプション	増設 1 段カセットユニット (C3) : 670 枚 (64 g/m ² 紙)
排紙方式 / 排紙容量		フェイスダウン : 150 枚 (A3)、250 枚 (A4) (64 g/m ²)
自動両面印刷		標準搭載
連続複写枚数		999 枚
電源	電圧	AC100V ± 10%
	電流	15A
	周波数	50/60Hz ± 3Hz
消費電力	最大	1170W 以下 (オプション含む) 起動時や定着ヒーター通電時の瞬間的ピーク値ではありません。
	原稿台からの連続コピー時	カラー : 平均 542W (オプション含まず) モノクロ : 平均 444W (オプション含まず)
	レディー時	平均 66W (オプション含まず)
	節電 (スリープ) モード時	平均 10W
	電源オフ時	0W
大きさ (幅×奥行×高さ)		専用ラックにプリンター部を収納した状態での設置時寸法 625 × 758 × 1140mm (突起含む)
質量		スキャナー部、プリンター部、スキャナー部、増設 1 段カセットユニット、専用プリンター台、コントローラーボックス部、専用ラックの合計値 (消耗品含む。トナーは標準サイズ) 約 115kg
機械占有寸法 (幅×奥行)		625 × 1055mm (用紙カセット最大伸張時)
エネルギー消費効率 (区分 : 複合機 a)		149kWh/年 省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められたプリンターおよび複合機別の測定法による数値
動作音	動作音が気になる場合は、違う場所に設置することをお勧めします。	
	音圧レベル	稼働時 : 54dB
		レディー時 : 15dB
	音響パワーレベル	稼働時 : 7.1B
レディー時 : 3.5B		

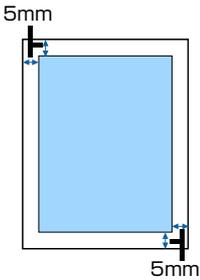
*1 プリンター本体の温度調整や画質調整のために、印刷の一時停止や印刷速度が低下することがあります。

ADF 機能

原稿送り装置の種類		自動両面原稿移動読み取り
原稿サイズ / 種類	原稿サイズ	A3、11 × 17" (最大 : 297 × 432mm)
	原稿坪量	52 ~ 105 g/m ²
原稿積載枚数		100 枚 (80 g/m ²)、総厚 10mm 以下

原稿読み取り速度（コピー時）	☑ 向きに A4 原稿をセットし、普通紙等倍の標準印刷モードで、A4 複数枚原稿の 1 枚を複写倍率 1:1 かつ 1 枚ずつの連続コピー時	
	モノクロ	28 枚 / 分
	カラー	24 枚 / 分
耐久性（ADF 寿命）	25 万ページ（A4 ☑）、または 5 年のいずれか早い方	

プリント機能

プリント方式	半導体レーザービーム走査+乾式2成分電子写真方式（タンデム）	
プリントサイズ	MPトレイ	A3 ~ A6、ハガキ、封筒、不定形紙（75 ~ 297mm × 98 ~ 431.8mm）
	用紙カセット	A3 ~ A5、不定形紙（210 ~ 297mm × 148 ~ 431.8mm）
用紙種類	普通紙、上質紙、コート紙、再生紙、ラベル紙、厚紙、郵便ハガキ、郵便往復ハガキ、4面連刷ハガキ、封筒	
印刷可能領域		
連続プリント速度	コピー機能に準ずる	
書き込み解像度	コピー機能に準ずる	
ページ記述言語/コントロールコード体系	標準	ESC/PageS Printing System、ESC/Page、ESC/Page-Color、ESC/P、ESC/P スーパー
	オプション装着時	PostScript3、PDF1.7
対応プロトコル	TCP/IP	
内蔵フォント	Scalable Font	標準：日本語 2 書体、欧文 16 書体
		オプション装着時：日本語 2 書体、欧文 136 書体
	Bitmap Font	欧文 4 書体
	OCR/Barcode	6 書体
インターフェイス	Hi-Speed USB、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Te	
USB ホスト	USB メモリーサポート	
メモリー容量	1024MB（増設不可）	
文字コード	JIS90（JIS X 0208:1990）準拠	
耐久性（プリンター寿命）	90 万ページ*1（A4 連続印刷時）または 5 年のいずれか早い方	

*1 定期交換部品の交換が必要。ページ数は目安。印刷環境や印刷の仕方（用紙サイズ、電源の頻繁な入/切など）によって変動し、この数値より少なくなることがあります。

スキャン機能

形式	カラー scanner	
原稿サイズ	A3、11 × 17" (最大：297 × 432mm)	
読み取り階調	カラー / グレースケール (各色 256 色)、モノクロ (2 値)	
インターフェイス	Hi-Speed USB、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Te	
スキャナードライバー (TWAIN)	読み取り解像度	75/100/150/200/240/300/400/600/1200dpi、50 ~ 9600dpi (1dpi 刻み)
	対応プロトコル	TCP/IP
	出力フォーマット	PDF、JPEG、TIFF、Multi-TIFF、BMP (Windows のみ)、PICT (Mac OS のみ)
フォルダー保存	読み取り解像度	96/200/300/400/600dpi
	対応プロトコル	TCP/IP (SMB/FTP)
	出力フォーマット	モノクロ 2 値：TIFF、PDF (MMR) カラー / グレースケール：TIFF、JPEG、PDF
メール送信	読み取り解像度	96/200/300/400/600dpi
	対応プロトコル	TCP/IP (SMTP)
	出力フォーマット	モノクロ 2 値：TIFF、PDF (MMR) カラー / グレースケール：TIFF、JPEG、PDF
耐久性 (スキャナー寿命)	10 万ページ (A3) または 5 年のいずれか早い方	

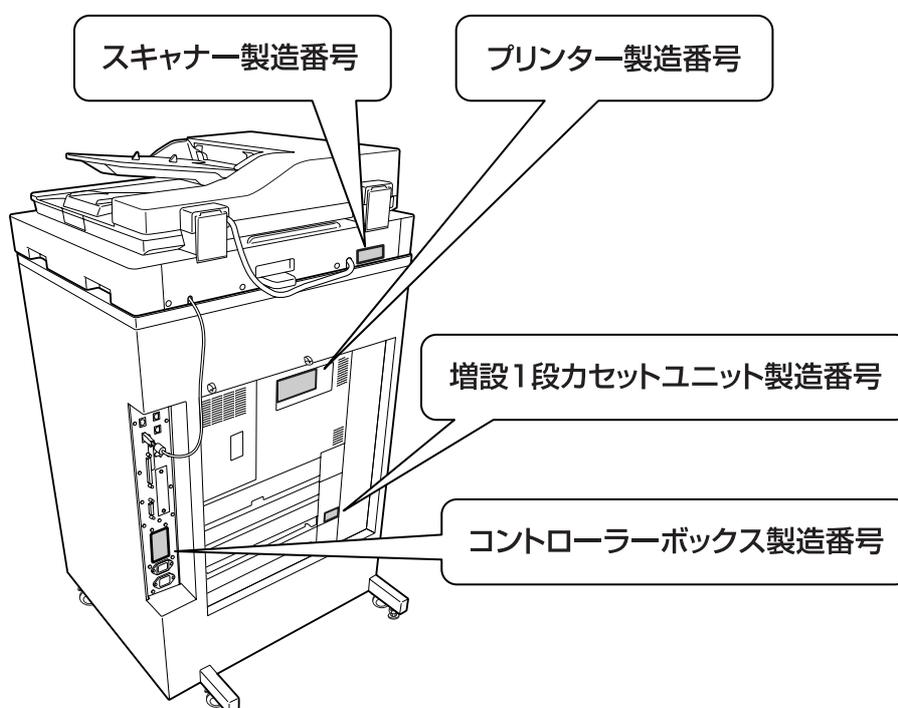
ファクス機能 (LP-M8170F のみ)

適用回線	PSTN (一般加入電話回線)、PBX (自営構内回線)	
走査線密度	モノクロ	ドラフトモード：8dot/mm × 3.85 本 /mm
		精細モード・写真モード：8dot/mm × 7.7 本 /mm
		高精細モード：8dot/mm × 15.4 本 /mm
		超高精細モード：16dot/mm × 15.4 本 /mm
	カラー	200 × 200dpi
通信速度	最大 33.6kbps	
符号化方式	モノクロ	MH、MR、MMR
	カラー	JPEG
通信モード	スーパー G3、G3	
送信原稿サイズ	最大：A3	
記録紙サイズ	最大：A3 最小：B5	
電送時間	約 4 秒 (ITU-T 標準原稿 / ドラフトモード / スーパー G3 送信時)	

環境条件

動作時	温度	5 ~ 32 ℃
	湿度	15 ~ 80% (非結露)
	気圧	701HPa 以上 (高度 3000m 以下)
	照度	3000lx 以下 (直射日光を照射させないこと)
	水平度	プリンター部：1 度以下 スキャナー部：5 度以下
保管・輸送時	温度	0 ~ 35 ℃
	湿度	15 ~ 85% (非結露)

製造番号の表示場所



対応 OS

対応 OS の最新情報はエプソンのホームページをご覧ください。

<http://www.epson.jp/>

Windows 10 Home, Windows 10 Home x64
Windows 10 Pro, Windows 10 Pro x64
Windows 10 Enterprise, Windows 10 Enterprise x64

Windows 8.1, Windows 8.1 x64
Windows 8.1 Pro, Windows 8.1 Pro x64
Windows 8.1 Enterprise, Windows 8.1 Enterprise x64

Windows 8, Windows 8 x64 Windows 8 Pro, Windows 8 Pro x64 Windows 8 Enterprise, Windows 8 Enterprise x64
Windows 7 Ultimate Edition, Windows 7 Ultimate x64 Edition Windows 7 Home Premium Edition, Windows 7 Home Premium x64 Edition Windows 7 Home Basic Edition, Windows 7 Home Basic x64 Edition Windows 7 Professional Edition, Windows 7 Professional x64 Edition
Windows Vista Ultimate Edition, Windows Vista Ultimate x64 Edition Windows Vista Home Premium Edition, Windows Vista Home Premium x64 Edition Windows Vista Home Basic Edition, Windows Vista Home Basic x64 Edition Windows Vista Enterprise Edition, Windows Vista Enterprise x64 Edition Windows Vista Business Edition, Windows Vista Business x64 Edition
Windows XP Home Edition Windows XP Professional, Windows XP Professional x64 Edition
Windows Server 2012 R2 Essentials Edition Windows Server 2012 R2 Standard Edition
Windows Server 2012 Essentials Edition Windows Server 2012 Standard Edition
Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition Windows Server 2008 R2 Standard Edition
Windows Server 2008 Standard Edition, Windows Server 2008 x64 Standard Edition Windows Server 2008 Enterprise Edition, Windows Server 2008 x64 Enterprise Edition
Windows Server 2003 Standard Edition, Windows Server 2003 x64 Standard Edition Windows Server 2003 Enterprise Edition, Windows Server 2003 x64 Enterprise Edition
Mac OS X v10.6.8 ~ v10.11.x

操作パネルからの特殊設定

【▼】 ボタンを押したまま本製品の電源を入れるとパネル設定メニューに [SUPPORT MODE] (サポートモード) が追加され、特殊な設定ができるようになります。[SUPPORT MODE] と表示されている状態で【各種設定】 ボタンを押し、[共通設定] メニューで [サポート機能] または [プリンター調整機能] を選択してください。通常は変更する必要がありません。インターフェイスクーブルを取り外してから操作してください。設定できる項目は機種によって異なります。

【サポート機能】メニュー

項目	説明
1 SupportStatusSheet	[サポート機能] や [プリンター調整機能] の設定値一覧を印刷します。
7 Extend Print Area	[On] にすると、印刷できる領域が上下左右に 1mm 広がります。(初期値は [Off])  153 ページ [印刷可能領域]
9 Printer MIBv1 Mode	プリンター情報を通知する Printer MIB のバージョンを設定します。 On : Printer MIB v1 Off : Printer MIB v2 (初期値)
10 USB ID	[Common] にすると USB デバイス ID が固定されるため、プリンターを入れ替えたときなどにプラグアンドプレイ画面が表示されなくなります。(初期値は [Unique])

【プリンター調整機能】メニュー

設定を変更すると、消耗品や定期交換部品の寿命に影響することがあります。

項目	説明
001 Plain	普通紙の印刷品質を調整します。 0：普通紙1（初期値） 1：普通紙2 2：再生紙 3：上質紙
007 Labels	ラベル紙の印刷品質を調整します。 0：ラベル紙1（初期値） 1：ラベル紙2
010 Coated	コート紙の印刷品質を調整します。 0：コート紙1（初期値） 1：コート紙2（この設定では両面印刷できません） 2：コート紙3（この設定では両面印刷できません）
020 Special	ユーザー専用紙の印刷品質を調整します。 0：普通紙1（初期値） 1：普通紙2 2：ラベル紙1（この設定では両面印刷できません） 3：ラベル紙2（この設定では両面印刷できません）
051 Feed Offset	055、059、063、067、071 の調整後にまとめて印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
052 Scan Offset	056、060、064、068、072 の調整後にまとめて印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
053 Feed Offset2	057、061、065、069、073 の調整後にまとめて印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
054 Scan Offset2	058、062、066、070、074 の調整後にまとめて印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、両面印刷のおもて面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
055 Feed Reg1 MP 059 Feed Reg1 C1 063 Feed Reg1 C2 067 Feed Reg1 C3	給紙装置ごとに印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
056 Scan Reg1 MP 060 Scan Reg1 C1 064 Scan Reg1 C2 068 Scan Reg1 C3	給紙装置ごとに印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
057 Feed Reg2 MP 061 Feed Reg2 C1 065 Feed Reg2 C2 069 Feed Reg2 C3	給紙装置ごとに印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）
058 Scan Reg2 MP 062 Scan Reg2 C1 066 Scan Reg2 C2 070 Scan Reg2 C3	給紙装置ごとに印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいくほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、両面印刷のおもて面ページに対して有効です。 -3.5mm～3.5mm（初期値は [0.0mm]）

項目	説明
101 TR Plain1	用紙タイプによって、印刷濃度や画質の粒度を調整します。設定値（1～16）が大きいほど、濃く印刷されます。（初期値は [6]） Plain1/Plain2：普通紙 SemiThk：上質紙 Labels1/Labels2：ラベル Thick/ExtraThk：厚紙 Envelope：封筒 Post：ハガキ Recycled：再生紙 Coated1/Coated2/Coated3：コート紙
102 TR Plain2	
103 TR SemiThk	
104 TR Labels1	
105 TR Labels2	
106 TR Thick	
107 TR ExtraThk	
109 TR Envelope	
110 TR Post	
111 TR Recycled	
112 TR Coated1	
113 TR Coated2	
114 TR Coated3	
151 Temp Plain1	
152 Temp Plain2	
153 Temp SemiThk	
154 Temp Labels1	
155 Temp Labels2	
156 Temp Thick	
157 Temp ExtraThk	
159 Temp Envelope	
160 Temp Post	
161 Temp Recycled	
162 Temp Coated1	
163 Temp Coated2	
164 Temp Coated3	
201 Highland	プリンターを標高の高い場所で使用すると、印刷面に汚れが出たり、印刷がかすれたりすることがあります。標高に応じて設定してください。 0（低い）～6（高い）（初期値は [0]）
205 ROS	ROS 露光装置の露光点を補正します。操作パネルの「プリンター調整中」の表示が消えるまで、本製品の電源を切らないでください。
301 Noise Level	画像の階調性を調整します。設定値が大きいほど階調性は向上しますが、粒状性は低下します。 0～7（初期値は [3]）
302 Color DiagnosisSht	用紙全体をカラーのグラデーションで印刷する Color Diagnosis Sheet を印刷します。印刷面の色落ちや汚れが確認できます。

項目	説明
303 Screen 25 304 Screen 50 305 Screen 100	濃度ムラなどの状態を確認するためのパターンを印刷します。 Screen 25：濃度 25% のハーフトーンパターンを印刷 Screen 50：濃度 50% のハーフトーンパターンを印刷 Screen 100：濃度 100% のパターンを印刷
306 AdjustColorRegist	カラー印刷時の色ズレをなくすように調整します。エラーが発生していない状態で実行してください。

消耗品 / 定期交換部品 / オプションの一覧

以下は 2016 年 5 月現在の情報です。

トナーカートリッジ

ET カートリッジの「ET」は「エプソントナー」の意味です。

商品名	サイズ	型番	備考
ET カートリッジ イエロー	S サイズ	LPC3T30Y	サイズの違いはトナー容量の違い（カートリッジの大きさは同じ）です。 <ul style="list-style-type: none"> ET カートリッジと同じ品質のトナーですが、セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、本製品に充填されているトナーを使い切るまでの間の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧ください。セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください（送料無料）。エプソンのホームページでもご確認ください。 http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/ サイズの違いはトナー容量の違い（カートリッジの大きさは同じ）です。
	M サイズ	LPC3T31Y	
ET カートリッジ マゼンタ	S サイズ	LPC3T30M	
	M サイズ	LPC3T31M	
ET カートリッジ シアン	S サイズ	LPC3T30C	
	M サイズ	LPC3T31C	
ET カートリッジ ブラック	S サイズ	LPC3T30K	
	M サイズ	LPC3T31K	
環境推進トナー イエロー	M サイズ	LPC3T31YV	
	2本パック	LPC3T31YPV	
環境推進トナー マゼンタ	M サイズ	LPC3T31MV	
	2本パック	LPC3T31MPV	
環境推進トナー シアン	M サイズ	LPC3T31CV	
	2本パック	LPC3T31CPV	
環境推進トナー ブラック	M サイズ	LPC3T31KV	
	2本パック	LPC3T31KPV	

共通消耗品

商品名		型番	仕様	備考
感光体ユニット	カラー	LPC3K17	印刷寿命：約 24,000 ページ	印刷寿命は、A4 横置き 5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1 ～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。
	ブラック	LPC3K17K	印刷寿命：約 24,000 ページ	
廃トナーボックス		LPC3H17	印刷寿命：約 24,000 ページ	
上質普通紙		LPCPPA3	A3 サイズ	
		LPCPPA4	A4 サイズ	
		LPCPPB4	B4 サイズ	
コート紙		LPCCTA3	A3 サイズ	光沢のある質感で印刷できます。
		LPCCTA4	A4 サイズ	

定期交換部品

交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたら販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず、有料です。

[☞ 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

商品名	印刷寿命	備考
定着ユニット	100,000 ページ	印刷寿命は、A4 横置き 5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。 また、節電移行時間や節電移行時間（自動）、節電スケジュールの設定を変更すると、定着ユニットの寿命や消費電力に影響が出る場合があります。
転写ユニット	100,000 ページ	
二次転写ユニット	100,000 ページ	
カラー現像ユニット	100,000 ページ	
白黒現像ユニット	100,000 ページ	
給紙ローラー MP	100,000 ページ	
給紙ローラー C1/C2/C3	100,000 ページ	
メンテナンスユニット A	300,000 ページ	
メンテナンスユニット B	600,000 ページ	
ADF メンテナンスユニット	約 90,000 ページ (A4 換算)	ピックローラー、フィードローラー類のセット

オプション

取り付け方は『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。

商品名	型番	備考
増設 1 段カセットユニット	LPA3CZ1C12	1 台のみ増設可
専用キャビネット	LPMPD3	専用プリンター台とセットで使用
	LPCBN8	キャスター付き
USB ケーブル	USBCB2	Hi-Speed USB 対応
PostScript 3 ROM	LPPSROM04	PostScript プリンターとして使用するための ROM モジュール

フォント仕様

付属のソフトウェアディスクには以下のフォントが収録されています。

- Epson バーコードフォント
- Epson TrueType フォント
- OCR-B TrueType フォント

インストールの仕方は以下を参照してください。

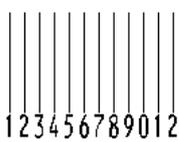
[🔗 92 ページ「ソフトウェアのインストール」](#)

Epson バーコードフォント

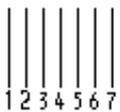
データキャラクター（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクター以外のコードやマージン、OCR-B フォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

各バーコードの仕様や規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

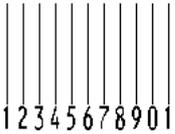
JAN(標準バージョン)

フォント名	EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字 (0 ~ 9)	
桁数	12	
入力可能サイズ	60 ~ 96pt	36 ~ 90pt
読み取り保証サイズ	60pt、75pt (標準)	36pt、45pt (標準)、67.5pt、90pt
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • レフト/ライトマージン • レフト/ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー 	
例	入力	123456789012
	画面表示	
	印刷	
備考	JIS X 0501	<ul style="list-style-type: none"> • JAN-13 のバーの高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

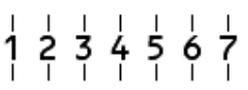
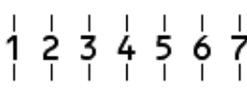
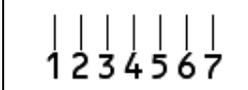
JAN(短縮バージョン)

フォント名	EPSON JAN-8	EPSON JAN-8 Short
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字 (0 ~ 9)	
桁数	7	
入力可能サイズ	52 ~ 96pt	36 ~ 90pt
読み取り保証サイズ	52pt、65pt (標準)	36pt、45pt (標準)、67.5pt、90pt
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • レフト/ライトマージン • レフト/ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー 	
例	入力	1234567
	画面表示	
	印刷	
備考	—	<ul style="list-style-type: none"> • JAN-8 のバー高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

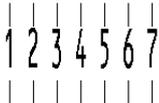
UPC

フォント名	EPSON UPC-A	EPSON UPC-E	
OCR-B	あり		
チェックデジット	あり		
キャラクター種類	数字 (0 ~ 9)		
桁数	11	6	
入力可能サイズ	60 ~ 96pt		
読み取り保証サイズ	60pt、75pt (標準)		
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • レフト/ライトマージン • レフト/ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー 	<ul style="list-style-type: none"> • レフト/ライトマージン • レフト/ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステムの「0」 	
例	入力	12345678901	123456
	画面表示		
	印刷		
備考	Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ (余分な 0 を削除)	

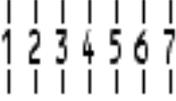
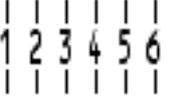
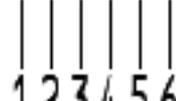
Code39

フォント名	EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	英数字 (A ~ Z、0 ~ 9)、記号 (- . スペース \$ / + %)			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26 ~ 96pt		36 ~ 96pt	
読み取り保証サイズ	26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • チェックデジット 			
例	入力	1234567		
	画面表示			
	印刷			
備考	<ul style="list-style-type: none"> • JIS X 0503 • スペースを表すバーコードを入力したいときは、「_」(アンダーライン) を入力してください。 			

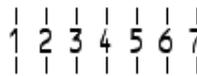
Code128

フォント名	EPSON Code128	
OCR-B	なし	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	全ての ASCII 文字 (95 文字)	
桁数	制限なし	
入力可能サイズ	26 ~ 96pt	
読み取り保証サイズ	26pt、52pt、78pt	
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • コードセットの変更キャラクター • チェックデジット 	
例	入力	1234567
	画面表示	
	印刷	
備考	<ul style="list-style-type: none"> • JIS X 0504 • コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。 	

Interleaved 2 of 5

フォント名	EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num	
OCR-B	なし		あり		
チェックデジット	なし	あり	なし	あり	
キャラクター種類	数字 (0 ~ 9)				
桁数	制限なし				
入力可能サイズ	26 ~ 96pt		36 ~ 96pt		
読み取り保証サイズ	26pt、52pt、78pt		36pt、72pt		
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • チェックデジット • 文字列先頭の「0」(合計文字数が偶数でない場合のみ) 				
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷			 01234567	 12345670
備考	<p>キャラクターを2個一組で扱います。キャラクターの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクターの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。</p>				

NW-7

フォント名	EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num	
OCR-B	なし		あり		
チェックデジット	なし	あり	なし	あり	
キャラクター種類	数字 (0～9)、記号 (- \$: / . +)				
桁数	制限なし				
入力可能サイズ	26～96pt		36～96pt		
読み取り保証サイズ	26pt、52pt、78pt		36pt、72pt		
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター (入力しない場合) • チェックデジット 				
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考	<ul style="list-style-type: none"> • JIS X 0503 • スタート / ストップキャラクターのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート / ストップキャラクターを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。 				

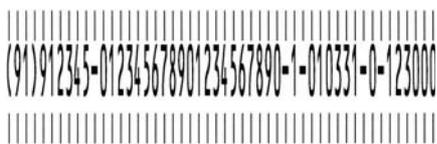
郵便番号(カスタマーバーコード)

フォント名	EPSON J-Postal Code	
OCR-B	なし	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字 (0 ~ 9)、英文字 (A ~ Z)、記号 (-)	
桁数	制限なし	
入力可能サイズ	8 ~ 11.5pt	
読み取り保証サイズ	8pt、9pt、10pt、11.5pt	
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • バーコードの上下左右 2mm の空白 • 入力時の- (ハイフン) の削除 • スタート/ストップコード • 住所表示番号の 13 桁調整 • チェックデジット 	
例	入力	123-4567
	画面表示	1' 2' 3' 4' 5' 6' 7'
	印刷	
備考	<ul style="list-style-type: none"> • 郵便番号 (3 桁) - 郵便番号 (4 桁) - 住所表示番号 (バーコードに変換後 13 桁まで) を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードが挿入されます。 • 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。 	

GS1-128(EAN-128)

フォント名	EPSON EAN128	
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字 (0～9)、英文字 (A～Z) 括弧 () は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしますが、入力は大文字で行います。	
桁数	アプリケーション識別子 (AI) により桁数が異なります。 01 : GTIN (グローバルトレードアイテムナンバー) 4桁「(01)」 + 13桁 (数字) 17 : パッチ / ロットナンバー 4桁「(17)」 + 6桁 (数字) 10 : 保証期限日 4桁「(10)」 + 最大 20桁 (英数字) 30 : 数量 4桁「(30)」 + 最大 8桁 (数字)	
入力可能サイズ	36pt 以上	
読み取り保証サイズ	36pt、72pt	
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • FNC1 キャラクター (Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため) • コードセットの変更キャラクター • チェックデジット 	
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	 (01) 1491234567890 (17) 990101 (30) 12 (10) ABC
	印刷	 (01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
備考	コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。	

標準料金代理収納

フォント名	EPSON EAN128_AI91	
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字 (0～9)、記号 (-) 括弧 () は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレーターとして使用します。	
桁数	4桁「(91)」+ 46桁 (数字間の「-」を含む)	
入力可能サイズ	48pt以上	
読み取り保証サイズ	48pt	
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクター • FNC1 キャラクター (Code 128 との識別のために挿入します。) • チェックデジット 	
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	
	印刷	
備考	コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル	

バーコード作成時と印刷時のご注意

作成時は以下に注意してください。

- 文字の装飾 (ボールド / イタリック / アンダーラインなど)、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

例) 文字間隔の自動調整

行末に存在するスペース削除

連続する複数個のスペースをタブなどに変換

記号の変換

- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクターを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなる場合があります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に2つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。

- 入力したキャラクターの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。(Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/GS1-128、標準料金代理収納)
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

印刷時は以下に注意してください。

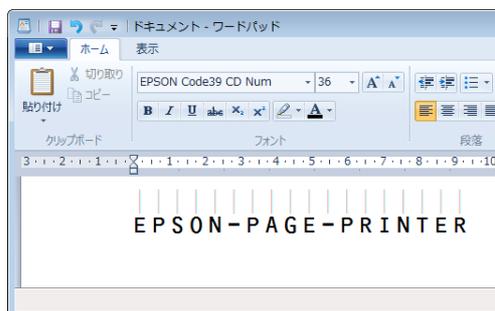
- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本製品に付属しているプリンタードライバーでのみ印刷可能です。
- プリンタードライバーの設定は以下にしてください。

画面	項目	設定
基本設定	割り付け / ポスター	しない
	印刷品質	きれい (600dpi)
応用設定	拡大 / 縮小	しない
応用設定 - 画像処理設定	トナーセーブ	しない

バーコードの作成と印刷の手順

ここでは Windows 7 のワードパッドを例に、Epson バーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

- 1 ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を全て半角 (1Byte) で入力します。
- 2 入力した文字を選択します。
選択した範囲が反転表示になります。
- 3 [ホーム] タブの [フォント] グループで、印刷したい Epson バーコードフォントを選択します。
- 4 フォントサイズを変更します。
推奨または使用可能なフォント (キャラクター) サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。入力した文字が設定したように表示されます。



- 5 印刷を実行します。
入力したデータがバーコードとして印刷されます。

参考 入力したデータが不適當な場合などプリンタードライバーがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

Epson TrueType フォント

フォント名	印刷例
EPSON 行書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 教科書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 正楷書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 丸ゴシック体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太角ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 天明朝体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太行書体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太丸ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

OCR-B は、光学文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001 に規定された書体の名称です。

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

ソフトウェアディスクに収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B の規格外の文字も含まれています。読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。(関連法律)

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

オゾン

ページプリンターの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じるがあります）。印刷中に本製品が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（3.0mg/h）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンターの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用

- 上記条件下での長時間連続稼働
- 長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

エコマーク物質エミッションに関する試験方法

試験方法

RAL-UZ171

エコマークの物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております消耗品を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ171 に基づき試験を実施しました。）

レーザー製品の表示

本プリンターは、レーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー製品です。識別のため、「クラス 1 レーザー製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。



クラス1レーザー製品

内部のレーザー放射ユニット

本プリンターの内部には、レーザー国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス 1 レベルに制御されています。

レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあり、指示以外の分解行為は行わないでください。

指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。

商標／登録商標／著作権

EPSON、EXCEED YOUR VISION、EPSON ESC/P およびESC/Pageはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

EPSON ステータスマニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、およびReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国 SanDisk 社の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Mac、Mac OS、OS X および Bonjour は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

その他の製品名およびフォント名は各社の商標または登録商標です。

オープンソースソフトウェアのライセンス契約

詳細は、ソフトウェアディスクの [Manual] フォルダ内にある OSS ファイルをご覧ください。

サービスとサポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートについては「お問い合わせ先」でご案内しています。

[📄 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

■マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

<http://www.epson.jp/support/>

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 - スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 - トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 - エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 - エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

[📄 93 ページ「困ったときは」](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

[📄 178 ページ「お問い合わせ先」](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

詳細は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	<ul style="list-style-type: none"> • 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
	スポット出張修理	お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 (出張料+技術料+部品代) 修理完了後、その都度お支払いください

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

※エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●製品に関するご質問・ご相談先(エプソンインフォメーションセンター)

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

○上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

050-3155-7150

○上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンサービスコールセンター)

050-3155-8600

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階
【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

最新の情報はエプソンのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(LP) 2016.03